

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-40)、
廃棄物管理施設(16)、MOX燃料加工施設(2-10))」

2. 日時：令和5年3月14日(火) 10時00分～12時20分
13時30分～18時20分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 執行役員 松本技術本部副本部長(土木建築) 他32名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー他1名

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料管理グループマネージャー
他1名

日本原子力発電株式会社 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ 主任
他1名

三菱重工業株式会社 原子力セグメント プラント設計部
総合配置計画課長 他1名

日立GEニュークリアエナジー株式会社 原子力計画部 耐震計画グループ
テクニカルエキスパート 他1名

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 担当職

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年

2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年1月31日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年3月7日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年3月10日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁の竹田です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:06	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった再処理及び廃棄物管理、それと、令和5年の2月に申請があった。
0:00:16	モック数について、これまでに提出があった資料をもとに確認を行うものです。
0:00:22	まず、規制庁側の出席者ですが、
0:00:25	本庁側からは、タジリフジワラタケダが出席しております。
0:00:32	WEBからの参加がコサクタカナシオオオカカミデハバサキキシノ。
0:00:39	DC三つ、オオハシ、以上になります。
0:00:44	あとそれが日本原燃の方から出席者の紹介と、各担当の役割、そして本日の説明範囲達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:55	はい、本県事務局、中浜でございます。
0:00:59	県側の出席者紹介します。まず、スプリング事務局下サトウタカハシセガワフジノナカハマ。
0:01:10	もう、その事務局で管理口、
0:01:13	耐震関係で、ミヤモトアボオガセ。
0:01:17	イナズマフチノ。
0:01:20	入れる。
0:01:22	外傷ペーパー分でBな、共通12%激震率、
0:01:27	シュッピン神戸津崎。
0:01:33	以上となります。
0:01:35	普通、確認できますのは、
0:01:40	相当スケジュールについてご確認いただきたいと思っております。
0:01:47	それでは結論の方からさせていただきます。
0:01:50	パンフレットさせていただきました、スケジュールありがとうございます。
0:01:58	昨年いただいた本指摘事項は終わってきてございます。
0:02:04	また現場に行くかなと思うんですが、会合資料関係は特にうちの方から変更してございません。
0:02:11	それから、No.8のボックス関係ですね。

0:02:14	ちょっといただくこともちょっと共通八分リング構成メンバーの前に資料を使ってですね、明日どうぞ、仙波の説明ということで入れさせていただきます。
0:02:28	紹介していただいた提出物、今準備を進めているところになってございます。
0:02:34	今後ですね、地盤地震関係について、今回の方からこっちに引き上げますので、その状況についてご説明差し上げたいと思います。
0:02:51	絵の方でございませこちらのこの影響としてお示ししているところの間をちょっと説明して、次から一番というところでは対人関係のところについてまとめていく。
0:03:05	基本的にこの共通のものをどう受入れるジャンルで分けておまして、
0:03:19	対応するものを区分けして参りました。基本的に五つでお示ししております設計条件、
0:03:29	例えば今のご説明さを継続させていただいてございます。一番上の話でございませ。本日午前中のヒアリング、オオダテ、
0:03:42	そういったところの資料について、まず、1、ポリビンとして説明させていただきますまして、大体まあまあ、
0:03:55	お伝えがすべてできるようになります。それがオオハシた紙の方の具体的な解析とかというところを踏まえましてヒアリング、改めて説明をさせていただきますということの御説明を考えているところでございませ。
0:04:08	あと同等規模の件についてご説明しますが、一番右のところは今後ご説明していただきたいことというところを書いてございませ。突き出していくということございませけれども、やはり4月の会合としましては1度転換する内容のところを、
0:04:25	中信協とかそちらをメインとして審査会合の方をご説明させていただきますと思います。具体的には、遠藤の審議会検討状況ということ、もう一つは金原の変更点とか、1%本日ご説明するオガセの資料。
0:04:40	そういったものを踏まえた上での新評価対象施設を網羅していると思います。清豊田公園についてご説明させていただくように、共通関係の建物については以上でございませ。続きまして、動向です。
0:04:56	日本原燃の宮元です。すいません規制庁亀井ですけど、そんなに細かい説明はないんですけど、
0:05:08	今説明したのと同じなんで、大丈夫です。

0:05:15	はい、五味です。
0:05:17	わかりました。
0:05:18	も特段ないことです。
0:05:23	兵庫県のご指導です。希望アボようになります。
0:05:37	ちょっと失礼ストールで、
0:05:41	地形はあれで、施主の話とかありましたけど、最初の話だけでいうと、なるほど。
0:05:50	やっぱ話を
0:05:54	網羅的に消極ばかりに、新スケジュールを表してみても、その時系列ということだったんですね。
0:06:06	でここの認識がずれてる。
0:06:14	論理を、
0:06:16	IIが1個どうか微妙ですね、共通を例えば地盤とかって、地盤建物道道機器の4行ぐらいで、表現できないかと思えますけど、そうした場合は何か不具合がありますか。
0:06:32	はい。日本原燃の間瀬です今上出さんおっしゃった通り、建物とかに入る前の地盤で1個項目を起こして地盤建物をどう機器配管というふうに分けること自体は可能です。
0:06:42	一つはもう問題というわけではないんですけども、建物どう機器配管系で共通になってる資料が1個、多分網羅性だけですかねっていうのがありますのでそれについてはちょっと何でしょうね共通みたいなジャンルになるのか、もしくは各ジャンルに、
0:06:56	1個ずつ書くのかそういったようなところのちょっと考えがあるかなぐらいのところでございます基本的には地盤で建てるのは大丈夫です。以上です。
0:07:05	藤規制庁上出です。共通で建てるのは別にいいんですけど、
0:07:12	今までの皆さんの資料の提示具合を見ると、例えば共通である建物ゼロイチだって、今回は建物だけですと、今回は機器だけです。
0:07:23	01もそうですよね。建物だけ機器だけ言って結局一つで項目を起こせるほど足並みそろえてやってくれないじゃないですか。やってくれるんだったら共通で建てても、
0:07:35	いいんですけど今のところ共通としてまとめる意味合いもないんだと思ってるんですけどその辺はいかがですか。

0:07:43	はい。日本原燃の緒方ですおっしゃる通りだと思います。この網羅性とかって結構本当はすいません足並みをそろえてやるべきなのは重々承知なのですが、実態としまして今回のスケジュールにも起きております通り、本日、
0:07:55	につきましては建物と道路文面、時間につきまして、全部改正というふうになってたりもしますのでちょっと足並みそろってないところがありますので、あまり共通として無理に起こすよりも各ジャンルでいつ説明するかというふうなことがわかるようにさせていただきたいと思います。以上です。
0:08:10	藤規制庁カミデです。足並みちゃんとそろえますからって言うってくれる方がうれしかったんですけど、それならそれでという感じです。
0:08:19	あと地震 0001 に今収支が入って、
0:08:24	定期ないようなんですけどどうなってますか。
0:08:34	はい。日本原燃星野です。
0:08:37	すいませんここ、計算書の修正対応で別紙 4 にですね、計算書、追加する対応ですね、今 3 月 30 で対応を考えてましたが、昨日ご説明した通り
0:08:53	ちょっと遅れる可能性があってですね、印をちょっと打てずにいました。1 度
0:09:04	今の時点での印をちょっと書き出そうかなと思います。以上です。
0:09:11	はい。規制庁神です。今起点の担当の方が、
0:09:16	お話しされたんですけど、もともと建物%もですね。
0:09:20	別紙 4、全部そろってないじゃないですか、波及影響モードとか、載ってない状態で今きてると。さらにその中にもうおそらくミスはあるんだろうと思っていて直さなきゃいけないところの幾らかあるって、
0:09:36	最初の頃は 1 月時点だとそんなのは見ていきましょうよって言って、
0:09:42	今直すよりも、とりあえずは見れる状態にあるから別所につけて、そういうところもあわせて見ていきましょうかという話をしてみましたけど、
0:09:52	今もう 3 月ですから、修正すべきというのが、チェックされてると思いますからその辺の反映も含めて、
0:10:03	建物系、あと道道は一通りあるのかちょっとあれですけど、A-00
0:10:10	資料って今どうなってます。

0:10:16	日本原燃の宮尾笹野計算書の方が一通り道東側の方は、すべて別紙4の方につけさしていただいております。
0:10:29	はい。規制庁神です。同等の話だけするとあれですか、劇場はとか何か影響評価みたいにしてますけど、液状化に限らずですけど影響評価者も含めて別紙堂々は全部別所にまとまってるんでしたっけ。
0:10:44	そうですね液状化評価とか水平2方向だったりとかそういったものもすべてつけさしていただいております。
0:10:52	はい。規制庁亀井です。わかりました。建物はどんな感じですか。
0:10:57	日本原燃の長谷です。建物につきましてもすみません前回波及とか、ついていない部分あったというのですが、そちらの方の追加の方は当然進めているところです。さらに先ほど上出さんおっしゃってありました通り今も今3月だという話。
0:11:10	あと記念さんの方につきまして側につきましても資料の方の修正があった上で出すというところもございますので、我々といたしましても誤記等あったところを修正の上、改めて意識としてお出しするというような予定でございます。以上です。
0:11:24	はい。規制庁深見です。それがいつぐらいなのかっていうことなんですけど、いかがですか。
0:11:34	日本原燃の大橋でございます。ちょっと今すいません、今のすいません考えといたしましては耐震として機器耐震が機器配管系と一緒に出す時に合わせて、建物構築物も出す予定でいたのは、実情でございます。以上です。
0:11:51	はい。規制庁亀井です。作業状況としてはあれなんですか。建物が進んでるんだったら、出しちゃえばって気もしますけど。
0:11:59	どんな感じですか。
0:12:00	はい。日本原燃の大瀬ですおっしゃる通り作業の状況としましては必要な修正というところはもうやっているところほぼほぼ、やっているところでございますので、ちょっとすいません機器配管系の方の出る時期にもよりますが別に別途建物の方を先に出すということは可能ですのでちょっとその工程につきましてはすいません考えさせていただき、
0:12:20	明日独立し排風出せるようにちょっと考えたいと思います。以上です。
0:12:24	はい。規制庁神です。あんまりこだわりはないんです、こちらとしては。ただ、

0:12:33	貴殿と一緒にじゃなくて受け取らないよってことでは当然ないですし、
0:12:38	そちらが早く進めたいのであれば、建物だけ出すっていうのは、全然できる話なので、ご検討くださいというぐらいのレベルですので、の中で頑張ってもらおう。
0:12:51	私の方から以上です。
0:12:58	古作です。
0:13:01	先ほど上出が言っていたところの、
0:13:06	四つMARK-11あってないので、連携してないのでそれぞれっていうときに連携して、
0:13:18	欲しかったんだけどっていうことなんですけど、
0:13:21	何をメニューとしてやりたいかという古藤の場合に分けるのは全然構わないんですが、
0:13:29	それぞれで違うことを言われても困るので、順々にやる場合に、先行してやったものについては、後続の、
0:13:39	ものについてと、それを踏まえて、
0:13:42	資料を作成し説明すると。
0:13:45	いうことは徹底いただければなと思いますのでよろしくお願いします。
0:13:51	日本原燃の三好岡崎さんおっしゃる通り先行してやったものをすべて機器例えば建物に反映していくようにしていきたいと思います。
0:14:03	はい。補足ですよろしくお願いします。あと、今回補足は1ポツ関係です。この補足はNIPP02-2関係ですというふうに、
0:14:14	整理いただいて、IIどうやるべきかっていうのは何となく見えるようにしていただいたんだと思うんですけど。
0:14:23	2-2っていうのは2-1がなくてなぜできるのかとかっていうのが、逆によくわかんなくなっちゃったんですけど、どういう整理ですか。
0:14:39	はい。多分原燃の長谷でございます今子さんおっしゃっていたところで行きますと2-2って具体的な解析評価の話に入ってきますが、そんな時っていうのは当然1ポツでの評価対象の網羅性もありますし、2-1という
0:14:53	実際に構造関係の変更点とかあとは構造に関するところの設計のところの説明、いわゆる共通12とかで説明するような内容だと思ってるんですが、そういったところも全部そろった上でないと、2-2で実際に評価

	する対象みたいところが最後きっかりと決まらないところでございますので、
0:15:09	今この工程表にちょっと2-2のところの横に白枠で書いてる通り、1ポツ、及び2-1のヒアリング状況を踏まえて大体のめどが立ってからの方が説明ができるのか。
0:15:19	当たってからじゃないとちょっと説明ができないのかなというような認識でいるところでございます。以上です。
0:15:27	古作です。順番としてはわかりましたけど2-1は共通12側でやりますというので、
0:15:34	この地震の欄とは別についていう整理をしてることなんですか。
0:15:44	日本原燃のオガセでございますここで言いますと、おっしゃる通りで44行目のところで別々というのがこの
0:15:52	建物と稼働で個別にというわけではなくてその共通12の地震の中でそういうふうにやりますという意味で44行目に記載させていただいてるところでございます。以上です。
0:16:04	はい、規制庁です。どうぞ。
0:16:07	でさ、あんまり認識が合っていない共通12でそんな話ができるとはあんまり思ってなかったですね二ノイチだと。
0:16:17	とりあえず地震0001何個二ノイチそのものなんだろうC。
0:16:23	ええ。
0:16:25	建物って機電側のその累計の話ですね耐震基準07みたいところは、2-2だって二ノイチの話なんじゃないかなって感じがしてます。その辺、
0:16:37	まだ整理ができてないだけなんじゃないかと思ってますけど2-1としてこれをやるべきだみたいところがまだあやふやなのかなと思ってたんですけど、助教私、勘違いしてます。
0:16:50	何かなと思ってたんですけど、東京、日本原燃越田です。阿部さんおっしゃっていただいたように共通12で示すものと、
0:17:01	人材等の01で説明するもので、それぞれあるかと思えます。あと耐震基準07の方ですね私もちょっと2-1か2か悩んでちょっと2-2と今書かせてもらったんですけども、

0:17:19	今のお話を聞いていて、2-1なのかなというふうに考えたんで、ちょっとその辺りを圧縮してやったときに、その辺は1ポツこの時期は1ポツの説明この時期は、2-1、この時期2-2っていう感じに
0:17:38	見えるようになってくるとは思ってるので、その辺りで表現ちゃんとしてもらえればと。
0:17:50	この時期に乗りっていう感じにちょっと思ってるので、
0:18:05	はい。その他何か確認はございますでしょうか。
0:18:14	特にはないでしょうか。
0:18:17	それではスケジュールに関しまして原燃の方から振り返りをお願いいたします。はい。についてだけです。今の高島氏、瀬田ですけど、手続きの説明をお願いします。
0:18:35	す。
0:18:38	っす。あ、すみませんちょっと音声今全然聞き取れなかったんですけどもう一度お願いしてもよろしいですか。全然続きの説明をお願いします。聞こえてますか。
0:18:49	はい。今これ、すみませんちょっと今全然。
0:18:54	そうです。
0:18:58	はい。
0:18:59	はい。日本原燃清水。
0:19:01	続きまして共通中にですね、38律以降のスケジュールをご説明させていただきます。
0:19:08	まずは、3月10日のヒアリングを踏まえてコメントの方取り組みした資料の方を、本日出させていただく予定でございます。
0:19:19	資料でちょっと一部ですね、写真の(1)の一部です。堀部C O Oについては、
0:19:31	ちょっと次回に向けてちょっと作業の方を並行して対応を進めたいというところがございます。あとは、コメント対応のうち、基本設計方針の網羅性を構造設計の中でどう説明するんだという説明方針の方につきましては、
0:19:46	共通12の資料とはちょっと分けてですね今ワーポイントの方でちょっと整理方針のほうをまとめておりますので、こちらの二つの資料を本日出ししたいと、いうふうに考えております。

0:20:00	県立まずポイントのほうでちょっと整理報告見ておりますので、こちらの方も増えております。5番以外のものについては、昨日冒頭でちょっと午後は、ご説明させていただいた通り、
0:20:13	1週間ちょっと後ろの方にちょっとスケジュールの方の提出時期の方見直しております。
0:20:18	あとは昨日のヒアリング、すいませんヒアリングで、は、ご指摘を踏まえまして地震の関係者と昨日集まって、共通12の方をどのように整理していくのかという、社内での認識合わせの方実施してございます。
0:20:34	ちょっと資料上はかけてございませませんが、今日清社内で打ち合わせした結果としましては、基本的に共通12の整理の骨組みというのは大枠できていると。
0:20:47	いうところと、地震の設計方針というのが地震力に耐えるであったり、
0:20:54	検討とかではケーキが足りないという方針は共通的なものになりますので、まずは、一つの今飛来物防護板先行施設、竜巻の方でご説明してまずけど、
0:21:05	これを題材にしてですね、地震としてどういう情報を書き込んで、整理すべきかというまず一つの例をしっかりと事業者として、我々として整理して、
0:21:14	そのウェエート整理したものをベースにですね、悩むところであったりというところをご議論させていただきたいと思っております、
0:21:24	スケジュールの方はちょっとまず、ネタをまず作った上で、いつごろご提示できるのかというのをちょっとお示ししたいと、いうふうに考えております。一応目標としてはできれば今週中には一度お示しできるようにしたいなというふうには考えております。
0:21:44	はい。共通12関係のスケジュールとしては以上になります。
0:21:48	規制庁の田尻です。ちょっと音声途切れ途切れになったんですけど、なぜ聞こえたのであとちょっと発言したら申し訳ないですけど大きく2点の瑕疵なんですけど、まず一つ目は本日資料を提出するという話だったんですけどこれいつ頃ですかね一応もう明日ヒアリングなんて早い越したことはないんですけど今の状況は、
0:22:09	はい、日本原燃清水です。閉じた時間としてはですね、という形になるかと思っております。何かの確認とちょっと今、並行して進めているところがございますので、

0:22:21	申し訳ありませんがちょっと 16 時めどでちょっと提出させていただきたいというふうに考えております。
0:22:26	規制庁館です。今から照らしてもどうしようもないような気がするんですけど、
0:22:32	できるだけ早いにこしたことはない田内の確認時間というのも確保できるんでよろしくお願ひしますというのが 1 点と、
0:22:37	あと、すみません、ちょっとこのトゲトゲちゃんと聞き取れたわかんないんですけど耐震のお話されたと思うんですけど、平松本インターを用いてって話にはなってたんですけど、
0:22:49	開放で今回説明するのって、飛来物防護板何まででしたっけ。
0:22:59	コサクですけど、質問はちょっと違くて、
0:23:03	何までというか、
0:23:06	実績やってもらわないと意味がないっていうのを前も申し上げたはずで、
0:23:12	だとすると、今週中になるべく出したいと思うっていう、
0:23:16	地震の進め方って意味がわかんないんですけど、
0:23:21	介護止めますか。
0:23:29	日本原燃清水ですちょっと私の認識が甘かったです。地震についても、今週、すいません。はい。早い段階で出せるようにちょっともう一度社内で検討させていただきたいと思います。
0:23:50	規制庁の谷井です。今ちょっと坂から一緒にちょっと 092 過ぎたところありますけど調査官に言っていた通りの通りで、むしろ今日出てくる予定の会合資料で、何がそこは書かれてないんですか。
0:24:07	はい。日本原燃志水です。本日、まずお出しするその会合の資料の前に、共通 12 の部分が、
0:24:16	地震の部分を精査中で今出そうというふうに考えておりましたので介護の資料も同じステータスで今準備をしようというふうに考えておったところでございます。
0:24:27	規制庁谷井です。先ほど話もありましたけど、パッケージで絶対示してもらわないと、結局何もそろってないものをまたかける形になってしまって意味がわからなくなるので、

0:24:39	最低限枠というか項目がここに入れる予定ですよというのがわかるような形で出していただいた方が誤解もないかなと思うので、よろしくお願ひします。今から以上です。
0:24:56	藤規制庁カミデです。耐震のはなCですけど、
0:25:02	会合でやるということならば、明日のヒアリングで、資料にはなくてもどんな感じかは、説明できるようにしといてください。
0:25:14	で、飛来物項番を1ネタにって言ってますけどその地震のフォーマットっていうんすか表のフォーマットって、
0:25:24	防護版で必修で出すとそれ以外全体何種類ぐらいで作るイメージなんですか
0:25:35	はい。日本原燃清水です。
0:25:40	F Mの解析者と提携敷物でちょっと添付書類の記載レベルが違うと思った、記載箇所が違うと思ってますのでそこで二つは最低限は分かれるだろうとは思っていますが、
0:25:53	さらにちょっと、検討を進めていく中でちょっと必要によって分類必要があればちょっと検討したいと思います。
0:26:01	はい。規制庁上手です。昨日話をされたっていうのはそういうことを話をして、経験式等、F M Cがあるねみたいなそんな話したってことですか。
0:26:15	はい。そういうもののお話であったり、個別補足とのちょっと関係なり、
0:26:22	ていうのもちょっとはい合わせて、認識合わせをしておりました。
0:26:28	昨日ちょっとよくわからないんですけど、
0:26:32	F E Mと提携式の類型によって、
0:26:36	確かに構造の説明のサンプルっていうのは変わってくるんだと思うんですけど、
0:26:44	一方で表D昨日説明必要な機能との関係で説明するということについてはさん、そんなに大きく変わらないような気がするんですけど。
0:26:54	何でパターン分けるんですか。
0:26:57	はい、日本原燃清水です。今コサクさんがおっしゃっていただいた通り基本的なところは変わらないと思ってます。ただ設計方針として添付書類から記載を抜いてくる場所、

0:27:09	が、FMと提携式でちょっと添付書類の情報量の違いがあるという認識してございますその部分で、横軸の差が出るのかなというふうに思っておりました。
0:27:20	すいません。規制庁深見です。
0:27:24	ちょっとや検討の方向性が大分、
0:27:27	大分っていうわけでもないですけどちょっと細かいところに目が行き過ぎで、もっと大枠でとらえた方がいいですよ。
0:27:34	建物等、機器ぐらひはまずは加齢んです。建物もSの機能を持つてるとそうでないものみたいなぐらひでは、おそらく分かれるんですよ。機能維持の考え方違うから。
0:27:49	機器系もそもそもSのものあと波及影響与えないものっていうのは、設計方針違うのでクライテリアが違うのでその辺はわかるんですけど。
0:28:02	とりあえずわあ、それぐらひの分割で、その構造の設計、構造設計の思想というんですかね、っていうのは、それぐらひの分割でまとめられるはずだと思ってるんですよ。
0:28:17	その辺を頭からちょっとちゃんと整理して欲しくていきなりその経産省がここにあるから、これとこれは別だとかですね、そういうところから入らずに、頭から皆さん、
0:28:30	第5章で書いてるじゃないすかまとまりをちゃんと説明すると、だからちゃんとまとまるところで、譲受カラーのまとまり考えて説明してくれればと思ってます。そういう話が明日聞けるといいなと私は思っていました。
0:28:46	はい。日本原燃清水です。今、根井さんからいただいたアドバイスまでちょっと頭の中再度整理し直して明日のヒアリングの中でご説明できるようにし、対応したいと思います。
0:29:01	補足です。私も同じ意見でしたので、よろしくお願ひします。こういったことも、添付年からどういうふうな考えで、作業してるかどうかで言っていたかかないと、
0:29:14	せっかくの朝ミーティング、意味がないので、
0:29:20	もうこれも繰り返しになりますけどよろしくお願ひしますいずれにしても明日のヒアリングで話が聞けるということで、そこでまたイメージができればと思ひます。よろしくお願ひします。
0:29:33	4年シミズ承知いたしました。

0:29:41	その他共通中に関係ございますでしょうか。
0:29:47	よろしいでしょうか。
0:29:49	藤それでは原燃の方へ、トーセの方、続きをお願いします。
0:29:56	日本原燃の篠崎でございます。
0:29:59	ちょっとスケジュール、2枚目にいただきまして、溢水薬品関係のところの頭状況を説明します。
0:30:05	まずコメントに対する対応方針ということで、溢水夜勤番すいません遅くなりましたが昨日提出させていただいておりまして、
0:30:13	今日の午後、等をヒアリングさせていただく予定としてございますよろしくをお願いします。
0:30:18	で、その中で対応スケジュール案別というのを設けまして、そのそれぞれのコメントがですね、この後1ポツだとか、2-1だとか、今度繋がるかといった関係性を、
0:30:31	示して参りましたんで、まずすいません詳細なスケジュールに落として落としきれていないんですけれども、それをスケジュールの方に落として参りたいと思っております。
0:30:41	はい。あとですね資金のスケジュールとしましては、明日、これ53番になります、
0:30:49	審査に向けて全体像を示すものということで資料を提示させていただいて、
0:30:54	あまり評価ずに、
0:30:57	失礼しました翌日ですねヒアリングしていただきたいと思っておりますこれ中身は
0:31:02	申請書補足説明資料で、
0:31:05	どういった目的でどんな図表がついているかといったものを示すものでございます。溢水まだ全然補足説明資料もたせてございませんので、
0:31:14	出てくる図表の過不足ですとか、どこでどんな情報みたいなのを示してきていないので、そういったところに起因するコメントもたくさんもらってございますので、ちょっと早めに全体像をお示しさせていただきたいといったのが趣旨でございます。
0:31:29	はい。あと、このスケジュールの中で明日、同じように評価対象設備の選定について、資料を出してヒアリングを設定させていただくということにしておりますが、

0:31:40	すみません、これも前からちょっと作業に時間かかってますよという申し上げてございましたけども、ちょっと明日ちょっと出せないような見込みになってございます。
0:31:49	ちょっとまだ作業に時間かかっているところでございます、いずれにしても1ポツ設計状況の評価判断基準の、すみません、7月の審査会合に向けてこの1ポツの議論の中で説明しなきゃいけない項目という認識でございますので、
0:32:03	それを踏まえてそのターゲットマニュアルにですね、
0:32:07	リスケジュールをさせていただきたいというふうに考えてございます。
0:32:10	一層薬品簡単ですが以上です。
0:32:16	それでは磯薬品について規制庁側から確認あればお願いします。
0:32:24	規制庁の清水です。
0:32:26	藤一村薬品関係は午後ヒアリング予定してるのでそこで詳細は聞こうと思ってます。
0:32:37	てる。
0:32:40	ので特に今は大丈夫です。
0:32:44	はい。
0:32:45	その他規制庁側ございますでしょうか。
0:32:50	よろしいでしょうか。
0:32:52	それでは、現状の続きの説明をお願いします。
0:32:57	日本原燃の鳥海木野氏、支援のスケジュールでして制度スピルに関しては、63行目の8号の取り組みの部分、脳機能
0:33:08	を6畳分のうち5畳分を出しましてちょっと時間も遅くなってしまいましたけれども、プールの部分は現在提出対応中ということで午前中にプールの部分を、
0:33:19	出し切って出しましてそれで6条文教、
0:33:23	午前中の陳情に出している予定です。64行目の、従事中のSPARKLEに関しては今、マスクングの確認を依頼をしてるところで午後ちょっと何時っていうところが、
0:33:36	まだわかんないんですけども早く出せるように午後のベースできるように対応しているところです。スケジュール予定に関しては変更ありません。以上です。

0:33:48	はい。江藤規制庁竹田です。それではS A 関係で確認あればお願いします。
0:33:55	規制庁高梨です。今お話あったところでは 63、64 を予定予定というか独自にちょっと触れますけども 60 予定通り今日提出ということなのでよろしく願いいたします。
0:34:06	あとは変わってないということなので今日特にあれなんですけどちょっと細かいところで1点だけこのQ A と今日のスケジュール表のどんとね、6465 辺りのちょっと先の話なんですけど、
0:34:19	28 日ののところとか、そのヒアリングを重ねてということでヒアリングのマークだけついていて、資料提出がないようなところがあるんですがこれしかあれですけど、
0:34:29	吹き出しコメントにかけて資格があるの見えなくなってるのかそれとも単純にヒアリングだけをこう続けていくっていうイメージだとちょっとそこのところをちょっと補足していただけますでしょうか。
0:34:39	はい。日本原燃の堀口です。資料の 29 日のヒアリングは 22 日に提出した資料で実施させていただきたいと考えてます。
0:34:51	22 日に提出させていただいたものを、23 日のヒアリングでこういう物量が多くなりますので、こういった形の資料になるという、資料、
0:35:01	修正をしましたという概要説明をさせていただきましてその具体的な中身の話のヒアリングというか審査っていうところを、事実確認を 29 日にさせていただきたいということで、三角二つ、置かせていただいています。以上です。
0:35:20	29 日、30 日ですね。はい。失礼しました。以上です。
0:35:24	はい。規制庁高橋です。わかりましたじゃその辺りは、コメントの量とか紙資料の修正の内容とかに合わせてヒアリングを設定、再徹底して調整するという形で理解しておけばいいかと。
0:35:36	ということです。です、理解しておきます。わかりました。はい。以上で私からは以上です。
0:35:44	規制庁の藤原です。先ほども説明にあったのでは思いつつも、64 番のところの十時 17、今日提出で、明日午前中のヒアリングなので、可能な限り早く提出していただきたいと思っていますのでよろしく願いします。
0:36:00	はい、辨野ホリグチです。了解しました。

0:36:10	1 規制庁タケダですそれ、その他S A 関係はよろしいでしょうか。
0:36:16	はい。
0:36:16	藤それでは原燃の方、都築説明お願いします。
0:36:23	下のフジノですその下の最後の 70 列名は、昨日から特に来ませんで、アナウンス資料提出し、
0:36:30	はい。ヒアリング設定というところで、準備しているところがございます。
0:36:35	説明としては以上になります。
0:36:38	はい。ありがとうございます。それでは、申請準備について規制庁側から何かございますでしょうか。
0:36:49	これは特に大丈夫でしょう。
0:36:52	はい。それでは、この式の対応スケジュールについて原燃の方から振り返りお願いします。
0:37:01	はい。日本原燃の城です。私の方からちょっとまとめて振り返りさせてもらいます。足りない点がもしあれば（ア）
0:37:08	等ごとにですね、
0:37:11	コメントいただければなと思います。
0:37:13	それでは耐震関係ですけどもまず今の分類ですね、早期見直しまして地盤建物等土配管というものに分けて、それぞれスケジューリングして、説明内容が見えるようにちょっと修正かけていきたいと思います。
0:37:28	それから 00 資料なんですけど、農道だったり建物機器配管系がある中で、機器配管系の提出時期にこだわらずですね、建物なんか準備できたものを説明できると思うという話ございましたので、これ時期調整して独立提出できるように
0:37:44	準備進めていきたいというふうに考えています。
0:37:48	それから、今お話したように先行している資料ですね、各パートごとに分かれるようであれば、先行した資料にちゃんと購読する資料がですね、習って、編集できるような作成できるように、そういったところをしっかりと考慮して、
0:38:03	対応していきたいと考えています。
0:38:06	それから 2-1 関係の整理ですがちょっと共通 12 との関係なんかで少し悩んでいる部分もあるということをごっちらからもお話していますが、今言った地盤建物どうどう機器配管の四つの分類の中で、

0:38:20	1 ポツ 2-1-2 というところをですね整理しながら、スケジュールで見えるように、整理したいと思います。
0:38:28	耐震関係以上ですけど原価は大丈夫です。
0:38:31	はい。費用なります。
0:38:37	はい。送付準備関係はですね、まず
0:38:42	今、全体で使い物で指名すべきものっていうものはですね、今日提出しようとしているような会合資料の中で、何を説明しているのかというところが、全体でわかるように、準備進めます。
0:38:55	それから一通った耐震関係の分類の話ですね、ちょっと下の方で細かい、FDMとかで形式とかにこだわり過ぎているので、もっと大枠で、
0:39:05	建物、設計それ以外とか機器のSを与えないものというような大きい分類にして、まとめられるはずだと、それでは上流側から整理した話ということございましたので、それをちょっと念頭に、資料精査を進めていきたいと。
0:39:21	いうところでございます。
0:39:23	それから今回行っているような現状の考え方ですね、明日のヒアリングでももう一度その最終の考え方っていうのをしゃべれるように、準備を進めたいと思います。
0:39:35	京都 10 人。
0:39:38	大丈夫です。はい。あと溢水関係は僕のヒアリングでということで対応させていただきます。
0:39:44	それからS A 関係は、高梨さんの方から 6065 のヒアリングの設定の仕方ありましたけどもここは前段で簡単な説明して中、2 段目で詳細に説明するというところ。
0:39:57	あと藤原さんからあったナンバー64、1117 今日早く提出できるように、準備進めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:40:05	猪狩場になります。
0:40:07	はい、ありがとうございます。今の説明につきまして規制庁側からコメントございますでしょうか。
0:40:20	県側から何かございますでしょうか。
0:40:25	はい。日本原燃事務局です。はい、朝日側はこれで特にございません。ありがとうございます。

0:40:32	規制庁だけです。はい、承知しました。それではサカイとしては以上とさせていただきます。
0:40:38	続いて耐震建物 01 のヒアリングあると思いますが人の入れ替えとかは、原燃ありますでしょうか。
0:40:46	はい。日本原燃の瀬戸ナカハマです。はい。ちょっと人の入れ替えさせていただきたいので少々お時間いただきたいと思いますがよろしく願いします。
0:40:57	ありがとうございます。お願いします。はい。
0:41:01	それでは 50 ページ、次回でよろしいですか。
0:41:05	はい。日本原燃事務局中岡です。はい。50 分再開、了解いたしました。よろしく願いいたします。よろしく願いします。どこも停止します。
0:00:02	規制庁の竹田です。それではヒアリングの再開いたします。
0:00:06	えっとですね、浅香仁木スズキの再開にはなるんですけども出席者を入れ替えましたので、まず出席者紹介いたします。
0:00:15	本庁側からは竹田が出席しております。ウェブからは、コサク、
0:00:22	カミデ、
0:00:25	今日は岸の
0:00:27	ハバサキ。
0:00:29	以上になります。それでは日本原燃の方から、出席者の紹介をお願いいたします。
0:00:36	これ、労働の話、道路の話ね。はい。これ午後日本原燃事務局中浜でございます。はい。事務局でございます。参加者に紹介いたします。
0:00:50	まず事務局より、サトウ、
0:00:53	タカハシセガワフジノナカハマ。
0:00:57	地盤関係で、ムラカミミヤモトウノムラタオオダテ。
0:01:05	頭の関係で、ヒロタニウラバヤシイナズマヤマモトオガセ
0:01:13	営企記念関係で、ホシノスケカワ。
0:01:17	ハラダナリタ。
0:01:20	参加者以上となります。
0:01:22	ご確認いただきます資料でございますけれども、耐震建物 01 を中心にですね、耐震建物でございますけれども、私の建物の 31 耐震地盤 01、

0:01:35	耐震建物に立地する地盤同位体審査店舗ビル 3⑮、耐震建物 37 のご確認をいただきたいと思います。
0:01:45	それでは耐震建物 01 の説明を開始いたします。
0:01:49	この元のオガセでございます午前中の部といたしましてはまず耐震建物 01、耐震設計の基本方針に関する件でございます。
0:02:01	大変対象の方が正規施設工認の手法の相談室のシステムについてこちらにつきましてご説明いただきたいと思いますが、申請に対する評価対象施設における施設の網羅性ですとか、図書の整理点、相違点そういったところについての整理を今回さしてきているというものでございます。
0:02:20	表紙のところちょっと書かせていただいているところですが、本日の段階におきましては実際の整理結果といたしましては、建物と道路をメインでやってございまして、機器配管系につきましても今現在整理の方を実施中でございますこちらにつきましては次回の改定で追加の方をさせていただきます。
0:02:35	全体の位置付けについてだけさらっとだけご説明させていただきます。4 ページのところへお知らせいただければと思います。
0:02:44	こちら 4 ページでございますけれども、こちらのこの、この耐震建物 01 の資料の全体の位置付けみたいなところをフローのような形で記載をしているところでございます。
0:02:55	この耐震建物 01 というのはですねこの図の真ん中あたりのところがございます白い横長の枠で囲っているところを補足説明資料というところでございます。
0:03:05	この耐震建物 01 でご説明したい内容としては三つの承諾になってございまして、一つ目はまずメンバーリスト作るぞというところの話、今回設工認における評価対象施設の網羅性、あとはその評価対象の部位、その施設から部位にブレイクしたときのその網羅性とあと評価内容、その妥当性についてご説明するというものでございます。
0:03:24	次にポツといたしまして既設工認との手法の相違点との整理というところで 3 ポツといたしましていわゆる補足説明資料こういったものを今回出していくかというものを今回設置工認における主な説明項目というものをご説明するものでございます。

0:03:38	1 ポツのところ、メンバーリスト作るところの話につきましては、上から矢印が伸びてございますけれども、基本的には耐震設計の基本方針に書いてございます耐震重要度分類、あと波及的影響で絞り込んでいる会プラス対処下位クラスの施設、
0:03:53	これを当然メンバーとして入れるものでございますけれども、真ん中に点線四角で囲ってございます共通住民を横から指しているような形でございます。これが何かといいますとちょっと今、タイトルがすいません古井今の共通授業タイトルとちょっと違うものになって申し訳ないんですが、
0:04:09	耐震の条文あと耐震以外の条文のところでの構造関係、いわゆる申請して新設していたりですとか、改造したり、あとは例えば要求機能等が変わっていたり、そういったものにおきまして構造にはね返ってきているようなものが共通 12 で整理されると思いますので、
0:04:24	これらを読み込んだ上で耐震のメンバーリストとして1 ポツに、メンバーがフレキされるというようなことを考えているようなものでございます。2 ポツと3 ポツにいたしまして、周知されるということを考えているようでございます。
0:04:37	金額の変更点もしくは今回のお出しする補足説明事項というものにつきましては、詳細な補足説明資料を準備することとして考えてございまして、先ほど冒頭の朝の時にもお話ありました建物どうどう機器ごとに、
0:04:51	金額の変更点というものを施設ごとに細かくブレイクした補足説明資料を2 ポツにぶら下げて作るつもりでございます。また3 ポツの主な補足説明資料につきましては各補足説明資料を実際に作ってお出しするところ。
0:05:03	さらにその時には第1回申請でのご説明内容、あとは類型化踏まえて代表性、そういったところも踏まえた効率的なご説明をしていくということを考えてございます。で、こちらにつきましては本日この補足説明資料につきましては、全体的な位置付けとその建物と道道につきましても、1 から3 までの項目につきましては全体の整理をしてきたというものになっている
0:05:23	ございます。全体のちょっと構成につきましてはのご説明に留まりました。は以上でございまして、最後に1 個だけなんですけれども、前回の旭や一の場合とかでちょっとご説明させていただきました通り、

0:05:36	ちょっと本資料一部、すいません振番と9番が一部ページがダブってしまったところがありましたのでそちらだけ、御所お話をさせていただきます。この資料の43ページと44ページ。
0:05:48	労働に関します主な説明項目のページがありますけれども、43ページと44ページで道路、同じような資料が載っております。これがですね43ページが新坂44ページが9番と愛知が誤ってついたというところがございますので、
0:06:04	本日ご確認いただくのは正しくは43ページでございます、44ページにつきましてはすみませんが削除というような形に扱っていただければと思います。こちらからのご説明は以上です。
0:06:16	はい。規制庁の竹田です。ありがとうございます。それでは耐震建物01について規制庁側から確認をお願いいたします。
0:06:27	はい。規制庁カミデです。まず最初に、建物と同等は反映してるけど、機器はまだですっていう話なんです、機器って。
0:06:40	全く手をつけてないわけじゃないと思っていて、ちょっとどういうステータスにあるのか、説明してもらいます。
0:06:49	はい。日本原燃助川です。衛藤。
0:06:52	県につきましても、浅見さんの方からお話があった通り、全く整理をしているわけではなくて内容につきましては次回のものについて、江藤三角。
0:07:03	市野さんから別紙のところまで整理してますただちょっと今回付けなかつけていなかったところに関しましてなんですけども、計算書の方で、現在分類っていうところの見直しを現在かけてそれをまず計算書に反映してございますと。
0:07:16	同じような形で江藤耐震建物0につきまます。その変更点ですとか、評価部位の網羅性っていうところの整理の方、並行実施しておりまして、現在ちょっと計算書の方、
0:07:26	まずは片田に数えておりまして今回まだそこまでのまとめというところができない。
0:07:33	それをまとめることで今回は生産性をつけることができなかったというふうな生活の状況になってございます。以上です。

0:07:40	規制庁上出です。今の話では、何のことかよくわからなかったので、D I Sで行ってもらいます。何ページの方、まだですとか、こういうところ、
0:07:53	情報伝達されます。
0:07:57	絵本減圧ペーパーレス申し訳ございません。まず、ページ数で言いますと、
0:08:02	今回のテリー町と、
0:08:06	2 から 45 ページ。
0:08:12	さっき本こちらがですね
0:08:17	主な説明項目で 15 分です 45 ページの表が何か網かかって困ったんだと理解してるんですけど、
0:08:26	さっきの話だと何かこれ以外にもいろいろありそうだとよくわからなかったんですけど、申し訳ございません、そちらのページがですね、すみません、下のページでまず 54 ページ目。
0:08:42	すいません、こちら今回変更表紙だけをちょっとつけさせていただいております、こちらについても追加改定型加瀬いただいておりますが、土地連側につきましても、この表紙の後にですね、
0:08:56	前のページ 53 ページにあるような、すいません。嘘、嘘、評価部位の選定という形で、どの機器、規制庁、
0:09:08	その辺はわかりやすいのでいいんですけど要は本文部分っていうんですかね最初の説明パートは反映してますっていうことでもいいんですかね。
0:09:20	はい。日本原燃星野です。今神谷さんにおっしゃっていただいた通り、本文部分については、以前の方も反映させていただきました。で、反映できてないのは先ほど 45 ページの方と、別紙類の方の再整理を今、対応しているところでして、そこの対応を追って追加させていただきたいということです。
0:09:44	はい、規制庁間ベースがわかりました。
0:09:47	あと 4 ページの表が、今回第 2 回で増えてきて、全般整理しました。
0:09:55	考え方としては整理ができてるような気はするんですけど、
0:10:03	例えば、
0:10:05	真ん中 3 ポツ、
0:10:07	から、各補足説明資料には 14 が伸びていて、つまりこの補足説明資料で、耐震いろいろ補足説明書たくさん出てきますけど、

0:10:19	まずはここの3ポツで、こんなものがありましてっていう、
0:10:24	説明がされ、それがさらに補足に繋がっていると。
0:10:29	つまりその3ポツで説明されていない補足説明はありませんよっていうことだと思うんですけど。
0:10:38	本当にそういう構成になってますか。
0:10:42	今現状どうとらえてますか。
0:10:45	はい。日本原燃のオガセでございます。位置付けとしては上出さんが今おっしゃいました通り、今回こちらのこの耐震建物01というのは今回の設工認における耐震設計、
0:10:56	最新評価における説明点全部を取り揃えるべきだと思ってございます。ですので、3ポツで、説明している補足説明資料はいずれも、その補足説明資料ができて出ていくんでそれに漏れはないというのがあるべき姿でしたらおっしゃる通りちょっと実態といたしまして、
0:11:13	今ちょっと今朝もお見せした各補足説明資料の工程表もございますけれども、ちょっといろんな資料の統合だったりちょっと分割みたいなところがあたりとかっていうところが実態としてあたりしますので若干すいませんトーンが取れていないところがございます。
0:11:28	これにつきましては今後ちょっとちゃんと割いてきた、適正化いたしまして、きちんと、今回耐震設計において説明すべき内容がこの資料の中で網羅されるようにさせていただくようにしたいと思います。以上です。
0:11:41	はい。規制庁管です。よろしく申し上げます。
0:11:45	あとそうだと、うん。新羽通カラーのところもあんまりよくわからないとは、
0:11:53	んところではあるんですけど、
0:11:57	2ポツの下の補足って、
0:12:00	要りますかと。
0:12:03	1個詳しい詳述しますっていうことで、2ポツの下のところは残しておくって感じですかね。
0:12:12	はい権現のオガセでございます。ここ、今上出さんおっしゃった通り、その2、この2ポツの下の補足というのは施設ごとのというのが肝でして、

0:12:23	具体的に今回この評価の指標化手法の相違点というところをこの資料の2ポツのところでご説明はするんですが、ある意味全体共通的なところとかあとは具体的な数値までは踏み込まないようなところの記載にこの資料では留めているところがございます。
0:12:39	ただその具体の数値ですとか、各施設で具体的にどうからその変更点がばらまかれているかというところを具体的に説明がした方がよろしいのかなというところで、このの補足説明資料というのををご用意させていただいておりました。
0:12:51	第1回の時にはですねこの資料P AたP A建屋と4Bで出していたというところもございましたので、今回もつけた方がいいのかなというふうに思っていたんですが基本的にすみません、建物の話でいきますと、
0:13:04	基本的に第1回でご説明した内容とほぼ同じような内容同じような流れの変更、同じような種類の変更点が並ぶだけですので、全部を説明する必要はあるのかというのはちょっとよう検討かなと思いますが、基本的にはすみません今はつけるつもりでいたところがございます。以上です。
0:13:21	はい。規制庁カミデです。この資料は、また来週ぐらい出てくるはずなんで
0:13:28	その見ながらかなって感じはしますね。4ページの表で言うと、2ポツの下の補足と3ポツの下の補足2ポツから3ポツ、A、
0:13:40	矢印がいくんだと思ってるんですけど、
0:13:46	そういう関係でいいですよ。
0:13:49	はい。日本原燃の方のおっしゃる通りだと思いますの変更点を踏まえての補足説明事項ってのもありますので2ポツから3ポツの矢印というのは、そうですね。あってしかるべきだと思いました。以上です。
0:14:00	はい。規制庁神です。
0:14:03	あと最初に説明された関係だと、建物明日建物どうどう機器っていう三つの並びで、
0:14:13	言われてましたけど、やっぱその場合建物に建て、構築物が含まれるということ飛来物防護ネットなんかも入ってくるんだと思う。
0:14:23	ですけど、

0:14:25	今本当に建物構築物といったときにそういうネットとかまで含んで、全部紙上ちゃんと書いているかって言うのは、あやしいなとは思ってるんですけど、どんな認識ですか。
0:14:44	日本原燃成田でございます。
0:14:48	教授の方で関係が今ご説明をしております、そっから 01 の中には、1 種のエリア、
0:15:01	おります。そちらの地域は政府の
0:15:05	即日の名称と考えております。以上です。
0:15:12	規制庁神戸です。すいませんちょっと成田さんの声全般ちょっと聞き取りにくかったので、ちょっと改めて、
0:15:21	あと短めにちょっと要点を絞って回答いただければと思います。
0:15:27	はい。すいません、家田でございます。竜巻に関しましては波及の改善としては旧の施設になりますので、今回の例を建物の領域には 6 月に、
0:15:39	藤江の説明、個別の例えば 23 で説明しようというふうに考えております。以上です。
0:15:48	はい。規制庁、上出です。
0:15:51	耐震建物 01 の守備範囲 2、
0:15:54	波及影響も入ってませんので、8 件は波及影響の補足で全体説明しますって回答ですか。
0:16:04	いや、日本原燃谷田でございます。はい。その通りでございます。
0:16:12	はい。規制庁カミデです。
0:16:15	どこからか説明すればいいかな、6 ページとかでいいですかね。
0:16:20	6 ページのフローを見てもうとても波及は別でいいと言っている感じはしないです。
0:16:28	もう 1 個言うと 4 ページ。
0:16:31	ドウツウ 12 で整理をしているものが全部、
0:16:37	耐震建物 01 に入ってきているはずなのに、
0:16:43	は形はまた別ですと言われてみるともうこの市場、水木内視鏡もヒアリングをやめていいかなと思ってますけどいかがですか。
0:16:54	日本原燃のオガセでございます。すいません。今神谷さんおっしゃった通り 4 ページのフローのところの一番左上にあります通り、波及影響を考慮する下位クラス施設のマップの通り、提供された上でメンバーリス

	トにしますのでこの資料での扱われる主人範囲の中だというふうなところの認識では間違いはございません。
0:17:13	あくまでも具体的な一つL s tというふうなところのところでご説明させていただきます。そうなんですけどそれにしてもちょっとそうなんですけど、ちょっとどういう主語のときに、
0:17:30	本当にね、板までちゃんとイメージして皆さん書かれてるかっていうところのその辺はまだこれから
0:17:38	精査しなきゃいけないポイントだと思ってるんですけど、認識ありますか。
0:17:44	はい。日本原燃のオガセでございます。おっしゃる通り、おっしゃっていただくということでございます。そういうのも竜巻に限らずなんですけれどもを通じて今後出てくるということで、
0:17:56	これはもう等のクープといたしまして、例えば7ページなんかに書いています地下水排水設備とかあと火災水関係の設備そういったものも共通中にレコード構造等が示されますのでその構造を踏まえて、
0:18:08	どういうふうな評価部位とか評価手法とかを取るかというところを整理しなければいけないと思いますので、他条文から飛んでくるやつっていうのはそういうものを網羅的に何か整理していく必要があると思います。冒頭で、すいませんご説明すればよかったんですが、7ページの下にちょっと四角で書いております通り、
0:18:23	これらの他条文から飛んでくるようなやつにつきましても共通住民の進捗に合わせ適宜追加の方はさせていただくことで、この資料、今この版を作る段階でもそういうふうな志向で考えてございました。以上です。
0:18:37	はい。規制庁カミデです。4ページの表、また話をすると、共通中にあるものが全部入ってくるので、
0:18:48	要はあの会合資料で行っている。
0:18:51	Aポツ、あとB I b II。
0:18:54	B3B4。Bさんは耐震ないのかな。ですけど全部入ってくるってことなあんですね。なんだけど、特に
0:19:05	耐震建物 01 第1回から作っちゃってますけど、
0:19:10	何となくそのB1の説明、さらにはB I Iの中でも、基準地震動っていうよりは何か改造物だったり評価手法の2ポツの方で違っているもの。

0:19:23	御説明っていう感じになっちゃってるんですけど、全体の説明項目っていう意味だとその新規ものについてはもう一通りまずは説明を、
0:19:35	しますとかですね、いう話も含めて耐震建物 01 で頭に謳っておかなきゃいけないんじゃないかなという感じがしますがその辺いかがですか。
0:19:50	ー原燃の大庭です。ごめんなさい作った時のイメージをお伝えいたしますと今、田宮さんおっしゃったような、コツっていうのが新規で、B系が既設で変更があるものですがけれども、
0:20:01	今回は新規物というものは当然リストアップの中に入りますので、共通中にしかり、当然耐震重要度分類で加わったものなんかもあったりしましたら、それは1ポツの中でその新規設備というのはメンバーリスト入りはしますと。
0:20:14	ただそのあとで実際の評価手法という観点にいけますと新設の既設の特にあのやり方が違うというわけではないという話、当然共通中に踏まえた構造、必要な構造部位とかの説明の範囲が違うことありえますけれども、評価のプロセスみたいところは新設だろうが既設だろうと一緒にいうところになります。
0:20:31	一緒に評価新設の既設の一緒に評価に対して、金融課からやってるやり方と違うかどうか新設だったら他の建屋と同じようなやり方でちゃんとやってるかといったところを2ポツ整理するということでございました。するつもりでございましたので、
0:20:46	何でしょうどちらかというこの1ポツは、をちゃんと取り組みますよ。変更点につきましては2でちゃんと説明しますよというようなそういうのちょっとすみ分けを考えていたところでもございました。ちょっとすみません資料としては読みにくいところなんですけども。はい。せ、作った思想としてはそういうものです。
0:21:03	はい。規制庁亀井です。今おっしゃっていただいたことは大体イメージ合ってるので、それが1ポツのところをちゃんと読めるようになっていう感じ。
0:21:14	かなと思います。
0:21:17	続けて話をする等、似たような話で全部拾ってくださいねっていう意味で言うと、
0:21:26	5 ページ目ですね、の、

0:21:29	①の最後にまた書き言って、地震の条文以外、
0:21:35	要は雨水とか薬品等、火災から入ってくるものもちゃんと拾い上げますよと言って、ここではちゃんとそういう宣言をしてるんですけど、
0:21:46	一方6ページにいっちゃうと、その話は何か注記で逃げちゃってて、図でちゃんと示していないっていうところがありますからその辺は
0:21:57	ちょっと注記で逃げるのではなくてちゃんと体系的に図で示してもらった方がいいと思いますので、その辺りももっとブラッシュアップ必要かなど。
0:22:07	いうところですので、よろしくお願いします。
0:22:10	はい。日本原燃のオガセですいませんちょっと下がったように見えて申し訳ございません。こちら注記じゃなくてちゃんとフローとしてどういう位置付けでそれぞれ引っ張ってくるのが超過分の整理のところに落ちてくるのかというところをきちんとフローに表したいと思います。以上です。
0:22:26	はい。規制庁神です。で、ちょっと細かい話をすると、そういった他条文から入ってくるものが17ページに挙げられてはいるんですけど、
0:22:38	薬品がいなかったりあと、外部の外部事象を把握するための監視カメラみたいなものもありますっていうのは、
0:22:50	話を聞いてますのでその辺は共通中にもちゃんと整理をし、されると、またこっちもあわせてブラッシュアップされるんだと思いますけど
0:23:00	修正漏れのないようっていうことを結局お願いします。
0:23:05	はい。日本原燃の大江ですかしこまりました。ちょっとこちらの情報につきましては現在の2月21の会合資料で、書かれているものベースで書いておりましたが認識してございます他の条文でまだ他にありそうだというところ認識してございますのでそちらについては漏れのないように、はい。適宜反映させていただきます。以上です。
0:23:25	はい。規制庁大上ですよろしくお願いします。1ポツとして確認したいのは、以上で1ポツで、14ページまでですが私は以上です。オオオカ規制庁側から14ページまでで確認があればお願いします。
0:23:44	はい。規制庁野崎です。
0:23:47	そしたら中身に入る前にですね炉通しの6ページのフローがありまして、確認手順のフロー。
0:23:56	はい。なんでこの右の下にBCクラスの話があって、

0:24:00	純粋なBCクラスというかBCクラスについても、当然変更点だとかです ね摩耗路線の観点で整理が必要だと思ってますが、BCクラスも、
0:24:12	そういった変更点等の説明については、対象になってるというふうに理 解しておけばいいんでしょうか。
0:24:19	はい。原燃のオガセでございますおっしゃる通り対象にはなりません でハバサキさんが今おっしゃったご指摘というのは前回のヒアリングでい ただいていたBCクラスの静的地震力に変更がないのかどうかというよ うなところの話を、
0:24:31	伊東氏の発言だと思っておりますが、そちらの詳細につきましては、 さっきの4ページのフローに書いてございます。2ポツのにいる補足説 明資料、そちらの方でちょっとご説明の方させていただきました、
0:24:43	設計の反映すべきはすべき、必要が本当にあるのかないのかというところ について、きちんとこちらの補足でご説明をさせていただくつもりで ございます。以上です。
0:24:53	はい。規制庁浜崎です。静的地震力の基準面以外にも、BCクラスに関 わる変更点とかはないんですか。
0:25:07	はい。日本原燃のオガセでございます。そちらもですね結局何でしょう 他の共通12とか踏まえた他の条文なんかの整理もしくはすいません耐 震の地震の共通中にも今後作られると思うのでそちらでの整理次第には なりますが、
0:25:21	現状での耐震評価、耐震設計に反映するようなところの変更点は今のと ころはない認識でございます。以上です。
0:25:28	はい。規制庁浜崎です。わかりました。
0:25:32	それともう一つこの四角の中にですねBCクラスに関しては、いわゆる 2分の1SDでの共振の恐れのある施設とか、部位についての検討しま すということを書いてありますけれども、
0:25:47	これ計算結果自体は多分出てこないのかな、実際事業者としては実施し ますということなんです、具体的にですね、例えば建物であったりど うであったり、
0:25:57	この評価対象っていうのは、と整理はされてるんでしょうか。
0:26:14	土、表現のスケカワです。今のご質問に対してちょっと配管については 建物の中で、B+Cプラスアルファわかってございますのでその中で共 振検討の対象というところは、衛藤。

0:26:28	社内の方で確認し整理の方をさせていただきます。以上です。
0:26:33	はい。規制庁ハバサキです。魚喜系は特になんですけど、建物とか屋外重要土木、
0:26:41	構造物には対象はないんですか。
0:26:46	はい。日本原燃のオガセでございます。現状の認識といたしましては建物構築物、建物の方につきましては、いわゆる共振Bクラスで共振を検討するような部位というものはないというふうに認識させていただきます。以上です。
0:26:59	はい規制庁ハバサキです。同等の方は、
0:27:02	冒頭について更新する制度っていうのはございません。
0:27:08	はい。規制庁浜崎です。わかりました。どうぞ何か、純粋な日があるんですけどそれは、共振の恐れについては対象外だというふうに、
0:27:18	現時点では理解しました。
0:27:22	はい、わかりました。私は赤川1ポツに関しては以上です。
0:27:28	規制庁上出です。ちょっと記憶が曖昧なんですけど、MOXの同等とかって
0:27:37	2分の1SDの評価してませんでしたっけ。
0:27:41	2年半は、もう複数ほどは誘致議員等々の話があって、井川駿希それで設計をしております。
0:27:55	はい、規制庁カミデです。だから機器内装する機器がBクラスの共振影響検討だから、藤堂も、
0:28:05	2分の1SDの評価をしますってことですか。
0:28:13	日本原燃の伊達です。どうぞ時代の物品の評価ではなくて、中に入っている会社の評価ということ自体は、評価は不要です。
0:28:28	どう規制庁カミデです。評価といったのが良くなかったのか、2分の1SDの応答計算はしているってことですか。
0:28:38	日本原燃の小田です。はい。ご指摘の通り、2分の1SDの床応答の達成はしているというところですか。はい。
0:28:48	はい、規制庁カミデです。そういう意味で、2分の1SDの応答計算する、その堂々だったり建物ってほかにも何かあるんですか。
0:29:02	はい。日本原燃のオガセでございます先ほどスケカワの方で申しました。建屋の中の機器で、Bクラスで共振検討する必要のある機器が入っ

	てる建物につきましては、我々建物当方といたしましても2分の1SDの応答解析を実施しているものがございます。以上です。
0:29:18	嘘じゃない。
0:29:20	でございます。次の労働につきましても先ほどの複数の道路事業に、設備口に求人研修が必要な道路についてはUHSに対するお返しを実施しております。以上です。
0:29:35	規制庁神です。まず建物については、
0:29:41	重水なびいの建屋だと、2分の1SDの比、応答計算必要な気もするんですけど、
0:29:49	SがいるようなところだとうSsとSDそもそもやっているから、SDの結果を、SDなりファレンス2分の1とかにして、
0:29:59	やっていれば、自分のS2分の1SDの応答計算っていうことはやってないっていうことになると思うんですってそういう観点で今聞いているんですけど、もうちょっと正確に事実関係を教えてもらいます。
0:30:14	日本原燃のオガセでございます。今上出さんおっしゃった通り、すいません我々といたしましては2分の1、S2分の1SDとしての地震応答解析を実施しているのが事実関係でございます。今上出さんおっしゃった通り、例えばSDの応答を半分にするとかっていうやり方もあるにはあるとは思いますが、現状は2分の1SDそのもので振っているというところでございます。以上です。
0:30:36	はい、規制庁上井です。わかりました。何でSDの音を半分にすんじゃないかっていうのもそもそも入力で半分にすると、なので
0:30:48	須貝大友。
0:30:49	なかろうとも、炉心営業須賀広野稲葉ロードのcf持っている建屋は、2分の1のSGで応答を計算してますということですね、とりあえず状況わかりました。
0:31:04	はい。浜崎さんお願いします。はい、規制庁浜崎です。ちょっと細かいってか中身に入ってて申し訳ないですが今、その2分の1SD建屋の応答解析をするケースなんですけども、
0:31:17	地盤はもう地盤から2分の1SDで応答解析をやっているんですか。
0:31:23	はい。日本原燃のオガセ、おっしゃる通りでございます。解放基盤に2分の1SD入れまして、その2分の1SDなりの地盤のひずみを考慮し

	て、建屋振っている建屋を振っているということになります地盤からやっております。以上です。
0:31:36	はい。規制庁浜崎です。
0:31:38	今さでてるフローの中で、BCクラスに関してはこういう評価しますっていうのを書いてあって結果、計算結果自体は、説明は今回、
0:31:49	てかす、しないでもいいという形になってると思うんですけど。
0:31:53	ちょっとそういうですね日時間数での評価を検討する方針とは書いてあるんですが、内容についての説明、
0:32:04	今日のこの網羅性だとか、
0:32:09	スポ季節との比較とはまた違うんでしょうけれども、
0:32:14	ちょっと全体、どうなんだから基本設計福島でさかのぼるのかどうか、ちょっといずれにしても、このピーカ数の評価カミデです。はいて説明を、はい。してもらえないかと思うんですが。
0:32:30	規制庁亀井です。基本的に立て付けとしてBCも設計方針はしっかり示すと。計算結果までは添付しなくていいよという整理だと思いますので、
0:32:42	その辺やり方がこういうふうにやってやるんだねっていうのが、わかるようにこの設計方針でも書いてもらう方向になるんじゃないかなと思います。
0:32:53	日本原燃の大橋でございます。今のお話でいきますとBクラスの2分の1SDにつきましてですが、今先ほど申し上げました通り入力地震動として地盤からやっているというところもございましてつまりそれっていうのは
0:33:07	設計、耐震設計の基本方針の動的地震力のところで書かれている、地震応答解析のやり方のところと同じやり方をやっているというところがございますので、考えといたしましてはそちらと、そちらに従ってやっているという認識でございますので基本方針自体には書いてあるのかなというふうに考えている次第でございます。以上です。
0:33:36	はい。規制庁深見です。全くおんなじやり方だから、
0:33:40	そんなふうに読めばいいですっていう感じな気もしつつ、
0:33:46	誤解がないようになってるかぐらいは見ておきますか。とりあえず8わかりました。はい。以上です。

0:33:53	コサクですちょっとハバサキさんに確認なんですけど、説明してもらえませんかってことです。
0:34:02	ちょっと悩みながらお話しされてましたけど、
0:34:07	カミデ。
0:34:08	が行った
0:34:11	基本設計方針はっていうところ言うとは、令和2年6月のペーパーで言っている方針ってのは、別に基本設計方針だけでなくて、
0:34:22	評価方針とかも含めて
0:34:26	結果は示さなくてもいいけどというだけなので、
0:34:31	説明をし、全くしなくていいということでは
0:34:35	ないっていうところでは、認識はずれてないですよということ、その関係から、
0:34:44	ハバサキさんが何を求めているのかっていうのをもうちょっと、
0:34:51	お話いただけますか。
0:34:54	はい。規制庁幅野技術2分の1SD程度例えば応答開始地盤の応答開式建物の応答解析結果を、SsとかSDと同じレベルの
0:35:07	説明というのこれは不要だというふうに考えています。
0:35:10	ただ、先ほど自分の意思でSDに対して、これ、全厚の湯審査、
0:35:20	炉の申請の中でもですね、いろんなやり方があってですね。
0:35:26	SDの結果を、もう半分にして評価するっていうやり方もあります。そうすると地盤の物性値ってSDと、
0:35:36	2分の1で違うわけなんで、そこら辺をどうする、判断するかってのあるんですけども、具体的に、原燃は、今の説明ですと、JISPHとSDと分別はずっともう、期間基盤の1から2分の1SDを入れて、地盤応答解析をやって建屋をやってるっていう。
0:35:54	手順を踏んでますっていう説明が、説明は最低必要かというふうに思ってます。そこで、
0:36:03	先行の炉のような、建屋応答のSDの2分の1にしてるっていうやり方をとってるか取ってないのかとかですね、そこで結果に微妙に差が出てくるわけなんで、
0:36:15	そこら辺を原燃としてはどういうやり方をやってるっていうことを、基本設計方針では、そこまで読めるのかどうかなんですけども、読めない

	んでしたら、具体的に、BCクラスの耐震設計のところの説明にですね、
0:36:32	やり方、結果ではなくてやり方についての説明は必要というふうに私は考えてます。
0:36:41	迫です。ありがとうございますそれは必要です。
0:36:44	令和2年6月のペーパーをもともと書いた私は、そういうものが必要という意味で文章を書きました。
0:36:54	原燃においてはどのような認識でおられますか。
0:37:00	はい。日本原燃のオガセでございますおっしゃる通りの認識を持ちました。はい。ですので今の2分の1SDに対する評価につきましては基本設計方針における
0:37:10	ちょっとどっちに書くか動的地震力のところに書くかBクラスの設計のところに書くかこれについてはちょっとすいません考えたいと思いますが、その2分の1性を入力する場合はというところにつきまして、どういうやり方やってるのかというところが読めるような形で、基本設計方針もしくは、
0:37:24	すいません耐震計算のプロセスかもしれませんが、そちらの方に記載の方書かせていただきたいと思います。以上です。
0:37:32	はい、規制庁浜崎です。あ、ごめんなさい。古作です。すいません。
0:37:37	私も
0:37:38	必ずしも基本設計方針っていうわけでもないなと思ってて、どちらかというところ今言われたようなその耐震計算の方針のプロセスなり、
0:37:49	計算方法としてどうしていかっていうところ。
0:37:54	かなっていう気はしましたけど、それぞれにおいて必要なレベルで記載をされるということで対応いただければと思います。浜崎さんどうぞ。
0:38:04	はい。規制庁羽場です今の大橋さんの発言でもあったようにですね、現状我々審査側として、そういうプロセス方法の説明がないということはそれがわからない情報がわからないわけなんで、
0:38:18	そこのやり方に関しての設説明というのは、私設計方針書、耐震設計方針なりプロセスのところでの説明を求めたいと思います。
0:38:30	はい。日本原燃のオガセです拝承いたしました。松井お出しする、地震00の別紙4の中でそこの文章もちょっと書いてみてお出しするようにしたいと思います。以上です。

0:38:42	はい、北崎です。この点に関して私の方から以上になります。
0:38:55	その他、1 ポツまでにつきまして規制庁側から確認はございますでしょうか。
0:39:04	なければ、2 ポツ以降で確認をあればお願いいたします。
0:39:13	はい。規制庁カミデです。2 ポツで言うと、
0:39:19	15 ページからですけど、まず
0:39:23	17 ページの構成がちょっとよくわからなくて、
0:39:28	ここにポツ 2D 評価対象施設における評価手法の相違点ということでこの 2 ポツ 2 が書かれてて手法の相違点にフォーカスしてる。
0:39:41	一方で、15 ページに戻る等、
0:39:48	2 ポツ 1 は今回設工認における変更点の整理方針ということで、
0:39:55	(1)、改造物の改造で、16 ページに行って (2) で評価手法ってなってるんです。で、
0:40:05	なぜこの 15 ページ 16 ページだとちゃんとその物が変わったかどうかあと手法が変わったかどうかというところで整理をしているのに、17 ページになっちゃうと、地方だけの話になっちゃうのかっていうのがよくわからないんですけど、ちょっとその辺、
0:40:22	事業者の構成の考え方を説明してもらえますか。
0:40:26	はい。権現の大町でございます。こちらにつきましてはちょっと 1067 ページを見ていただきたいんですがまず 17 ページ、17 ページで今亀井さんおっしゃってた引率に評価手法の相違点というのは、この親はどこにいるのかというとそれは 16 ページの (2) 評価手法の変更点というところでございます。
0:40:45	ですので、この 16 ページに書いてある内容評価手法の変更点の深掘りはきちんとこの資料の中でやっているというのが実情になってございます。一方でこの 15 ページ、(1) の施設の改造または変更に伴う諸元等の変更。
0:40:59	というところが実際にどこで説明されるのかという話につきましては、すいませんちょっとわかりにくくて恐縮なんですけど、こちらこそ共通 12 のところで整理される、構造自体の変更で、そういったところつまり諸元が変わったりするものが、耐震設計で受け皿としては、その諸元の変更なんかがあるんですけど、

0:41:16	そういったところにつきましては、こちらの下にポチで三つで書いてございます具体的な変更点の補足説明資料の方でご説明の方展開させていただくつもりでございました。ただこの資料その下の補足に飛ばすとは、
0:41:29	いったもののやっぱりこの資料の中でやっぱり変更点としての種類としてはこういう諸元の変更、施設の改造なんかに伴う諸元の変更もちゃんと拾って総括として見てますよという意味の位置付けとしてはちょっと15ページとしてさせていただいていると、そういうような位置付けで作成をしました。以上です。
0:41:47	規制庁カミデです。今の話は15ページの(1)の、
0:41:53	もう、(1)の話も、いきなり補足に飛ばすんじゃなくて、01でもちゃんと書きます。その上で、(1)(2)あわせて補足に飛ばしますっていう回答だったと思っていいんですか。
0:42:08	日本原燃オガセで申し訳ありません。説明がつかないですちょっと今の私のお答えの趣旨といたしましては、15ページの(1)につきましては、諸元の変更というものがああります。その詳細は、これらの補足で示しますというところで、ここに出てくる変更点としては諸元の変更だけだということでもここで言い切りかなというふうに考えてございますので、それ以上ちょっと
0:42:28	追記するにしても諸元の変更の内容つらつらと書くというそれこそその変更の耐震建物31とかで書く内容とほとんど同じ内容が書かれるだけになりますので、
0:42:40	今この15ページの記載については、この程度で十分かなというふうに思ったところでした。以上です。
0:42:48	規制庁カミデです。やっぱりそうだと4ページの通りに作る気ないんだなっていう感じですね。
0:42:57	1ポツの一通りのことを補足に飛ばすんじゃなくて、2ポツの一部だけ飛ばすんです。それ以外は、3ポツに行くんですけど言ってないと、まず、フローの
0:43:09	書き方がおかしい。
0:43:10	ただ、今言われたようにフローを変えてもそう、そのフローじゃあ体系的に漏れなくってという意味では確認しにくいので、やはりですね、2ポツで一通りの変更点を、

0:43:25	手法もそうだし、改造者も、
0:43:30	含めて一時変えてもらおうと。
0:43:32	その上で一通り書いた上で2ポツの下補足が要らないんだと、つけなくていいんですよ。
0:43:39	細くなっちゃうから補足に飛ばしたいっていう、いうのであれば飛ばしてもらってもいいですけど、いずれにしても、ちゃんとその
0:43:49	01D全体のあらましっていうのを
0:43:52	示すようにしてくださいということなんですけど、大丈夫ですか。
0:43:59	－原燃の大橋でございますかしこまりましたちょっとこの資料ですいません最初に申し上げた指導の通りこの資料で耐震の全部が見えるようになっていう話もありましたので、変更点としては全部洗うことにしたいと思います。ですので、
0:44:11	ここの15ページの(1)にぶら下がるような、詳細なつまり施設の改造型の変更に伴って、こういう種類の諸元の変更が出ますというようなところをこういう改造に伴ってとか新設に伴ってというようなもの。
0:44:24	これらの種類の説明というのはこちらの方に追加させていただきたいと思えます。ただそちらにつきましてもすいませんちょっと共通12の整備の進捗次第というところになりますので、そちらの整理の方を横にらみしながら都度都度、必要なものについて改訂のために追加させていただくように考えさせていただきたいと思えます。以上です。
0:44:48	はい。規制庁亀井です。すいませんちょっと、
0:44:52	ちょっと油断しててあんまり聞いてなかったんですけど一通り反映してもらってことでいいですかね。
0:44:59	はい。日本原燃のオガセですきちんと反映させていただきます。一つ言いたかったのがその共通12の進捗状況に合わせて都度、はい反映させていただきますというところを、最後に申し伝えておきました。以上です。
0:45:13	木曾今です。
0:45:15	大津にテーマ、
0:45:18	何にしちょ、えっと共通中にどんな作業をして、そのうちどれが結果になるんでしたっけ。
0:45:34	4点目ナリタです。共通中に今現在富樫書記の竜巻の防護板の
0:45:43	営業もして、会社に関しては整理をしているところで、浅野マッピング

0:45:48	赤井の中でもあった通り、ちょっと今、パターンというかSSとか、それ以外の8期のものでその整理をしようと考えておりますので、そのためQ2としては、次の3者として整理になると思っております。以上です。
0:46:10	規制庁カミデです。今の話は、新建物01にはほとんど関係が、
0:46:17	なくて、
0:46:19	関係するのは共通12のうちの、今、竜巻の添付の中の話をしてましたけど、耐震の添付としてですね、一覧表があってその中に改造物だったり、
0:46:32	これはBワンですってさらに改造があるんじゃないんだみたいな話を一式整理、一応何かそれについては、
0:46:41	先月の会合でも整理、ほとんど整理済みぐらいの状況だったと思うんですけど、その表のブラッシュアップっていう作業も、
0:46:51	竜巻の話とはまた別にあってですね。
0:46:54	その作業のことなんだろうなと思って聞いて見たら、全然違うこと言われちゃったんで今困惑してるんですけど、誰か、交通整理事業者の方でできないですか。困惑するんですけど。
0:47:07	業者、稲井スタッフ。
0:47:18	赤嶺さんがおっしゃられた通りですね、耐震称して、耐震の観点で広がる共通ルールの整備がありますので、耐震面でですね。
0:47:31	そちらでの整理と作動が起きていくかといったところをちょっとやりながら、
0:47:37	になろうかと思ってますちょっと具体的に計算を励ますですね、限りがある耐震の方針をちゃんと説明できておりませんでしたけれども、今大木層のこの個別補足説明資料等、早急に扱えるという、そこをちょっときちんとですね、
0:47:53	整理しながら進めていきたいという趣旨でございました。以上です。
0:48:00	規制庁カミデです。
0:48:04	なんていうか、
0:48:06	いろんな話があるし、それぞれの執筆担当がいろんな一方がいるんだなっていう。

0:48:13	感じはするんですけど、やっぱりし、最低限その出費募って、いろんな資料っていうか提言組織の担当の方は関係する資料、自分の持ってる資料と関係する資料がどんなものなんだって、
0:48:28	どういうところが関係してその進捗はみたいな話を頭に入れておかないと我々とのヒアリングで、うまく進まないっていうことだと思いますのでその辺り認識をしっかりとっていただくということだと思いますので、よろしくお願いします。
0:48:51	私をいたしました。
0:48:55	はい、規制庁カミデて、ちょっと時間もあれなんですけど
0:49:02	19 ページぐらいかな
0:49:05	2 ポツで、
0:49:08	変更点として挙げるうちに
0:49:11	地震動おっきくなりましたよっていうことを、
0:49:15	だとか、だったらその、
0:49:17	プラスとして、
0:49:22	何だろう、前は、
0:49:25	Aクラス、
0:49:27	でよかったもの、要はエスワンに対して弾性設計でしか見ていなかったものに対して今回はS sで
0:49:37	若干の塑性まで入ったところまで、OKにするっていうことになり、それに応じた
0:49:47	モデルの構築だとかっていうところも、変更大きなところでは変更点なんだと思うんです。それによって、結局地盤モデルの話も、
0:49:59	競争より下の部分は既認可とは一緒ではあるんだけど表層足したりとかして、あとは地震動が大きくなったからっていうことで直下でどうなんだみたいな話を第1回でしてるっていうところなんで、
0:50:12	そもそも地震動が大きくなりましたよとか、
0:50:16	弾性設計だけじゃなくなりますよっていうところが、変更点として挙げた方が、
0:50:24	これ以降の捕捉との関係が整理しやすくなるんじゃないかなと思ったんですけどそのあたりいかがですか。
0:50:33	はい平面図でございます。今上出さんおっしゃってございました。昔はAクラスで閲覧までだったのが、今回はSクラスになったのでS sとS D

	必要になりましたっていうところは 19 ページの例えばセル棟なんかのところ、真ん中辺りの (工) のセル等の壁及び床なんていうようなところで、
0:50:52	その精神は書いているところでした。ただどっちかというと地震応答の方の中、
0:50:59	6 ページとかの方の話かもしれませんが今上出さんおっしゃってありましたようなそういうクラスの変更に伴って適用する地震力が変わったので、試験系の考慮具体的には地盤の非線形だったり、建物のスケルトンだったりあとは各基礎の浮き上がりだったりっていうようなところの種類のし点検を見ていて、
0:51:17	そういった評価を、あと精緻化という観点で追加しているというところが、S s を、地震動が大きくなったことに伴ってできたっていうことがちょっと明確に読めるようにちょっとすみません地震後の方はなっていないので、それはちょっと
0:51:32	記載のほうを適正化させていただきたいと思っております。以上です。
0:51:36	はい。規制庁カミデです 19 ページで、さらっと書いてあるんだけど何か限定的だ、もっと上流で大枠で言うんじゃないかなっていう思ったんで、お伝えしたまでです。
0:51:48	あとあれですね 19 ページでいうと、
0:51:51	B 括弧 A は変更だけ括弧 B は新規物としてってなるんでなんかこの辺も、ポツリ舗数は並びちょっと考えた方がいい。
0:52:01	います。で、
0:52:04	加えてちょっといっちゃいます。だけど、許容値って、
0:52:08	単に書かれても何のことかなみたいなのところもあるんでちょっとその辺りの文章の精査は引き続きちょっとお願いします今日のところで細かいところあれこれ言うつもりはないんですけど、精査してくださいというところです。
0:52:23	一応、2 ポツとして、2 ポツで、2 ポツの建物としては、21 ページまでありますけど、一応 21 ページまでのところで私は以上です。他、規制庁バルブお願いします。
0:52:38	はい。規制庁浜崎です今の話が出ました。今回、大きく、いくつか大きなとってあるんですけど、特に大きなのは、S S ですね、地震動が大きくなったことです。それで、

0:52:51	17 ページのところですね、2-2-1 のところにもこれ説明が必要というふうに考えるのは、
0:52:56	詳細は 38 建物 38 の方に、或いは 3 ポチの方についてというのはわかるんですが、それ以外共通的な事項として R C 基準の変更の話って、しか書いてなくてこれ非常に細かい話でどうでもいいってか後でもいいと思う。
0:53:11	で、下、6 ヶ所の場合は、S s が大きくなったことによって今回、ほぼ、
0:53:18	ほぼすべての建屋といたしますかですね、大多数の建屋ん従前は埋め込みを考慮してない町野瀬モデルという、いわゆる応答解析モデルだったのが、ほぼをですね、多くの建屋を埋め込みを考慮すると、
0:53:33	それによって側面地盤ばねをつける、或いは入力度の算定の方法も変わってくるわけですね、2 が + F になると、いうこと。
0:53:43	さらにはその浮き上がり神経の話、解析モデル方法が変わってくるというところがありますので、2、2-2-1 のところですね、地震動が大きくなることによって大きくこういう点を変え、
0:53:58	改良といたしますか変えましたという説明がまずあるべきかなというふうに思ってます。
0:54:04	その点、現所感といたしますか、お考えはいかがでしょうか。
0:54:10	はい。日本原燃の加瀬でございます。今ハバサキさんおっしゃっていた内容につきましてその内容自体は 1089 ページにばらまかれているような形で記載されているんですが 1 個の地震動が大きくなったっていう時に伴って共通的に変更している部分という意味では確かにまとめて書いた方が、
0:54:28	おそらく読む側もわかりやすいなというふうなところはすいません、今のご指摘踏まえて思いましたので、2 ポツ 2 ポツ 1 なのか、すいませんもしかしたらその地震応答の解析手法の中のトップなのかというところで、それぞれのところで
0:54:40	共通的な変更点というのをきちんと明確に記載するようにしたいと思います。以上です。
0:54:46	はい。規制庁野崎です。1 図形については
0:54:50	検討してくださいというところですね私は 8 日だというふうに思いますけど非常に多かったと思います。で、要は、1078、19 人。

0:55:01	ついても、今ガスの話、例えば側面版地盤ばねを今回繰り出しますって書いてあんですけど、なんで9側面地盤ばねを考慮するんだという話が、これわからないわけですね。
0:55:11	そういった理由を説明する上でも、上位の上流の側で、今のような話を、
0:55:18	埋め込み考慮を基本として考えるという説明を、があってしかるべきかなというふうに思ってます。ただ、一方ですね、今回申請対象を見ると、埋め込みを考慮している。
0:55:32	ものと考慮していない建物、
0:55:35	構築物ありますよね。その使い分けっていうのはどういう考えでされるのでしょうか。
0:55:44	はい。原燃のオガセでございます。基本的に今先ほどハバサキさんがおっしゃったことにもちょっと繋がるんですが18ページの真ん中辺りではばねを考慮しているというところの理由のところあまり書いていないというところでしたが、その動機と同期というか理由につきましてはその1個前のまたというちょっとところに感覚に書いている通り、応答の精緻化、
0:56:03	を行うためというところでございますのでその応答の精緻化を行ったそもそもの一番最初の動機というのはハバサキさんもさっきおっしゃってた、S sが大きくなったからというようなところではあるんですが、やはりこの我々のその後、
0:56:16	ばねをつけた動機としては応答の精緻化というところが、観点でございます。そういった観点でいったときに、既設のモデルにつきましては、なるべくやはりS s大きくなった上での正確な音を見るために応答の精緻化を見るためにはばねをつけたというところでございますけれども、
0:56:31	一部の新設の建屋の方につきましては、表層考慮しないで、任意での入力で評価することである程度簡略化したモデル、ただその簡略化したモデルっていうのは、いわゆるE + F入力ではなくて、任意の入力になりますので基本的に入力とか、
0:56:47	大きくなりますし、建屋側面の拘束効果もなくなるということで、耐震設計としては保守的な方向になるだろうと。それは金融機関の時でも2が主流だったりというところもありますので、やはり金融機関時にやっ

	てた保守的な手法で今やっても、新設の建屋なんかは成立するというようなところの確認を行うという観点で、
0:57:04	一部の建屋につきましては精緻化を行わず、保守的な設計手法をとっているというそういうような位置付けになってございます。ちょっと今すいません資料として見えないところですのでおそらくちょっとそういうのもきちんと、
0:57:14	書いてあげるべきなのかなというところ認識しました。以上です。
0:57:17	はい、店長浜崎です今の大橋さんの説明で概ねわかりましたあの要はせえっと一埋め込みを考慮していない場合、なぜ埋め込みを考慮しないのかという理由が書いてないんで、
0:57:30	ある意味考えようによったら設計的にうまく例えば退職となる周波数を避けるだとかですね、必ずしも保守的になるとは限らないわけなんですからね。
0:57:43	そこら辺どう考えてるんだ、事業者としてはまずどう考えてるんだという説明があってその埋め込みを考慮する場合はこうしない場合はこうという形ですね、説明がこの、
0:57:54	2ポチの前半のところですね、説明を、が必要というふうに考えますので、対応してもらえればと思います。
0:58:04	はい。
0:58:05	以上です。
0:58:07	はい。日本原燃のAベです考え方の記載を追記いたします。以上です。
0:58:12	施設部です私の方から、2の前半については以上です。
0:58:19	すいません。規制庁の岸野です。今のやりとりに関連してなんですけれどもこの資料の2発目の記載ってのは多分、木場さんからご説明があった程度のもので、
0:58:31	詳細についてはまた個別の資料でということになろうかと思えますけれども、その詳細についてはって言ったのは今の尾形さんのご説明ってのは多分間が逆概論
0:58:43	今、抑えられていたのでもちょっとふと思ったんですけれども、単に埋め込みを考慮するしないっていうのは、眼科入り、
0:58:53	簡略的で保守的な埋め込み考慮の場合に比べて、精緻化をする。

0:58:59	ものについてはそうしましたというご説明なんですけれども、単に例えば二次元フレームでやってたものを 30 円増えるんですよ。しかしました点はちょっと違うのかなと。つまり、
0:59:09	この埋め込み考慮するしないってのはそれが適用できるできないっていう条件もあろうかなと思いますし、例えば金融建屋、MOXのPu建てだったらもう、
0:59:19	見込み考慮しつつも表層地盤についてはばねを無視してるっていうようなこともあったかと思いますので、そこら辺考慮する考慮しない、どこまで見ないっていうのは、また敬語と地盤条件ごとによって、
0:59:32	違ってくるものがあるのかなと思いますんで、
0:59:34	この資料でのこの御説明は先ほどのような、ざくっとしたご説明になるうかと思えますけど今申し上げたような考え方、より詳細な考え方っていうのは、さらにその
0:59:45	ブレイクダウンしてここの補足説明資料の中で、ちょっと説明していただいた方がいいのかなと思いましたがけれども、その点は認識よろしいでしょうか。
0:59:56	はい。日本原燃の長谷でございます。おっしゃる通りかと思いましたが埋め込みありなしのところでの、どちらが設計としてとるべきかというところの考えっていうのはあるべきかと思えますのでちょっとその補足説明どういうふうにやっていくかというところは検討に追加させていただきたいと思えます。以上です。
1:00:18	成長期ですはい。今後の説明を確認したいと思いますよろしく申し上げます。
1:00:25	規制庁浜崎ですすみませんさっき異常って言ったんですがちょっと資料の中身について 18 ページのですね、
1:00:33	上から三つ目の 3 行目のところですね今回設工認では建屋側面地盤であるとか相当造成森藤のひずみ依存特性を考慮すると書いてありますこれポチの話なんで燃料を確保されたような話なんですけども、
1:00:50	高久瀨層支持層についても、非常に造成考慮していたんではないかと思うんですが、その点の記載がないかというふうに思うんですが、いかがですか。
1:01:01	日本原燃のオガセでございますすみません第 1 回の記載がきちんと網羅的になってなかったです。はい。おっしゃる通り第 1 回の MOX の時は

	鷹架層の下請けでございましたので、こちらきちんと追加させていただきます。以上です。
1:01:14	はい。規制庁和崎です。
1:01:16	あとですね、同じ 18 ページの真ん中ぐらいのパラグラフの解析モデルのところですので、
1:01:24	これは年度高久を建屋以外のものなんですけれども、変更点という観点になるのか例えば、もともと鉛直度を
1:01:35	統制的だったということに対して、
1:01:38	新規制基準以降ということ、それから大事設計審査指針の変更以降ですね、動的になってるといような、
1:01:46	そういう話っていうのはこの解析モデルのところに説明は不要ですか。
1:01:54	日本原燃の大賀清です。確か書いてたと思う。ちょっとお待ちくださいというと、
1:01:59	すいません。18 ページの b ポツの括弧入力地震動の 2 段落目鉛直方向についてはというところで、既設工認では当時の審査指針で静的だけですがこの場合は S s でやってますという旨は記載しているつもりでございました。
1:02:16	以上です。はい、規制庁、岡崎です。事務局長の件、鉛直動についても検討していると外科医志望するに鉛直モデルを作ったという話はないんですけど
1:02:26	両括弧エで読み解い読むということですね。わかりました。
1:02:31	あと、例えばですけれども、さっきも話した S s が大きく、入力地震動が大きくなって
1:02:41	浮き上がり非線形だとかですね等、物によっては 3 次元の F E M で浮き上がりの解析をし、している傾向が出てますけれども、そういった説明も、
1:02:52	両括弧 B の方には、
1:02:54	不要ですか。
1:02:56	はい。日本原燃のオガセでございます。ちょっと浮き上がりというキーワードがなくて、うんちょっと出さなければと思いましたが、この括弧 B 解析モデルの一番下のまたポツ、基礎底面地盤の回転ばねの非線形特性ここにすみません浮き上がりのことを書いているつもりでございましたが、

1:03:10	ここに浮き上がりによる非線形特性というなちょっと言葉をちょっとさせていただければわかりやすくなるかなと思いました。以上です。
1:03:17	はい、規制庁ハバサキそうですねその時1救急医弱の1Q市田に基づいてて、これが必要かっていうのあります
1:03:26	詳細な解析んていう意味で、
1:03:30	ひっくるめるっていうふうに理解できますけども、あえて191って書かなくても弱4601だけでもいいですしここ書かなくてもいいと思いますのでそこへ、
1:03:40	事業者の方で検討してもらえばと思います。以上です。
1:03:44	はい。日本原燃のオガセです記載のほう適正化拝承いたしました。
1:03:59	規制庁上出です。ちょっとお昼間際になってきちゃったんですけど、出席者の関係から言うと、特に建物貴殿の方は午前中だけだと思うので、さっと駆け足で終わらし、
1:04:16	を合わせちゃいたいなあとと思うんですけど、元にはそれでよろしいんです。
1:04:22	表現を待つですはいこちらの出席者は大丈夫ですので背弧のまま続けていただければと思います。
1:04:30	はい。規制庁甲斐です。建物はそんなところだと思っててで、次に12ページワー、屋外重要土木、
1:04:39	屋外重要だけっていうか土木でいいような気がしますけどこれ後も話をするのでちょっと飛ばさしてもらいます。
1:04:47	23ページに機器手配関係これ手法の相違点だけ書いてますが、先ほど建物の話だとその改造物っていうところもあらまし書いてくださいねと。
1:04:58	ということなんですけど、
1:05:01	今、この手法の相違点、
1:05:04	はこれで網羅的に書かれていてもうこれ以上出す必要はないと思ってるっていうのが、事業者の理解ってことですか。
1:05:13	はい。表現ですけど、現状の部分につきましてはここですべて網羅的に書いてると考えています。ただ、ちょっとこの23ページ目の下の方に記載させていただいてございますが、衛藤。
1:05:24	細かいもので条件の変更とか設備によって、その同じ項目でも変えたりして今後、

1:05:31	ものがありますのでそれについては、現状この資料では項目だけをさせていただきます。で、今回綺麗につきましては、補足説明資料耐震綺麗 13 というところで、既工認からの変更点という資料で、
1:05:44	衛藤地区から変更でまとめる、補足説明資料を出すということで、整理をさせていただきますので、この全体項目を全部入ってまして、こちらの詳細を、
1:05:55	大変綺麗に 13 の中で展開させていただくというところ考えてございましたので、現状は現状の記載とさせていただきます。以上です。
1:06:05	はい。規制庁亀井です。とりあえず大枠はかけて手法についてはかけてっていうところで、まずわかりました貴殿はもうまた、
1:06:15	来週再来週と確認するのであった O M E G A しますので、
1:06:19	ちょっと進めてしまいますが 24 ページから、この 3 ポツっていうのがあって、今回設工認における主な説明項目と、
1:06:29	ここが一番大事会合資料で行っている 1 ポツの説明として、
1:06:38	ほとんどこの三方 II の要約版が 1 ポツの説明になるんじゃないかなと思って、私は思ってるんです。で、事業者が 4 月に説明する内容っていうのも、この 3 ポツのあらまし C なんじゃないかなと思う。
1:06:53	出たんですが、事業者の認識ってどんな感じでしたか。
1:07:00	はい。原燃の緒方でございます補足説明が必要な事項というものの整理という意味では、確かに上出さんがおっしゃったような 1 ポツに該当するものつまり今回の設工認での説明内容
1:07:14	ある意味、入力上武力条件ですね、条件みたいなところの話だというふうな意味で、3 ポツの説明というものがあるそうなるかと思います。あと一部実態といたしまして補足説明資料の中では評価の結果に対してのエビデンスを示したりとか、考察を示したりそういったものも入っていますので、
1:07:32	やはりどうしても 2-2 とかに入ってくるような踏み込むような補足もあると思います。ちょっとそのすみ分けが正直今この並んでる補足説明事項の順番が、
1:07:42	割とぐちゃぐちゃになっているところがありますので、

1:07:45	そういった条件にかかるところとかでまとめて、結果系に係るところは適正書をまとめるとかみたいな並びをちょっと変えてあげる必要があるのかなとはちょっと思いました。
1:07:58	はい。規制庁岡見です。補足に飛ばした先に細かい内容が書いてっていうのはそれは補足腔に飛ばした後は当然2-1だったり-2だったりするんですけど、
1:08:09	こういう、
1:08:11	ものがありまして、細かい内容を補足で説明しなきゃいかんのだと。
1:08:16	いうところは、1ポツなんだと思ってるんですよ。なのでそれぐらいは当然この3ポツで上がっているということだと思ってるんですけど、そういう理解でいいですよ。
1:08:28	はい部門原燃のオガセでございますこの資料自体の説明項目として、こんなものが全部でありますという意味では、1ポツの説明としてこの3ポツの構成がそれぞれそのものになるかと思えます。以上です。
1:08:42	はい。規制庁神です。ちょっとそういう認識、と思ってこの3ポツの構成なり、書く内容あと飛ばすものの、
1:08:52	ちゃんと補足に飛ばすものを補足に変えてということで、体系的網羅的にちょっと構成を
1:09:01	変えるというかブラッシュアップする必要があるんだと思ってます今の第1回の構成に肉付けしたような形で、
1:09:12	今、会合資料で言っている1ポツの、
1:09:15	ほぼありましたというところ、
1:09:19	絵の整理にはなっていないでしょうから、2ポツで整理をした内容を踏まえて、3ポツで全体を示すという形で、もっとブラッシュアップいただきたいなと思えますけど大丈夫。
1:09:33	はい。日本原燃の長谷でございます今こちらの3ポツにつきましてはもう本当に稲葉定量ということで主な説明項目をただ列記しているところでございますので、この資料の1ポツとか2ポツで、
1:09:44	整理したメンバーリストとか、変更点みたいなのを踏まえると、今回の設工認で説明すべき項目はこれですみたいなところが繋がりがわかるようにした上で、今回設工認全体での説明項目がここで全部わかるような形の構成になるようにちょっと見直しを順番含めて、したいと思えます。以上です。

1:10:05	はい。規制庁上井です。よろしくお願いします。
1:10:09	あと注意して欲しいのは、
1:10:12	貴殿だったりドウドウ建物もそうですが項目の奈良並びっていうんですかね、その辺は同じようなテンションで読めるようにということでよろしくお願いします。
1:10:27	あとちょっと先に進むと、確認だけなんですけど、29 ページの、
1:10:33	(エ) 学校 B 括弧 C の後に、
1:10:36	別紙 123 ってこうそれぞれ書いてあるのこれ、何の資料のことかよくわからなかったんですけど説明してもらっていいですか。
1:10:45	はい。日本原燃のオガセでございます。こちらにつきましてはこの水平 2 方向及び鉛直方向の組み合わせの補足説明資料の中での、別紙でお示ししますというようなそういう意味でございますので
1:10:57	日本法の資料を今後ご覧いただくときにはちょっとこれを横目に見ながらみるとどこの別紙に何が書いているかというのがちょっとわかりやすくなるかなと思って記載をしたものでございました。以上です。
1:11:07	はい。規制庁神戸です。わかりました。その点でいうとさっきの 13 ポツの位置付けからするとちょっと書き過ぎ感があるような気もするので、平仄を合わせてっていう感じですかね。
1:11:19	日本原燃は先生のおっしゃる通りかと思いましたがコーナーのいわゆる説明の 1 ポツの全体だというならちょっとここまでは書き過ぎているかなというところがありますので、先ほどの主コメントの趣旨を踏まえた、期待レベルというのは他の補足説明資料も含めて見直しをかけたいと思います。以上です。
1:11:38	はい、規制庁カミデです。ちょっと私から最後にしますけどあと、お願い。
1:11:50	ですけど 45 とかもそうですし、
1:11:55	42 ページからですかね、一覧表まとめてもらってますけど、この横軸を
1:12:04	3 ポツを整理した暁には、その 3 ポツの後半の担保を s t a g e でおいてください。で、
1:12:13	そうすると大体全体を見ておいてくださいって、そうするとダルシーこれがちゃんとかくれるように 3 ポツの構成をやっておくっていうふうにすると

1:12:23	割と体系的に全体、1個、介護者の1ポツとしての登場人物であったり全体があらまじっていうところが表現できるように、
1:12:34	なるんじゃないのかなと思ってますので、今ちょっと具体的に、
1:12:38	こうっていうよりは、2ポツを整理し3ポツを整理した暁に、こっちにも反映して、こっちで、
1:12:45	もう整理がしやすいようにまた3ポツの構成を考えてみたいな形で、ブラッシュアップしてもらえればと思います。
1:12:54	よろしいですかね。
1:12:56	肺炎のオガセでございます。今はちょっと設計プロセスでやった方が矢野東條の順番的にはわかりやすいかなというふうには、考えて作ったところですが、本日のコメント踏まえましてあくまでこの3ポツの説明とこの表っていうのは、
1:13:10	今回設工認での説明の流れだというふうなところの位置付けだと思いましたので、1ポツの説明の補足はこれですあと2ポツの補足の説明は、変更点ですとかっていうのがちゃんと順番でわかってその上で、
1:13:22	何ていうかね評価の条件系のところの具体のところももうなでてくるような感じそういったような順番でちょっと考えて横軸の方は再精査したいと思います。以上です。
1:13:33	規制庁神です。設計プロセスが駄目だって言っているわけでもないのでもしかしたらその設計プロセスで整理するのがわかりやすくてそうなる3ポツの、
1:13:45	構成を、そうした方がいいのかもしれないし、ただいまは終わりからです頭からんなってるからそんなに変な感じもしないんですけど、特段プロセスだから駄目だっていうわけでは、
1:13:59	ない、ないないですし、どっちかというとその設計のプロセスの頭から変えてパッと読みやすいついていうところはあるので、
1:14:08	何か、
1:14:10	これ
1:14:11	だから駄目だみたいな思い込みは、持たずに、どういうつのが読みやすいついていうことで考えて、
1:14:18	その辺はまた、
1:14:21	悩み事項があればAsanoヒアリングでも言ってくれば話はしますし、ということで

1:14:28	検討いただければと思います。
1:14:31	はい。現在のかしこまりました。今のこの40、ええっと、4ページとか45ページか他の表でいきますと、一番右にある耐震設計における考慮事項ということで波及の抽出とか、許認可の変更点ってのが一番右に追いやられてますけど、この資料全体の構成踏まえると本当は、
1:14:48	最初の左側にあるべきだと思いますのでそういった順番の話かと思いますが、細かい何ですかね、解析の中身とかの補足につきましてはある程度この設計プロセスを生かしつつの液体になるのかなというイメージを持って、はい。先ほどお答えしたところです。以上です。
1:15:04	はい。規制庁亀井です。わかりました。なんか、そんなに認識ずれてない。
1:15:08	よろしく申し上げます。私の方からは以上です。
1:15:14	はい、石崎です。私の方から建物に関してと2件、記載の確認ですけれども、30ページのところにですね、モデル妥当性の確認でシミュレーション解析の話が書いてます。ちょっとこの文章自体が、
1:15:29	1回目はもう普通建屋の建設中ということもあり分離建屋を代わりに、シミュレーション解析をしたというのが事実だと思いますんで、ちょっと文章の書き方が
1:15:42	ちょっと違うかなというのが1点なんですけど、もう1点第2回申請に於いて、もうこれ、文書、最後のパラグラフ見る限りは分離だけを対象として、代表として評価、
1:15:55	結果を示すっていうふうになってるんですがこれ、分離建屋って第1回で説明あるんですが、第2回には、第2回申請では、
1:16:03	分離建屋以外のシミュレーション結果っていうのは説明はないんですか。
1:16:12	はい。日本原燃の大橋でございます。まず一つ目のところにつきましてすいません文章ちょっと適正化の方させていただきます。第2回の方につきましては、結論を言いますと分離建屋を代表として説明ができると思っております補完策についてのお示しする予定はございません。
1:16:27	というのも、第1回の際に選んだ分離建屋というのは、最初にまで目を向けても、そのいわゆる偏心率とかねじれの影響が大きい建屋として選ばれるというところになりますので、第1回であろうが第2回であろうがそちらにつきまして評価として、一番すべきもの、としては分離建屋

	が選ばれますので、その説明、細かい内容自体につきましては第1回済みになっているというそういう認識でございます。以上です。
1:16:50	貴重ハバサキなんですけども、モデルの特性って言った時に設計をということで失点系モデルを採用しているわけなんですけども、その
1:17:00	質点系モデルの代表性といいますか妥当性っていう観点では、シミュレーション解析っていうのは各モデル、その観測しているものに、建屋に関してはですね、
1:17:12	これ、必ず日、次、説明があるというふうに思ってるんですけども、今予定その説明の予定がないですか。
1:17:28	アイホン原燃のオガセでございます基本的には配布先、今ハバサキさんおっしゃったように予定はないところでございます。シミュレーションといいますが我々の敷地でとれている地震としましてはそれほど大きなものが取れているわけではないというところでは
1:17:42	そういった地震の範疇の中ではある意味その湯カート、真壁で拘束された失点棒というところの考慮で基本的には十分可能だと思っているところなんですけども、それがあある意味、ある意味、崩れかねないようなところっていうのが、
1:17:55	あるかというところで見た時に分離建屋が一番崩れそうだというそういった偏心なんかの影響で、本当に一軸なんかで見れるのかという疑問が出てくるというところだと思ってます。つまりその分離建屋再評価しておけば他の建屋ではそれほど返信がないわけですので、
1:18:09	シミュレーションとしても当然あるだろうというようなそういうようなところの位置付けで考えているところですので、古い建屋のやつをやっておけば、我々として再処理の指示値立てをしております建物のシミュレーションというかSRモデルを作っているというところの考えは十分に説明可能だとは思っているところでございました。以上です。
1:18:28	はい。規制庁浜崎です。今の説明は、原燃のスタンスとしてはわかりましたけれども、別にねじりだとかいう話だけではなくて各諸元の設定自体が妥当かどうか。
1:18:41	は、各やはり建屋ごとによって緒元の値が違うわけですから、その妥当性を確認する意味では市最低シミュレーションが必要というふうに認識してますので、

1:18:52	ちょっとさ、最終的にどの建屋まで費主張をするかどうかというのはです ね、もう少し
1:19:01	私といいますか、こちらでも考えますけれども、
1:19:04	現状としては全く予定がないということで現時点のスタンスは理解しま した。
1:19:11	次に 32 ページ、これ最後になりますけれども、中段からのパラグラフ のところで、C ポチからあい、こっちのところですね一番下のパラグラ フにありますけども、
1:19:23	C から I については、この文章読んでいきますと、第 1 回申請で代表施 設説明をしているので、第 2 回申請では、J -
1:19:36	波及影響以外については省略する、説明を省略するというふうに文章が 読めますけれども、
1:19:43	今私が言った理解でいいんですかこれ
1:19:47	第 2 回申請の各建屋だとかですね。
1:19:49	建物構築物に対しては、この C から間の子項目っていうのは説明が出て こないですか。
1:19:56	はい原燃の長谷でございます。基本的には今ハバサキさんがおっしゃっ た通りだと思ってまして、42 ページで下の表にも書いておりますけれど も、基本的にこの D から I というところのやり方、
1:20:08	ていうところにつきましては当然他どの建屋でも医師大体同じような考 え方でやっているところございまして、第 1 回のご説明をしておけば あとは同じようなやり方でやっているというところ、あとはその
1:20:19	実際に数字とかが違うだけというところになりますので、特段改めてご 説明する必要はないものとして今は整理しているものでございました。 以上です。
1:20:28	はい。規制庁浜崎です現状スタンスはわかりました。ただその中身を審 査する上でですね例えば減衰が角だけはすべて 5、5%でいいのかという エビデンスだとか、
1:20:39	応力解析をするときの入力さ、仕方だとかですね、そういったものを 全く確認せずに、結果だけで判断できるかどうか、これについては先ほ どのシミュレーションも含めてですね、
1:20:53	ちょっと本当に現状の元のスタンスでいいのかどうか、ちょっとこちら の方でも検討します。

1:21:01	すいませんコサクです。ちょっとすれ違いみたいな話が続いてるんですけど、
1:21:08	既存の、
1:21:10	方針なり評価方法なりでいいのかどうかっていうのは、必ず原燃を説明するっていう方針になってたと思うんですけど。
1:21:21	それは、
1:21:22	どうなってる。
1:21:30	日本原燃のオガセでございます。ちょっとすいませんずれていたら申し訳ないんですが、第1回の説明の際にですけれども、基本的に補足説明資料につきましては本文に
1:21:40	例えばスケルトンカーブの話为例にとりますそのスケルトンカーブの作り方というところは方針として記載させていただきまして、各建屋共通で、このやり方を説明とっていきますという説明をさせていただきました。
1:21:52	その結果についてスケルトンカードを設定した結果につきましてはP A建屋で、代表でお示しさせていただいたところになってございます。第2回につきましては当然結果は他区建屋あれどもその方針というところは変わりませんので、
1:22:05	その結果を1個1個ご説明するご提示するというものは内容でなくても省略しても事業者管理で大丈夫かなというふうなところのところでは表としてすいません。はい、古作です。何か細かい話してますけど私はもっと大きな話をして、
1:22:21	審査会合の場で、
1:22:24	今回の申請対象のものの扱いが、従前のものとの対応でいいのかどうかという、
1:22:36	扱いの妥当性っていうのは、一通り説明しますと言われてたはずなんですけど、
1:22:42	その対応はされないんですかって聞いているだけなんです。
1:22:52	はい。日本原燃のオガセでございますそちらにつきましては、今朝のヒアリングで4月の会合でというところでのお話に出ていた今回のひゅ設工認における評価対象がちゃんと網羅的に整理されているかっていうところのもので、

1:23:07	やはり建物としては例えばですけれどもR Cの壁式構造で、大体同じような構造になっているので、各建屋同じような説明が可能です。ちなみにそれは第1回でも同じでしたっていうようなそういうような説明が可能だと思いますので、そういった意味で、第1回での説明の、
1:23:22	以下同文の適用範囲みたいなところをちょっとご説明する。
1:23:27	ことになるのかと思っております。以上です。
1:23:31	はい。補足です。その説明がちゃんと網羅、項目についてそれぞれ対応、
1:23:39	ついてるかどうかっていうのを、説明いただくんじゃないかなと思いますけど。
1:23:46	浜崎さんそれで、
1:23:50	内容確認できるようになりますかね。
1:23:54	はい。
1:23:55	今のお話で、代替で説明したものとの差分、
1:24:01	だとか、特徴的な違いだとかの説明はあるというふうに理解。
1:24:06	しておけばいいんですね対議会、
1:24:08	古作です。いや、違いではなくて、一緒だというときの何で一緒でいいんだっていうところの説明っていうことでは聞いているんですけど。
1:24:18	はい。なんでしようかということも、こうなんですかねて、あれ。
1:24:24	何でしょうということも、こうやってきて、
1:24:29	はい。
1:24:30	すぐそこがしっかりと説明されればそれはそれで、こちらとしては判断できません。日本原燃、すいません。
1:24:38	コサクですそういうところでどういう場所でどう議論すればいいか原燃わかったと思いますので対応お願いします。
1:24:45	はい。日本原燃のオガセでございますかしこまりました。まずはこの資料の3ポツの各項目の中で、どこまで共通的な話ができるのかっていうようなところあと第1回ではこういう説明をしてる第2回では例えば同じ構造で同じようなやり方なのでっていうようなところをきちんと書いた上で、
1:25:02	第2回での適用というかし幅広げの考え方みたいなところをこの資料の3ポツの中で各項目書いていきたいと思えます。以上です。

1:25:15	はい。規制庁馬場です。そうですね、3ポツの中の、もう少し内容拡充ですね考え方の拡充と、あと具体的に、ここの説明の、
1:25:27	中で、感じないものもあるかもしれないんでその時にはまた、こちらで指摘をするということで理解しておきました。
1:25:37	規制庁カミデです。さっきの話を聞いていて、42ページの表だと、あれですね、何かやけに四角が多いなっていう印象が強いです。
1:25:49	要は結果も示さないんだ、やり方は一緒なんだから、やり方はこれと一緒にです。で、結果はこうですみたいなイメージ、いうものもあるのかなと思って凡例として三角かあるかと思ってます。で、
1:26:06	第1回の範囲では燃料加工建屋に黒丸がありつつ、冷却塔に参画っていうのでちょっと差分であったり結果だけだとを示したりっていうことはあったんですけど、
1:26:19	第2回だとほとんど資格になってると、いうことの第1回の参画と今回の資格の違いって一体何だろうかっていう感じがしますからその辺りはまた、
1:26:31	建物、何度もこの話は数としますので建物の引き続き、ヒアリング等で確認できればと思います。引き続き、
1:26:46	はい。ご指摘、拝承いたしました。
1:26:50	日本原燃オガセです。
1:26:58	はい。規制庁竹川です。江藤。その他ですねどうぞに関する内容は午後にもできるとは思うんですけどそれ以外の内容で、この資料について規制庁側から確認はございますでしょうか。
1:27:12	よろしいでしょうか、それでは原燃の方から振り返りをお願いします。
1:27:17	はい。日本原燃のオガセでございます振り返りの方させていただきます。まず4ページのところフロー関係のところでございますけれども、基本的には波及なんかも含めて、あと他の条文からの流れ含めてそういったものを適正化するようにわかりやすくなるようなフローにさせていただきます。
1:27:33	6ページのところこちらについても評価対象施設の前提フローのところですが、今回の資料の位置付けといたしまして共通12等から他条文のものが流れてくるような話もございますのでそこもきちんとわかるように記載のほうを追加させていただきます。
1:27:48	はい。7ページのところでございます。文章のところでございますが、

1:27:53	はい。こちらにつきましてはBCクラスの2分の1SDの振り方などそういったところに、申し訳ございません間違えました。
1:28:00	他条文の登場人物というものが出てくるとお思いますのでこちらについては漏れなく網羅するように作業の方を進めて参ります。
1:28:08	また耐震計算のプロセスのところの話でございますけれども、BCクラスの2分の1SDの地震応答開示のやり方、そういったところにつきましても、この資料ではないのですけれども基本方針もしくは設計プロセスの方に記載の方をさせていただきます。
1:28:23	はい。続きまして15ページ、こちらからの変更点に関するところでございますが、今回の資料では改造に伴う緒元の変更点というところをちょっと緩く側としたところを書いた下の補足説明資料に流すことで書いてございますけれども、
1:28:36	この資料の中できちんとブレークをかけた上で、個別の補足説明資料の必要性というところを再検討させていただきたいと思っております。
1:28:44	あと金からの変更点の細かいところにつきましてはハバサキさん等からいただいたところ、試験形成とか精緻化そういったところの考え方というところをきちんと明確にするというところ。
1:28:54	こういったところがメインの話だというふうに思っております。
1:28:58	最後でございますけれども、3ポツ、今回設工認における主な変更点のところにつきましては、1ポツと2ポツの説明あ、すいませんちょっとややこしかったですねこの資料の1ポツと2ポツの説明を踏まえまして、
1:29:13	この散発運動やって流れていくのか、あとは今回の説明の設工認全体の説明における1ポツちょっとややこしいですが、設計条件等の説明に関するところだというようなところの位置付けで全体構成の方見直しの方させていただきます。
1:29:28	あと個別の補足説明におきまして、第1回で説明した内容というのが第2回でどういうふうに展開されるのかそのまま展開しているのかというところの記載につきまして、各項目について拡充したいと思います。
1:29:40	はい。取りまとめにつきまして以上でございます
1:29:43	はい。日本原燃浦上でございます。1点ちょっと同時にしたいことがございまして、最後にオガセの方から申し上げました、40、

1:29:53	2 ページの四角はオオオカ大井の四角ばかりだという点なんですけども、
1:29:59	これ第一課の終盤の議論から、同じような資料が繰り返し繰り返し建屋の数だけ出されるっていうので、ちょっと効率化っていうことも考えていくっていうことで、
1:30:11	代表できるものはできるだけ代表で説明できるんじゃないのっていう観点でこの資格っていうもの、
1:30:18	どんどん作って行って頭数5 効率化していったわけでございます。決して作らないというわけではないんですけども代表でお示しできるんじゃないかという観点で今回整理させていただきました。
1:30:31	その辺のところは何か変化があったのでしょうか。見もしあったら後お聞かせいただきたいと思うんですが。
1:30:41	規制庁カミデです状況に全く変化変化はないです。第1回から言ってる通り、この資料で何を説明したいのかということに対して、こういうことで代表で説明できるんだということをちゃんと説明してもらおう。
1:30:57	あいだけですので、その辺明確になっていけば結果この四角で、結果この表でいいかもしれませんしというところですよ。
1:31:10	はい、日本のウラバヤシです。承知しましたまずはこの後、資料の中でなぜ代表できるかっていうところを明らかにしてご説明差し上げたいと思います。ありがとうございます。
1:31:22	はい。規制庁深見です。よろしく申し上げます特にそのいや目的ですよね。この資料で説明したいのは、これなんだと。それに対して、
1:31:32	鼓動説明で十分なんだと、いうことをしっかり整理してもらえればと思いますよろしく申し上げます。
1:31:42	日本原燃浦川先生、承知しました。
1:31:49	規制庁竹田です。それでは、先ほどの振り返りにつきまして規制庁側からコメントございますでしょうか。
1:31:58	よろしいでしょうか。
1:32:00	それでは長くなってしまいましたが本日の午前のヒアリングは以上とさせていただきますが、あと原燃側から何かございますか。
1:32:11	はい、原燃側事務局です。はい。午前中の部分特にございませぬ。ありがとうございます。

1:32:17	はい。規制庁武田です。了解しました。それではまた午後によりしくお願いします。一旦録音提示します。
0:00:00	しました。
0:00:01	成長シミズとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった設工認申請について、
0:00:13	当資料で事実確認を行うものになりますとまず規制庁側の出席者を紹介しますと、
0:00:21	規制庁会議室からタジリフジワラシミズ。
0:00:25	オオオカれるから、コサクを買ったカナシ。
0:00:30	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割について説明の上、本日の
0:00:38	左上の説明項目を説明してください。
0:00:45	はい、日本原燃事務局の中浜です。
0:00:49	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:53	まず事務局より、
0:00:55	サトウタカハシ。
0:00:58	イシハラセガワ。
0:01:00	フジノナカハマ。
0:01:03	説明関係でございますけれども、外周取りまとめでエビナ、
0:01:09	溢水薬品関係取りまとめで、シノザキ、
0:01:13	担当といたしまして、カシワムラ、
0:01:16	アカマツ、
0:01:18	ホリウチ、
0:01:19	アベ、
0:01:20	あやしい。
0:01:21	イトウ。
0:01:23	S A 関係でございますけれども、ホリグチ、
0:01:27	ちょっと電力さんから関西電力様より、笹川様。
0:01:33	日立GEニュークリアエナジー様から秒と草間仲野様。
0:01:39	あとWEBからの参加で、三井静子様より、桜井佐野塚本様。
0:01:46	以上参加者となります。

0:01:48	本日ご確認いただきます資料でございますけど、医師及び薬品に関しま すコメントにコメントの対する対応方針というものをご説明差し上げま す。
0:02:02	それでは、説明の開始を、説明を開始させていただきます。
0:02:10	はい。日本原燃篠崎でございます。
0:02:13	令和5年3月13日に提出いただきさせていただきましたコメントに対 する対応方針、溢水等へと薬品でご説明をさせていただきます。
0:02:25	こちら、以前していただいたヒアリングでいただいたコメントに対して の対応方針をし、示したものでございますけども、
0:02:33	最新の情報に、対応方針案を更新してございます。
0:02:39	あわせて、対応スケジュールという列を右から3列目にしまして、
0:02:45	それぞれの項目に対して、この後どこの説明に繋がってくるのか。
0:02:50	1ポツとか2-1とかですね、そういうところの繋がりを示すとともに、
0:02:56	それをいつ資料に反映していくのかといったスケジュールを
0:03:01	今回記載して参りました。
0:03:02	今ちょっと4月のスケジュールがまだ具体的な日付は入っていないんで すけれども、こういったところ適宜、
0:03:09	次の更新とか、的にもスケジュールにしっかり落として参りたいという ふうに思っております。
0:03:15	ただ、あわせてこのコメントリストの中の対応方針欄では、説明しきれ ないもの、
0:03:21	とかですねポイントになるもの或いは図表を使って説明するようなもの につきましては、
0:03:25	このコメント対応方針の別紙としまして、
0:03:30	説明資料を後ろに付させていただいております。
0:03:33	具体的にはその一番右に別紙ナンバーって書いてあるところに、記載の あるものが、それらになりまして、
0:03:39	今回はその内、共通12に関連するもの、或いはプールの評価に関連す るものとしてちょっと優先的にですね、
0:03:49	1から5番といったものを、
0:03:53	6番、1から6番の、
0:03:56	資料を準備して参りました。

0:04:00	はい。このまずコメントに対する対応方針の位置付けと、今回の更新のポイントは以上でございます。
0:04:12	はい。
0:04:13	規制庁清水です。
0:04:15	内容はまた別途、
0:04:18	順番に確認していく中で説明するっていう形で特に別紙の内容とか説明はあるようでしょうか。
0:04:29	日本原燃塩崎でございます。すいませんまずこのリストの位置付けを説明させていただきましたが、であれば今回別紙を用意させていただいておりますので、まずそちらちょっと
0:04:41	少し説明を必要があると思ってございますので、別紙の一番からですね、順番に説明させていただきたいと思います。
0:04:50	まず通しページの2ページご覧ください。
0:04:54	2行目にナンバー10といったところございますが、
0:05:00	はい。こちらの説明から、通しページ9ページ。
0:05:05	どう、別紙1を使って説明させていただきます。
0:05:14	はい。日本原燃の赤松です。
0:05:17	通しページ9ページのナンバー2について、
0:05:21	ご説明させていただきます。
0:05:23	記載の通り、下の通りの中身ではあるんですけども、
0:05:27	第2回の進展断面で来たんですけども、実際の揚力が事象40を踏まえて、
0:05:37	効率は1010日教員を整理しております。個別に荷重はその基本設計方針抜粋に記載しています通り、青字の部分では荷重として静水圧、緑の部分は、
0:05:49	地震力という整理にしておりまして、環境要因は、溢水として発生する水の淡水と増減しておりますが、
0:05:58	そう整理しております。
0:06:00	緑の部分ですね、今回
0:06:03	以前地震のリリースによる地震力等と、5と記載しておりますけれども、この等は、整理した結果地震力のみとなりますので、第2回の添付書類では、イトウは、
0:06:14	後を削除したという、いうものに、

0:06:17	なります。
0:06:19	このコメントNo.10については以上になります。
0:06:23	はい、規制庁審議官。
0:06:26	延長シミズです。詳細設計した結果他ここで明記しているもの以外は考慮する事象がなかったということで、
0:06:34	添付書類においては統合削除されて、
0:06:37	基本設計方針の方はあれですよ。要は残したままっていう、
0:06:43	記載にするっていう整理で、認識違いないでしょうか。
0:06:47	はい。日本原燃の赤間です。はい、ご認識の通りです。
0:06:51	わかりました。ちなみに以前加来規制庁清水です。前回
0:06:57	ヒアリングでもコメントしたと思うんですけども、もともとここで等って書いてたのは具体的に何か考慮
0:07:04	想定される事項があったというわけではなくてもともと幅広にちょっと書いておいたっていう整理で今回が該当するものがなかったっていう整理されたっていう。
0:07:14	ことで、認識違いないでしょうか。
0:07:21	本郷の仲間です。はい、ご認識の通りです。
0:07:25	わかりました。
0:07:27	同コメント 10 番について確認ございますでしょうか。
0:07:35	聞ければ。はい。以上です。大丈夫です。続いて、
0:07:40	No.12 についてですかね確認お願いします。
0:07:49	はい人間のアカマツです。
0:07:51	次ページ 10 ページです。ここは対局は基本設計方針で整理をしなかった対策の件ですけれども、
0:07:58	作業しながら対策は蒸気防護対策で言えば、マニュアルエンド防護カバー及び蒸気防護盤、
0:08:05	没水対策で言えば、漏えい検知器及び形となりまして、それらの作業しなかった理由。
0:08:14	記載させていただいております。
0:08:17	理由を記載するにあたっては、詳細設計の段階における設計プロセスを踏まえて、
0:08:23	具体的に記載させていただきました。

0:08:27	次の 11 ページには、ちょっと単年度防護カバーや蒸気防護について、製品とかイメージが湧きにくい部分もあると。
0:08:37	これ思いましたので、イメージ図だけ
0:08:42	説明は以上です。
0:08:45	はい。
0:08:46	規制庁志水です。添付書類じゃわからなかったですけどここでそれぞれ、
0:08:53	指名されているので、一通りは実際設置しなかったっていう状況わかったんですけども、
0:08:59	ちょっと漏えい建築、
0:09:02	あと液位系について確認したいんですが、ちょっと後ろにも出てきたと思うんですけど、ここで説明されてるのがもともと漏えい検知器及び溢水
0:09:11	で危険は溢水量を低減する対策を行うことで
0:09:16	もし影響としての方で考えてたっていうことで実際その評価した結果、これらがなくても、
0:09:24	自分、
0:09:26	大丈夫だったっていうことなんですけどここで書かれてる。
0:09:30	か。
0:09:31	これらを新規 2 設置して時間、隔離時間の短縮を図らずとも、
0:09:37	通常運転時の間、監視や巡視、現場巡視による溢水の検知隔離により、
0:09:47	ていうことで説明されてもともとす。漏えい検知器及び液位計で隔離する。
0:09:54	ことと、
0:09:55	この通常時の監視や現場巡視による溢水の検知隔離、
0:10:01	ていうの、
0:10:04	すぐに検知して確認するのと人が気づいてっていうのではなかった。
0:10:09	ちょっと違うと思うんですけど、ここのその通常運転にどうこうって書かれてるのって、こういう人での隔離をどのくらい期待してるのでしょうか。期待して評価してるのかっていうのを、
0:10:21	説明いただけますでしょうか。
0:10:29	はい、どうぞ。日本原燃篠崎でございます。
0:10:31	はい。ここに書いてる通り、まずすいません漏えい検知器等、液位計を

0:10:39	集めて通常運転の監視、廃液タンクとかのですね、
0:10:44	液位上昇とかで、気づいて、そこから現場に走って隔離するといったのでは、全然間に合わない。
0:10:54	健全性を担保できないといったようなときには、今後漏えい検知器等、液系を新たにつけてですね、
0:11:03	今の新たにつけて、特別に水防対策としてつけさせ、すぐに対策をしていく必要があるということでももとは、こういう対策もあり得るとして付けてございました。一方、
0:11:18	詳細設計段階におきまして、通常運転時の監視で、気づいて、そこからスタートする対策で、十分安全機能を損なわないことを確認できた。
0:11:29	ので、特別に溢水防護対策設備として、新たに漏えい検知器とか液位計は設置しないというふうに、
0:11:35	したものでございます。
0:11:37	藤野呂、想定破損の溢水量の想定なんかには、
0:11:44	その学生からですね、
0:11:49	止めるまでに、6時間という評価上の数値を掛け算してございますけど、
0:11:56	それはこの中条文の回収する対応で十分間に合うといったところを確認していることでございます。
0:12:05	以上です。
0:12:07	はい。規制庁志水です。実際評価そ転送の評価で発生から6時間で、
0:12:13	隔離っていう、
0:12:15	に間に合えば、
0:12:18	安全機能を損なわないっていうことを、
0:12:20	通常運転時は6時カーン。
0:12:24	その発生から6時間以内に必ず築けるっていうこと、そういう体制が組み立てられているっていうことで、
0:12:32	会話しました。
0:12:33	規制庁の田尻です。6時間の6、何でしたっけなんか原燃で39のイメージなんで三百七、八時間だし、監視盤で見てるんだったらもっと早いような気もするけどこっちかって何か出てくる数字でしたっけ。
0:12:51	はい。藤。日本原燃の嶽です。想定破損の溢水量の評価に用いている。
0:12:59	でございます、

0:13:02	貫通クラックが全周破断とは、想定する案件に応じて江藤川手。
0:13:11	流量も変わってくるんですが、それ今掛け算する、
0:13:15	時間として6時間というのを設定してございます。中部は、いや、社長種田なんで、どうやって6時間を設定したかを聞いているのでそれは有料×6時間をしているんだと思うんですけどその6時間っていうのは何の数値から6時間設定したんでしたっけ。
0:13:39	はい。日本原燃篠崎でございます。過去の実績も踏まえまして事象発生時から、先ほど言いました運転、
0:13:49	通常運転の監視で江藤気づくまでの時間プラス、
0:13:53	そこから現場に走ってて特定して確定隔離すると。
0:13:59	言った時間。
0:14:01	そして6時間という設定をしてございます。
0:14:05	規制庁館です。ちょっと実績っていうのが、どれを指してるのかよくわかんないんですけど、
0:14:11	それは気づくまでに何分ぐらいかかってそこから現場まで行って、何分ぐらいで確認するまで何分ぐらいでっていう見積もりとか、訓練されてるのかわかんないけどそういう何か積算根拠があると思っただけいいですかね。
0:14:24	はい。日本原燃塩崎でございます。それ自主的で実績と言ったつもりでした。すいませんちょっと悪くて申し訳ないです。いや、実績っていう、はい。はい。実績っていうので、
0:14:36	できるもんなのかよくわからないので、今まではこうでしたもっと短い場合もありますかって市来久野も何なので、6時間の根拠があるんですよっていうのだけ聞ければ、あ、はい。
0:14:47	はい、おっしゃる通りで、今の二つの公表するのに、6時間あれば対応できるといった、
0:14:54	確認をしてございます。
0:14:57	規制庁田井です。6時間の根拠は今後確認させていただくとしてなんですけど、この漏えい検知器とかを設置するのはやめたっていうふうに書かれてるんですけど、
0:15:06	これは単に漏えい研修別の感知器に頼るようにしたっていう説明と思えばいいんですかね。通常運転時の関心によって切ってくるを検知するっていうふうの説明してると思えばいいですか。

0:15:23	はい。日本原燃塩崎でございます。はい。おっしゃる通り、通常運転、通常ですね、溢水対策設備として新たに設けるものではないんですが、施設で、
0:15:35	そもそも運転パラメーター、施設の計器の運転パラメータで確認できるという整理でございます。
0:15:41	はい。規制庁谷です。何で新建設するものかわかんないけど、溢水対策として期待する会社、すいませんコサクです。佐治さんわかんないけどじゃなくて、
0:15:52	新たに設立するものじゃありませんって言うてるんだから、そこを曖昧にこちらから発言するのはよくない。
0:16:02	はい。規制庁の田尻です。もともとあるものを使われるということなんですけどそれを溢水対策で使用するものとして位置づけるということでもいいですか。
0:16:26	少々お待ちください。
0:16:41	はい。
0:16:42	はい。
0:16:43	はい。日本原燃篠崎でございます。
0:16:48	はい既設の
0:16:50	溢水対策説明では整理してございませんでしたけども、
0:16:53	当施設のそういった気管支の計器なんかを、はこの失業対策、評価上でございますけど、期待してるってことじゃない。
0:17:04	はい。規制庁の高津。
0:17:06	なので今後水対策、漏えいとして漏えい検知として何の設備を期待するのかであるとか、先ほどの6時間の根拠であるとかっていうのを、根拠が示されるものと理解したのでよろしくお願いします。
0:17:18	すいませんコサクです。
0:17:20	今野でもまだ曖昧な気がしてですね、評価では見込むけど相変わらず溢水対策設備としてはエントリーしないと言ってるように聞こえたんですけど、
0:17:31	田尻君はどう、どの程度のイメージで話をしてます。規制庁館です。僕は、漏えい検知器っていうのは新たに設置しないけど、もともとある監視制御盤とかを、

0:17:43	漏えい検知のための機器として、溢水対策のものとして位置付けて、それで検知ができます。それが6時間なのかなんで検知できるかわかんないですけど検知できて、対策できますって説明だと思ったんですけど、違いましたかね。
0:17:57	コサクです。だから
0:17:59	既設ではあるけども、溢水対策設備として位置付けて、位置づけるから評価でも見込めてというつもりで話をしてるんですよ。はい。正しいですけどそのつもりでした。
0:18:12	はい。古作です。原燃はそこまで言われていると認識してしゃべってます。
0:18:19	はい。日本原燃篠崎でございます。溢水対策に必要な設備として
0:18:26	そういった経験も位置付けなければいけないというふうに認識しています。
0:18:32	古作です。よく、
0:18:35	笹川さんもいるようなので、他でどうしてるかっていうのも、或いは溢水だけじゃないんですけど、
0:18:42	整理をしていただきたいのは、
0:18:47	溢水対策設備としても位置付けてもらえば何も問題はない。
0:18:51	ですけど、
0:18:55	他、他というか、幾つかの対策で設置されているもの、対策で設置されているものを、
0:19:05	達成すると、というような話も、他の分野、分野というか、機能の中ではあるような気もしていてですね、いう気持ちについてはどう
0:19:18	扱うのがいいのかという考え方をよく議論をしておいていただきたいと思います。それがこれまで自分たちが思ったのはどういうことだったのか、今我々が行って思ってるのはどういうことなのかと。
0:19:31	ということなので言われたからやりますっていう発想はやめていただきたいので、よろしくお願いします。
0:19:40	はい。
0:19:41	関西電力の仙田でございます。僕はずっと私も医師は支援する立場でありますので、コサクさんに言われたことは理解しておりますので1回ちゃんと整理をして、

0:19:52	だからこれは原因はあるのかいないかというのをちょっと改めて整理してご説明したい、したいと思ってます。
0:20:01	はい。補足ですよろしく申し上げます。その上で設定根拠というのは、
0:20:08	少なくとも評価でも、
0:20:10	見込むということであればその妥当性っていうので説明は必要ですし、対策としての機能という言い方になればそれはそれで、機能の説明ということで必要と。
0:20:22	ということですのでよろしく申し上げます。田尻さんどうぞ。
0:20:26	はい。清田理事よろしく申し上げますですねこの時はこれぐらいです。
0:20:32	清水さん戻しますが、年齢が次の手に行くのかな。はい、規制庁シミズほかナンバー、今の内容についてオオオカ規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:20:43	よろしければ次の説明人側からお願いします。
0:20:51	はい。日本原燃林です。コメントの管理ナンバー26について、右下12ページですね、別紙3を用いて説明したいと思います。
0:21:01	コメントの方ですけれどもプールピットのスロッシング評価において、通常と異なる状態による、
0:21:08	評価への影響について整理して説明のことということもでございます。回答といたしましてはですね、確かに保守点検Gであったり、IAEAへのさせた対応、定常運転時において、
0:21:22	一時的にふたの取り外しが必要であることを確認したため、これらの蓋を取り外した状態で評価を実施。
0:21:32	いたし、実施しまして既存評価のスロッシング量への影響を確認したいと考えてございます。(1)ではですね、既存の評価範囲についてお示ししてございます。
0:21:45	右下13ページの方で(2)といたしまして、一時的に取り外しが必要となる蓋、こちらはですね1時金になるようにしてございますけれども、作業内容どういう作業内容があるかということと、
0:21:59	作業頻度あと取り外し期間というものをちょっと整理させていただいております。図面の方はですね
0:22:07	Pプール、PWRルールとPW
0:22:12	ある共用プールの方ですねこういう、

0:22:15	場所はですねいた所を示してございます。
0:22:23	14 ページに移っていただきまして取り外した場合の解析モデルについてでございますけれども、15 ページ目をご覧くださいながらになります。上側の緑色の範囲に、
0:22:35	漏れた水というものはスロッシング量として積算しておりましてプールピットに戻らないというもので、既存の評価を実施してございます。
0:22:46	こういう評価をしますと今回ふたを外した状態。
0:22:51	評価をいたしますとスロッシング量が増加することが明白でございますので、現状のブルーピットの形状を踏まえた実績に沿った解析モデルとして、
0:23:02	評価したいと考えてございます。具体的にはですね、
0:23:07	市、
0:23:07	15 ページ下側の、ちょっと見づらいんですけども大戸。
0:23:12	四角い知ろう点々をつけたもの、ところこちらについては両隣がですね
0:23:19	プールピットでございますので、こちらについては水、
0:23:23	漏れた水が隣のプールピットの方へ戻るということで
0:23:30	この床面をですねトーマ戻るとい、モデルに置き換えまして実態に沿ったスロッシング評価を実施したいと考えてございます。
0:23:42	16 ページでございます。
0:23:45	影響確認の解析条件でございますけれども、地震動につきましては、 $S_s 1.2 S_s$ 、同じでございます。初期水位についてはですねその信号が一番高く出る、量が増えるであろう。
0:23:58	の部分のみで実施させていただきます。解析の点につきましてはですね、止水だった航路に対しては、
0:24:08	一時的に取り外す蓋はすべて考慮しないということで、エトゴ設定考えてございます。
0:24:17	外側に漏れた水が戻る、戻らないようモデルが議論してございますけれども一部のピツ、内側に張り出した床につきましては水が戻るという評価。
0:24:28	と考えてございます。あと、
0:24:32	市来についてはモデル化しないこちらはと一緒でございます。そうですね。はい。御説明につきましては、以上です。
0:24:42	はい。規制庁清水です。まず、方針を確認したいんですけども、

0:24:49	今回1時期に取り外すふたを考慮した解析、してなかったらできなかつたってことを一時的に取り外すふたを考慮した解析をしますっていうことで、それらの蓋はまずすべて、
0:25:03	新しくやる評価としては、では
0:25:08	まず、すべて外した上で、あとプールの形状っていうところで、今までモデル化してなかったところモデル化して、その水の戻りとかを、
0:25:20	ちょっと考慮するような解析をされるっていうことで、説明があったと思うんですけど、その比嘉、それをやった上で、現状の評価と比較するっていうことで説明されてるんですけどそれはこの
0:25:34	比較して水のその出る量が、
0:25:37	現状の評価とあんまり、
0:25:39	変わらないっていうことを確認して溢水想定する溢水量としては現状の評価のものを使いたいっていうそういう方針で今考えてるってことでしょうか。
0:25:52	はい。日本原燃林です。その通りでございます。
0:25:57	はい。比較って、規制庁シミズ比較というのは
0:26:01	よくした上でできれば現状の量としてはそちらを使って、
0:26:06	理解しましたんですけど、
0:26:08	藤。
0:26:09	ちょっとどういう、
0:26:10	新しく新しくっていうかやる。
0:26:13	解析、規制庁対策解析入ればちょっと意見聞いておきたいんですけど、これは負担以外は外さないと思っていいですかねあの方の方は外す必要があるところはもうないっていう整理がついてると思っていいですか。
0:26:35	日本原燃林です。止水板の方はですねすでに干渉するなり取り外さな
0:26:42	保守の時に使うところには板を設置してございませんので既存と今回新たに設置した板のところは、基本外さない方向で考えてございます。以上です。
0:26:54	はい、規制庁の辺りですが、ハヤシ水盤に関しては、今あるものっていうことをですね、
0:27:00	15ページの下の方で好きなんでも細かいことは言わないんですけど、
0:27:05	真ん中のプールのところ

0:27:09	蓋をモデル化しないと古老D一部板がそこにあたりするんですけど蓋は邪魔になるけど、板は邪魔にならなかったってことですよねこれ。そういうことであれば、
0:27:24	日本原燃林です。こちらの板から溢れた水は衛藤。
0:27:29	水路側の水路側に水が戻るという評価に、
0:27:34	それで終わりです。評価で期待するのはそのあとの話なんで、この板が、保守点検か何かわかんないですけどそこに干渉することはないってことでいいんですよねっていう確認だけです。
0:27:48	はい、保坂です。すみません、そもそも干渉云々というのが、どういう作業があっかっていうことうだと思んですけど。
0:27:58	結局このピットの中で作業するので蓋を開けないといけないってそれだけであって、隣のところ脳板とカーは関係ないっていう。
0:28:09	ふうに思えばいいんですよね。
0:28:13	日本原燃林です。衛藤。
0:28:15	その通りでございます。以上です。
0:28:24	コサクです。私はわかりました。佐治さん、いいですか。はい、規制庁田尻です。
0:28:29	ちょっと査察の話が書かれていて、査察の話は何かプールよりの話かなと思っていたので、
0:28:36	痛むっていうふうにしたんですけどそこも大丈夫ってことですよね
0:28:40	今から何で大丈夫だったらもうOKです。
0:28:45	コサクです。ちなみに今の話は、S G室の方も気にされていたので、今後、S S Sで面談を
0:28:57	予定して計画してますからその際に改めて話をしたいと思ってます。
0:29:08	はい、二本木西原でございます。承知しました。
0:29:14	はい。規制庁清水です。
0:29:17	ちょっと、甲斐関井の関係で確認したいんです。
0:29:21	確認させていただきますが、
0:29:23	ちょっとツキング箇所なので、もし駄目だったら後で確認をします。藤。
0:29:29	昆。今回この紙と15ページの、
0:29:33	をしたのをその図で、と白い。
0:29:37	網のところをモデル化しますっていうことで、そこ、そこに揺れ、

0:29:43	E W方向に揺れたときに、もともとはそこに乗った水乗ったというか水はすべて無限にこう流れて戻らないって言ってたけど今回戻るってされ、
0:29:55	だってことで、
0:29:56	具体的にどこまでちょっと考えているのか。
0:30:00	考えて評価してるのかということを確認したいんですけども。
0:30:05	例えばE W方向に揺れてその市、今の白い網のところに水が乗って、今も、だけどその隣のまだプールがあるからそこに水が入りますと、
0:30:17	まだでも揺れたらその下米、その水分は、結局壁に当たって出る部分。
0:30:24	壁というかそのオレンジ色の箇所に当たって出てしまう場合は、部分とかはちゃんと考慮されてるってことですか。
0:30:33	どこまでその前回の解析との違いが出て、
0:30:41	つい、あるべきところを確認させていただきたいです。
0:30:46	古作です。
0:30:49	私も同じ質問なんですけど、
0:30:54	ハッチングが新たにかかったところL o w e r、そこに来ても除外にはしないということで、そ、そこに乗った水が流れていく様は解析されていて、
0:31:10	流れる流れる方向としてオレンジのエリアに行けば、
0:31:15	イスイにカウントしますと。
0:31:18	プールに戻るように流れが行けばそれはまだ保有水として扱いますってということですかね。
0:31:28	日本原燃林です。その理解で間違いございません。
0:31:34	はい。補足ですわかりました。清水さんどうぞ。
0:31:38	はい、清水です。トラックがありましてもともと
0:31:44	以前ヒアリングでお話してた話だとプール内のこの形状、もう少し精緻、言葉がいいかわからない、精緻化してっていう話であったのでちょっとイメージと違ったのでどこまで考慮してるのかっていうことを確認したかったので、
0:31:58	そういうプールの、この8掛けのところに載った水もそのあとの流れっていうのも考慮して評価されてるってということで、
0:32:07	理解しました。

0:32:11	江藤コサクです。ちなみになんですけど、今、清水が言ったそのプール内の構造っていうのはこのポンチ絵だと見えなくて、
0:32:22	見える側の側面を持つ
0:32:25	計上ちゃんと入れてるっていうふうに見えるだけなんですけど、
0:32:30	全体的に精緻にもともと組んでいるっていう理解をすればいいんですか。
0:32:38	日本原燃林です。その理解で結構です。以上です。
0:32:44	そうです。了解です。で、すみません。それ、内容物っていうのはどうしてるんですしたっけ。
0:32:55	ちょっと表現悪いかもしんないですけどあのび。
0:32:57	トラックだったり、燃料だったり、
0:33:00	あれ他の収納管だったりとかっていうことなんですけど、
0:33:08	日本原燃林です。すみません、右下 16 ページのですね、解析確認の解析影響確認の解析条件の中をちょっとご覧いただければですね。
0:33:21	現状で現状の解析モデルの中でも水中機器のモデルは考慮してませんので、
0:33:29	以上です。古作です。それは保守的だからっていう古藤で、そういう説明も、
0:33:38	入ってるってことなんですしたっけ。
0:33:42	日本です。保守的な評価として考えていい。
0:33:54	日本原燃林です。江藤。既存の申請書の中でですねそういうふうにかかれてるかちょっとすみません。確認した上でもし書かれてなければそういう記載をさせていただきたいと思います。以上です。
0:34:08	はい、補足です。
0:34:10	結局何が言いたいかと最終的に何が言いたかっていうと、あるところでは保守的に圧壊あるところでは現実的に扱いというときに、
0:34:22	何が本当にいいんでしょうねっていうの何か考えありますか。
0:34:38	日本原燃石原でございます。何が正解かって難しいところではありますけども、結局は今回新たに臼井の設計評価が加わってですね、
0:34:49	既存の設備に対して影響がないようにまずコンセプトとしては考えなきゃいけないと、いうことだと思います。そういう中で結果から逆算してるところはあると思います溢水を見て、

0:35:00	このぐらいの溢水量になるのであればいいだろうみたいなところがどうしてもつきまってしまうので、
0:35:05	変形工作で壊ればいいみたいなことが、言い切れないところもあると思ってます。はい。
0:35:13	はい。補足です。我々としては安全が確保されていることが説明されれば
0:35:22	規定は、
0:35:24	できないかなとは思うんですけど。
0:35:26	なるべく保守的に扱うような時わあ、
0:35:31	ケーススタディーをしていただいですねどれぐらいの
0:35:36	影響がある、その過程なのかと。
0:35:39	いうことは補足説明なりでは言っていたいきたいなと思います。厳密に評価をする必要も、
0:35:48	ないと思うんですけど感度解析なんで、
0:35:51	少し検討いただければと思います。
0:35:57	日本原燃林です。了解いたしました。
0:36:03	大坂ですシミズさんどうぞ。
0:36:05	はい、清長市民です。
0:36:10	それについてちょっと確認です規制庁シミズです。先ほど
0:36:16	戻ってしまって申し訳ないですけど比嘉現状今回新しい解析モデルで解析して現状の解析モデルと比較するっていうことなんですけど、
0:36:26	この日度、何か比較してどこまでだったら、
0:36:30	現状の解析モデル使おうとかそういう、
0:36:34	方針とかはまだ、
0:36:36	決めてないでしょうかそこら辺ちょっとどう考えてるのかっていうのを、あれば説明いただきたいんですが。
0:36:50	日本原燃林です。少々お待ちください。
0:37:23	日本原燃林です。こちらの解析についてはですね、補足説明資料等で適切にご説明したいと考えております。すいませんコサクです。
0:37:34	なぜ補足でいいのかとかっていう考えを説明いただきたい。
0:37:38	と思いますか。
0:37:46	日本原燃ハヤシです少々お待ちください。

0:37:52	理由ってことはやっぱりまだ方針が決まって値出てから考えようなあまずけど、
0:37:58	以前というのが1本のイシハラでございます。まず
0:38:04	先ほど清水さん田尻さんとの意見の中でハヤシがご回答しておりますが今、もともと申請書につけていた影響の範囲内だと、いうことを確認をしたいというのがまず第一次でございました。
0:38:17	ただそういうことのパラスタもやった上で、今の評価が、大枠をとらえているものだと、いうことの説明になるということである。スタンスでいけばですね添付書類上も、
0:38:29	そういうものがないと駄目だと、いうことだと思いますし、今の評価結果を使うということに対してなぜそれでいいのかという根拠の、としてご説明をするということであれば、
0:38:40	補足でそれをご説明させていただくと、いうことだと思ってました。以上です。
0:38:46	古作です。結果を見せていただきつつデータとは思うんですけど、
0:38:52	現状の
0:38:55	評価の範囲内だというのであれば、現状でその部分を保守的に扱いますと言って、その枠内であるということの説明という位置付けになると思うんですけど。
0:39:08	今回ってそういうロジック立つのかなってというのがよくわからないんですね。
0:39:13	で、類Gでもないですけど、それよりももうちょっと保守性の範囲であることの確認みたいなことで、耐震での影響評価については補足じゃなく添付でもやられている部分があると思うんですよ。
0:39:28	そこの関係で、つつ、今の話成り立つのかなってというのは検討されますか。
0:39:38	はい。二本木石田でございます。私が前からそういうなんて言われそうですけど、そういうそこまで考えてなかった状態でございます。とはいえ、今回この評価で、
0:39:52	適切な条件設定がされてるかっていうところも含めて再度評価をし直すと言ってますので、今回の評価結果の使い方、他1ですねそれも整理した上で、申請書としてどう説明するかと。
0:40:07	いうことを整理をさせていただきます。

0:40:11	はい。コサクです。そのあたりの考え方の整理及び
0:40:17	実際の影響程度の分析というところ、あと、これ以外の部分での保守性の程度感と、
0:40:28	というようなことを整理をして説明いただければと思います。よろしくお願いします。清水さんどうぞ。
0:40:36	清町シミズです。
0:40:39	顔を見て、よろしくお願いします。
0:40:45	はい。規制庁側からプールに関して、確認ございますでしょうか。
0:40:52	よろしければ次の内容は先ほど話した漏えい検知器で同じような、
0:40:58	回答は書かれてるのはちょっと先ほど、
0:41:03	いただければと思います。
0:41:04	続いて 18 ページですかねコメント No.46 について説明があればお願いします、
0:41:17	日本原燃の赤松です。
0:41:20	じゃあ何 46 年、2、
0:41:23	冷却系水富田とあと鷺見館も含めて、使い分けについて説明、
0:41:29	記載させていただきました。
0:41:31	ここについては記載のところ、非常に補足させていただくことはございませんで、
0:41:36	それらの使い分けに関する記載とあと、1、18 ページの下と、
0:41:43	2 ページ目には、そのそれぞれの設備のイメージをつけるため、
0:41:49	に構造図の例を示しているもの、あと 2 ページの下から 4 ページまでは、それらの設備の配備図を、具体、具体の IP の例ですね。
0:41:59	を示させていただきますか。初めは以上です。
0:42:03	はい。
0:42:04	規制庁清水です。
0:42:06	当間李。まず流入防止の堰、防水扉水密扉の使い分けについて説明があって、
0:42:14	原則として堰を設置しますってということでその上で、5 席が 50 センチ超える場合は階段をつけるか、または防水扉にするってその人の、
0:42:26	出入りとかも考慮してってということで、
0:42:28	攻めがあって、
0:42:31	正しい例外として 50 センチ以下でも、

0:42:35	はい。
0:42:36	ことなんですけども、当間もともその確認したかったこれで申請者見て気になってたは、80センチか60センチぐらいの関井は、
0:42:47	どういう扱いなんですかっていう確認だったんですけども、それらはこの説明だと、
0:42:52	人の出入りとかがある場合は、階段とかをつけ、
0:42:57	ているっていうことだと思うんですけど実際
0:43:01	やたらと高かったら、80センチとかの席は、
0:43:05	どういう扱いになってるんでしょうか。
0:43:11	日本原燃の赤松です。十分ご認識の通りだと思いますけれどもこの背筋に色にまとめることができないっていうところで、
0:43:19	分類されまして、階段。
0:43:22	等を追設するものになるという認識です。以上です。
0:43:26	はい。規制庁清水です。基本なんか、以前の話だとここは荷物の班。
0:43:34	丹生とかそういうのがないからってことだったんですけどその荷物の搬入とかにかかわらず基本的には高井井関は、基本的には、
0:43:41	50センチを超える石は、
0:43:44	階段つけてるっていう。
0:43:47	施設内すべてそういう整理されてるんですか。ちょっと細かい話です。
0:43:53	コサクです。ちょっと違う言い方で聞かせていただきたいんですけど、堰で対応するのか防水扉で対応するのかというのは、基本は堰で階段を設けますと。
0:44:06	いうことなんでしょうけども、大型機器重量物等を搬入しなきゃいけないというところについては防水扉を設置するっていう、
0:44:16	発想でしょうか。
0:44:21	日本原燃の赤松です。ご認識の通りです。
0:44:26	はい、古作です。できればそういうのをクリアに書いていただいた方が理解しやすいかなと思いますのでご検討いただければ。
0:44:34	その上で清水さんすいません、もう一度、何かあれば、
0:44:38	お願いします。
0:44:40	規制庁清水です。今の説明で、
0:44:43	大丈夫です。はい。
0:44:45	通ず精密8Gについては今まで

0:44:51	鷺見扉の中に入れてたが、これらは何かまた別出しして説明する別出し というか
0:44:58	方針にしたっていうことでよろしいでしょうか。
0:45:03	日本原燃の赤松です。いえ、いえ、水密扉の中で、
0:45:07	自分たちを含む形跡は変わっておりません。
0:45:12	点線のですね、添付書類の6万1-1-6-5。
0:45:17	現状は被水防護設備の詳細設計でいただいでるんですけども、その 中で、
0:45:22	審査の中に、甲斐方法が水平方向と成瀬1人だと。
0:45:28	鉛直方向になる水密ハッチを、を定めて記載したいと考えております。 以上です。
0:45:35	はい、規制庁シミズちょっとすみません忘れてしまったんですけど、基 本設計方針や、添付書類のもうちょっと前のところで
0:45:44	土肥対策設備並べてるところがあったと思うんですけどそこには水密ハ ッチは明示的に挙げてましたでしょうかそっか、関係なかった。
0:45:57	あ、はい、日本原燃篠崎です。現状記載ございませんご指摘の通りでご ざいます。
0:46:02	なので、その辺の記載の修正は必要と思っております。例で言います と、緊急遮断弁は、F-111でも
0:46:12	機械式遮断弁と、空気作動式遮断弁みたいな
0:46:17	タイプがあるよと、以下ドレン逆止弁もそうですし、
0:46:21	長期遮断弁もそうなんですけども、設備の中にもこういうタイプがある という書き分けをしてございまして、この水密ハッチにつきましても、 水密扉の中に扉タイプ8タイプがあるよと。
0:46:34	そういったことを、ちょっと明確に書かせていただく修正を行うと考 えております。
0:46:40	はい。規制庁清水ですと、今の説明あったようにその遮断弁が空気式 と、
0:46:46	機械式があるっていうのはその添付書類の、
0:46:51	割と市の方、後ろというかあんまり前の基本方針とかそういうところじ ゃなかった気がするんですけど今回の水密ハッチも同じ遮断面と、
0:47:03	同様のところから、その明記して出てくるっていう。

0:47:06	整理でしょうか。特にその基本設計方針に書いてある水密扉に、括弧、水密8含むとかを入れるわけじゃなくて、もし、後ろの方で登場するっていう、
0:47:20	はい、日本原燃。
0:47:22	はい。日本原燃篠崎です。はい。そのご認識の通りです要求は水がそこから通さないで扉味であるというところで変わりございませんので、
0:47:34	その詳細を説明するときに、ふたパターンあるよと言ったの遮断弁と同じようにそこから明記していこうというふうに考えています。
0:47:42	はい。コサクです。すいません。あ、ごめんなさい、古作ですけど。
0:47:50	利水対策としての機能はそんなに変わらないのは理解はしつつ、でもそもそも能機能という、
0:48:00	水密扉の方は、日常的に出入りをするため、
0:48:08	のもので
0:48:10	と、
0:48:11	操作性を確保していると。
0:48:14	いうことうだと思んですけど。
0:48:18	あっちの方はこの構造を見るとそんなに頻繁に開け閉めするというものではなくて、
0:48:25	定期事業者検査の時に作業で解放する。
0:48:30	終わったら閉めて運転中は閉止すると。
0:48:35	いうことのように見えるんですけど、
0:48:38	違います。
0:48:47	はい。日本原燃篠崎です。詳細はしっかり確認しますが、
0:48:54	今言われたご認識のイメージ通り、そんなに高い頻度で開け閉めするような場所ではないとは思ってます。
0:49:02	はい、そうです。そうする等、
0:49:05	何か、
0:49:06	無理に、水た水密扉の一部ですって言う必要があるのかなあという。
0:49:13	気がするんですけど、何でしかもですね水密扉の内数蜜扉と水密扉の実線水H a t c hっていう、何かいまいちよくわからない表現をしなきゃいけないということなん。
0:49:24	ですけど、何か、もししなきゃいけない理由みたいなものってあるんですか。

0:49:43	はい。いえ、4Aシノザキです。
0:49:47	はい改め、改めて、
0:49:49	考えてちょっと整理しようと思いますけれども。
0:49:53	先ほど言いましたように水密というキーワードくれる同じような切羽同じ設計要求を持ってるものという。
0:50:00	だけで食っていたということで、
0:50:02	はい。それ、それ以上のような、あまり実はないです。はい。
0:50:08	コサクです。それでしたらやはり今後、会合でも、2-1ということで構造設計の類型として話をさせていただきますけど、構造としてはやっぱり、
0:50:20	違いがあるように思いますし、
0:50:25	取り扱いという意味でもちょっと違うので、その点は、
0:50:29	改めて検討いただければなというふうに思います。
0:50:34	で、
0:50:35	ついでにあれなんですけど、水密ハッチの構造図が19ページにあって、
0:50:42	で、
0:50:43	ちょっと小さくて、
0:50:46	よくわからなかったんですけどこれ1項で組み立てていて、
0:50:54	外側からV字目できるようになっていると。
0:50:58	ということですね。
0:51:10	はい。はい。塩崎。はい。そういう構造になってございます。
0:51:15	はい。補足です、水密性を確保するのってというのはどうなってるのかなというのと、
0:51:25	パッキンみたいなのが挟まってるということなのかと。
0:51:30	いうところの確認なんですけど、そのボルトの下あたりも何か、
0:51:36	部材があるようにも見えたりするのでそのあたり説明いただいていいですか。
0:51:50	はい。日本原燃篠崎でございます。おっしゃる通りちょっとすいません明示的に書いてございませんけども、パッキンついてございまして、そのシールでこの精密性を担保しているという構造になっています。
0:52:06	はい。補足です
0:52:08	金っていうのはこれ、

0:52:10	ポルトが書いてあると、断面図見て、ポルトが書いてあるところの下に板があり、さらに下に、
0:52:20	点点でッキングかかったような部材があり、
0:52:25	その周りは、
0:52:29	退任グーわかってるかのようなものがあって、
0:52:35	スラブになってるっていう感じに見えるんですけど。
0:52:38	これはどういう、
0:52:39	これはどういう状況ですか。
0:52:55	すいません少々お待ちください。
0:53:02	はい。日本原燃、すいませんちょっとこの図で説明しきれないので、ちょっと拡大図、或いは写真等を用いて、その構造をちゃんと説明できるように準備いたします。
0:53:15	補足です。わかりましたよろしく申し上げますで、つい数合わせてですね、その下のところに斜めに、
0:53:25	スタートポルト的な感じで入れているのも、す、なぜかとかかっているところを、
0:53:31	あわせて説明いただけるようにお願いします。
0:53:37	はい、承知しましたその辺も説明できるような、
0:53:42	これを準備いたします。
0:53:48	規制庁シミズです。
0:53:50	長ほかとNo.46 について規制庁から確認ございますでしょうか。
0:53:57	よろしければ1 を、
0:54:00	22 ページのNo.47 についてお願いした原燃側から説明をお願いします。
0:54:10	日本原燃林です。コメント管理ナンバー47 についてご説明したいと思えます。コメントといたしましては止水板の耐震性に係る設計要求評価方法を整理して説明すること。
0:54:22	ご回答といたしましては設計要求でございますけれども、設計要求である、地震に対してスロッシング水量を低減する性能が損なわれ、
0:54:32	年内せ、に対しまして、溢水防護設備の詳細設計の方ですね、こちらの記載がないので、記載のほうを修正させていただきたいと考えてございます。
0:54:43	表は、評価方法といたしましては、
0:54:47	地震大信す性人、

0:54:50	最初の評価といたしましてそれ、
0:54:54	スロッシングによる波のこういう周期と、大下の方がですね共振しないように二つのもの自体を20Hz以上となる設計とさせていただくといたします。
0:55:06	あと鉛直方向の地震に対して浮き上がらないこと、あと、水平方向のですね地震に対するずれにより、
0:55:14	水路へ落下しないことについて評価したいと考えてございます。以上です。
0:55:20	はい、規制庁シミズです。間野。
0:55:24	他の先進性について今現状何も書かれてないけど評価検討されてるっていうことで、
0:55:31	すいません、ちょっとあんまり、
0:55:33	詳しくないのでお聞きしたいんですけど鉛直方向の地震に対して浮き上がらないことを評価するっていうのは具体的にはどういう評価になるのか。
0:55:43	説明いただけますでしょうか。
0:55:47	すいませんコサクです。今の説明の前に、まず蓋の構造を説明していただいていいですか。2-1-2-2の説明になっちゃいそうで。
0:55:56	すいません。お願いします。
0:56:11	補足です意味わかりました。はい。日本原燃林でございます。少々お待ちください。
0:56:24	はい。日本原燃林です。別途構想IIをご用意させていただきますけれども、
0:56:31	基本的な考え方といたしましては開いた
0:56:36	ちょっと水路に負担をしましてその上にウエイトを乗っけて受重量で抑え込むというような形になってございます。
0:56:46	以上です。
0:56:49	コサクです。
0:56:51	まずそこで止められたので、まず構造からっていうことですけど、
0:56:57	重量で押さえ込むと言われてましたけど、それは
0:57:04	ルールの水メインと言われてましたけど、それはっていうか開口部よりも大きい構造体として、オペフロ側に乗っていると。

0:57:16	いう状況で、その載っているところにおもりを置いて動かないようにしてるっていう理解をすればいいんですか。
0:57:26	日本原燃林でございます。衛藤。
0:57:29	板、止水蓋そのもの自体はですね、水路よりも
0:57:34	約 70 前後で 70 ミリ程度を寄付た、載ってまして、その上に前回、2ヶ所あるように
0:57:45	ウエイトを抜けてございます。以上です。
0:57:50	古作です。全体にかかるってことなので把持においてとかっていうことではないという説明をされたと理解をしましたが、それでいいですかね。
0:58:01	はい。日本原燃林室長の理解でよろしいです。
0:58:05	はい、そうです。そうすると、大分曲げ変形がかかるようなウエイトの乗せ方になると思うんですけどそのあたりは共同計算をしてるっていうことですか。
0:58:17	それともそれ自身計算の中、
0:58:20	南、今、
0:58:23	日本原燃配置です。と共同計算の中で実施してございます。以上です。
0:58:30	はい。蘇武です構造は大体わかりました。そしたら先ほどのシミズの
0:58:35	質問について、
0:58:51	規制、
0:58:52	日本原燃林でございます。まず、鉛直方向給食方向ということではないですねちょっと図面関係をですね構造図関係をきちんと適切に読みお示しできてませんでしたので、
0:59:06	別途ご用意させていただきます。衛藤。口頭での回答になりますけれども、鉛直方向の地震に対して浮き上がらない、こちらはですねプール、水路そのもの自体が、約 100 メートルほどの長手方向になってございますので、その長手方向での
0:59:22	波に対して板が好き足蓋が浮き上がらないという、
0:59:27	このウノ評価になります。以上です。
0:59:31	はい。規制庁志水ですと、何か私イメージ、その地震力に対して、
0:59:38	そのと後その蓋の、

0:59:40	20とか何か、それで、浮き上がらないとかだと思ったんですけど波が直接当たってそれによっても浮き上がらないってことも確認されてるって いう今の説明だとすることよろしいでしょうか。
0:59:56	日本原燃林です。その理解で結構でございます。以上です。
1:00:02	はい。規制庁志水です。のイメージがつかましてまた詳細を示して いただいたときに、ちょっと確認したいと思います。
1:00:10	これ抜けてたので
1:00:13	記載を入れていただくということでお願いします。
1:00:17	ちなみにこれはもう確認は終わってる、終わってるというか踏まえた上 で設計されてるから、
1:00:23	N Gはないってことです。
1:00:32	日本原燃林でございます。評価の方は終了してございます。以上です。 はい。規制庁清水です。終了して後は示していただくということで、承 知しました。
1:00:43	宮野。うん。どっかすいませんコサクです。今の点は、地震荷重の上 方と、
1:00:52	スロッシングによる波
1:00:56	運営方向荷重は、
1:00:58	重畳させて計算されてるっていいことですか。
1:01:05	それとも別評価ですか。
1:01:16	日本原燃林です。別々の評価になってございます。以上です。
1:01:22	古作です。
1:01:25	それは時間的にずれてるからってことかなとも思いつつ、
1:01:32	全く別IIで大丈夫かっていうような辺りは、
1:01:38	どう整理されてますか。
1:01:45	日本原燃林です。少々お待ちください。
1:01:57	江藤。日本原燃林です。具体的に申しますと応答水路側の方でN S方向 E W方向なんですけれども、N S方向では18秒ちょっと、E W方向で は2.5秒ぐらい。
1:02:11	蓋の方は20Hzと1ということで0.05秒以下ですね、いうところで当 間。
1:02:19	周期が重なり合わないということは確認してございます。以上です。

1:02:24	得策です。周期だけじゃなくて、荷重がどうかかるかというタイミングだと思うので、
1:02:34	地震荷重が直接かかっているときに、
1:02:39	どれだけスロッシングが
1:02:43	大きくなっていくかと。
1:02:45	当該場所にかかってくるかということなので、スロッシングの解析はされているわけですから、地震荷重等、どういう関係にあるのかを示していただいて、
1:02:57	荷重の組み合わせの考え方というのを整理いただければと思います。
1:03:10	日本原燃林所長お持ちください。
1:04:00	大変お待たせしました日本原燃林です。別途資料作りは別途資料を用いましてですね、ご説明したいと思いますので、よろしく願いいたします。
1:04:11	はい、古作ですお願いします今お話したようなことは、考え方は添付書類に書いていただく必要があると思ってますし、それを補足として、今お話いただいていたようなエビデンスを整理をしていただくと。
1:04:27	ということだと思ってますのでよろしく願いします。
1:04:31	併せて
1:04:33	シミズから清方向も言ってたかなと思うんですけど、ずれによりってということからすると、先ほど言われたように上から置いてあるだけで固定していないのでずれが生じ得ると。
1:04:47	ということで、
1:04:52	その際2、ずれは生じるのか或いは摩擦力がかかって動かないのか。
1:04:58	いう点では、ずれるんですか。
1:05:04	日本原燃林です。若干、別途、きちんとした説明資料でご説明いたします。ご用意させていただきますけれども現状では、
1:05:15	若干ずれる。
1:05:18	評価に評価結果が出てございます。具体的にはですね
1:05:23	貼り出した図、
1:05:25	左右で70mmぐらい、また、ラッピングございますけれども、地震時によってずれ量としましては大体1mm弱ぐらい、すいません。
1:05:37	センチ弱ぐらいずれるという評価になってございます。以上です。補足ですちょっとずれの、

1:05:44	計算ってどういうふうにするんですか。
1:06:06	二つ目です。
1:06:08	只野社長、仲野です。
1:06:10	この理論の計算っていうのは、一応
1:06:15	若松っていう摩擦力というか
1:06:19	ちょっと時刻歴、まじコミセンさんの
1:06:23	ちょっとこれ、解析によってこのすべりを、モデルを組んでは開発して る、その辺りをお持ちで評価をしております。以上です。
1:06:32	はい、迫です。今言われたように時刻歴で都度荷重等、将桂からの摩擦 力を計算し、性的なところから動的に変わってと。
1:06:45	ということで順次変位を計算してるってことですかね。
1:06:50	はい。立原小磯ご認識の通りでございます。以上です。
1:06:54	補足ですわかりましたということです。解析コードとしては、許認可で 使っているもの。
1:07:06	ですか。
1:07:09	有田仲間です。
1:07:11	これ、IT本主査これ、
1:07:14	汎用的な面ではございますが直接
1:07:19	行政さんには直接用いてワーキないんですが、
1:07:23	一番にこの許認可解析の違いというのは解析等でございます。以上で す。
1:07:29	はい。NASTRANがよく使われてるのはわかりますが、滑りでは使 われてましたかね。
1:07:57	日本原燃林です。滑りに対するNASTRANのところについては再度 我々の方でもちょっと検証させていただきますけれども、こちらの方の 妥当性、仕様の妥当性の方につきましてはですね、別途当県の確認して ご説明したいと思います。以上です。
1:08:14	はい、補足です。よろしく申し上げます。
1:08:20	清町シミズです。
1:08:24	今、これらの話は、
1:08:26	でもいつ示すかとちょっと他のコメントとかも踏まえて、後で最後確 認したいと思います。
1:08:32	藤。

1:08:33	一通り別紙の確認はしたんですけどここまでどんなアホか規制庁が確認 ございますでしょうか。
1:08:42	よろしければ
1:08:44	コメント、別紙ついてないコメントに関して幾つか確認したいところか あるので確認進めたいと思います。
1:08:52	まず、
1:08:53	1 ページ目。
1:08:56	資料 1 ページ目のナンバー 3 の、ちょっと S A との関係ですねこの間そ の重大事故の十時 17 でヒアリング漏れ、
1:09:07	してたと思うんですけども、
1:09:11	1 点。
1:09:12	その S A と D B で、その溢水量とかそういう評価条件が変わってくるの かとかそういったところで、今のところ整理、
1:09:22	いかがでしょうか、まだ整理がついてないってということかもしれない。
1:09:31	規制庁シミズ島ちょっと特に上から確認しないとだと思うんですけども 特に気になったのがその十時 17 で、
1:09:39	S A の話で、全周破断どうこうっていうところろうの数、ヒアリングで も話上がったと思うんですけどっていうところがあって、
1:09:48	それが、具体的に D B では、例えば貫通クラックとかそもそも破損を想 定しないとかしているのに S A だと全身原になってしまうとかそうい う、
1:09:58	何か椅子量の設定での条件の違いとかが出てくるっていうことなのかと かをちょっと。
1:10:05	確認したいんですけど。
1:10:07	今 S A との整理状況ってまずどういう状況でしょうか。
1:10:20	ちょっとお待ちください。
1:10:24	聞けばいいかな。結構、S A の話は、日本から、
1:10:29	何か先にあったって言われるんだけど、
1:10:36	前にやってもらって、
1:10:51	料金が違うんだけどさ。
1:10:56	整理しますとか、条件は、
1:11:07	あれじゃないんじゃない。そうそう。
1:11:09	あそこがってこと。

1:11:18	ご質問は、
1:11:19	日本原燃カシワムラです。質問の趣旨に合っているか。
1:11:23	ちょっと正しく理解できない部分もあるんですけど、先ほどの質問について後、ご回答させていただきます。
1:11:30	まずS Aの時とD Bの時の水路の違いについてですが、想定破損については、双方で変わらないというふうに認識しておりますので京都評価配管の強度評価だったと。
1:11:44	やっぱケーション合わせて、
1:11:46	破損想定不要、もしくは貫通クラック。
1:11:50	全周破断、いずれかで評価しております。すいません。
1:11:55	ごめんなさい。今最終最後全周破断も言われたから、もしかしたら合ってるのかもしれないんですけど、重大事故で先日、先日話題にしたのは、
1:12:10	一理評価の関係から出てくる想定破損ではなくて、重大事故の要因として想定をする内部事象、
1:12:19	としての全周破断なんですけど、そこはご理解された上での回答ですか。
1:12:43	はい。すいません日本原燃塩崎です。すいません。ちょっとその中身についてしっかり理解していなかったです。
1:12:57	あそこですけど。
1:12:59	これって重大事項のときに話をしたはずで、今日重大事故関係の人もいらっしゃる。
1:13:06	じゃなかったですっけ。は、重大事故からメンバーで、
1:13:11	出てます。
1:13:13	失礼。うん。
1:13:16	元、
1:13:17	堀田。日本原燃の堀口です今もう1回ちょっと確認させていただきたいんですけど、F Aの
1:13:25	2.2 節の
1:13:28	圧損
1:13:29	違うちょっとお待ちください。規制庁加治です。一遍に先生は少なくとも違うんです。こういうときでしょう。
1:13:47	日本原燃のホリグチですと

1:13:50	いっす生の溢水の想定破損は税込まだちょっと待ってください。
1:13:57	はい。規制庁の田尻です。頭の整理としてなんですけど、S Aの事故想定条件としてって意味でいうと地震とか火山とか大きいやつはいますけど、内の事象として言うんだったら動的機器が多重故障と、
1:14:10	静的なものだと全周破断の想定ってのがありましたよねとでそこんところってこっち今回溢水とか条件として何かやってきましたかっていうのを、1つの10時だったか忘れたんですけどこのヒアリングでやったはずで、
1:14:22	その時に答えが曖昧で、何か整理しますと言って持ち帰られた気がしたので、
1:14:27	それがまだ検討中って話なのか、すでに何か整理がついてますかっていうのを確認したいんですけど。
1:14:46	日本原燃の瀬川ですけれども。
1:14:48	ですね、私はちょっと今の最初のやりとりの初めの話ちょっと聞いてなかったのとんちんかんな答えしちゃうかもしれませんけれども、S Aの腐食性流体を内包する配管の全周破断ってというのは、
1:15:03	デービーで議論してるようなそういう内的要因の想定破損とちょっと経路が違って、工学的に破損を、1ヶ所必ず破損させるっていうのを想定しているものになります。
1:15:15	何でしたっけ。
1:15:20	ですので、エッセイ固有のその溢水量を算定するにあたって、清固有の条件、
1:15:29	に該当していて、
1:15:32	お答えになってるのかな。
1:15:34	コサクです。それはわかってるんですけど。はい。それが溢水評価に加味した方がいいのか、全くもうそれで結論がついてるので考えなくていいのかというところの、
1:15:49	考え方の整理をしてちゃんとイスイ側に引き渡してくださいねと。
1:15:53	ということで、なので必ずこう受けなきゃいけないとかって言ってるわけではないんですけど、整理できてますかっていうことなんです。で、
1:16:04	ここで書いてあるところで言うと、22日にS C提出と言っているので、
1:16:11	来週には整理がついたさまを説明いただけるとのことだとは思いつつ、

1:16:16	何かそもそも入口に立っていなさそうな雰囲気だったので
1:16:21	心配になって話をしているというところです。
1:16:26	はい。日本原燃の瀬川です。これーは椅子、溢水、S Aの観点分の防護対象設備をどう拾うかっていったところにも関連するんですが、
1:16:38	そこの議論になってそこを説明した上での結論になるんですけども、現状としてはですね、S A側で腐食性流体に対して、S Aの機能が喪失しないようにするという対応をするにあたってはですね、
1:16:55	材料、結局機能喪失しない材料を用いることと、あと機能喪失するような、そういう動的な機器を、配管破断が発生するような場所に置かない。
1:17:08	そういった対応で、
1:17:10	健全性確保するという方針でいこうと思っておりますので、
1:17:15	改めてこの全周破断についてですねD B側に何か条件を付与するというようなことはないというふうに今考えてました。以上です。
1:17:27	そうですねコサクです今話をされたようなことはさんが13月22日の別紙提出に入ってくるものなのか。
1:17:38	十時17側で整理をして、引き渡さなくて大丈夫という話をしてここにはアルパ。
1:17:46	整理をしてくれ、大丈夫ですか。十時17でもう方針の具体展開といったところで、見えるようになっていたはずなんですけど、ちょっとそこは確認を。
1:18:01	させてください。できれば十時17でその片りんをお見せし、22日のフル版で、最終形を見ていただくとそんな流れかなと思っておりました。
1:18:14	はい。コサクです。11時17。
1:18:18	わあ、
1:18:20	もう出てるん中に入ってるってことですか。
1:18:26	はい。日本原燃の瀬川です具体、S Aだから、すいません、S Aは配管の全周破断に対して機能喪失しないようにするっていう大本の設計方針があって、それを具体化した方針まで今回の十時17のところに書き込んで、
1:18:42	おりました。書き込んでおったんですが、その観点で本当に書かれて育っていくかっていうのがちょっと記憶が曖昧なので、
1:18:49	確認をいたします至急確認します。

1:18:53	はい、細田です。わかりました。いや、これの振り返りの辺りにでもまた言っただけならばと思いますけど、十時17でいつどういうふうにヒアリング
1:19:03	をするのかということと、それとの関係でこの項目の22日提出がどうということになる。
1:19:11	いうので、いずれ1定数、
1:19:14	いうんで、
1:19:15	説明をお願いしたいといたしました。
1:19:24	はい。規制庁清水です。
1:19:28	S A関係で今、今あった話に関して、規制庁側からほか確認ございますでしょうか。
1:19:38	藤。
1:19:41	エッセイ関係ということで、
1:19:44	今の数、
1:19:45	レイリー免許、十時17とか、関係するかもしれないんですけども、S A関係でちょっとあわせて確認させていただきたいんですが、
1:19:54	当資料の5ページの、
1:19:57	藤さん、ナンバー32のコメントです。
1:20:02	あと、アクセス通路部の話は以前お話を聞いたところだとDBは原則20センチというところで、
1:20:11	大丈夫だけど、エッセイだと袋小路とかが、
1:20:16	どうとかでちょっとまた確認。
1:20:18	作業中ですっていう話がちょっとチラッと出てきて、
1:20:21	その具体的にその袋小路だとかその20センチ超えそうだとかそういったところって、
1:20:28	S Aでどういうところがあるのかって今特定されてるのでしょうか。
1:20:41	はい。井上寧乃ホリグチ地下階がまずあります袋小路は、今、
1:20:54	立野チームの買収建屋に一部、そういった田丸部屋があるということを確認しております。そこをどうするかについてはまだ検討中ですはい。以上です。
1:21:07	はい。
1:21:08	一応シミズですとまずその地下階っていうところは、
1:21:12	何かこう、

1:21:15	クセスルートとか、何かこう S A の対応するのに、地下で作業が必要ってそういう場所になるってことなんですかね。
1:21:25	はい。日本原燃の堀口佐口系の部分でも、アクセス接続がある部分がありますので、アクセスします。そこで上層部から、
1:21:39	階段等、開放からどうぞ。そういうものがどんどん変わっていく最地下階には特に、
1:21:49	余るといって、繋がり部分に関して、検討が必要だということでも検討して最中でした。以上です。
1:21:57	はい。規制庁志水です。今検討中ってということで、何か以前の話だと 20 センチ以上でも
1:22:05	作業問題ない。
1:22:07	古藤を確認とかいう話もあったんですけど、方針としては、
1:22:11	基本は、この水、20 センチはマスキングだったかもしれないんでちょっと後で、
1:22:20	と水。
1:22:22	ある程度の数、今評価している水はそのままその中でも何かできるように対策をとるとか、
1:22:32	こら辺方針としてもまだ、
1:22:35	検討中でしょうか今その場所の特定。
1:22:38	ていうところで整理されてるのかちょっと検討中の状況。
1:22:44	説明できる範囲で結構ですので、
1:22:48	ますでしょうか。
1:22:51	はい。日本原燃の堀口です。溢水量に関して下げ、
1:22:57	配管を守っているのか、それとも、通路に何かも、
1:23:02	顔も載っているのか、
1:23:07	そうですね上げるか、今のままでもアクセスできるのか、アクセスするために何か設けるのかってところに関して検討している最中でした。以上です。
1:23:17	はい、規制庁シミズまあ方針もちょっと今検討中ってということで今挙げられた内、
1:23:23	そのどちらかに、どちらにするかは整理中ということで、
1:23:27	ちなみにその検討っていうのはどういう順番で検討してる、お聞きした時とあんまり状況変わってなくてその他の S A との事象とかの、

1:23:38	検討もあるのかと思うんですけどどういう。
1:23:40	段階で検討を進められてるのかっていうのをちょっと説明いただけますでしょうか。
1:23:54	市長の田尻です。このコメントリストの表を見る限りだと3月17日に別紙が提出されそうな感じになっていって要はし明後日なんですけど、
1:24:04	これはそのスケジュールで進んでるんですかねそれともここからさらに今遅れてるっていう話を先ほどからされてるんですかね。
1:24:12	はい。日本原燃の保育施設に関しては今、検討があまり進んでおらず、この17日に、
1:24:22	明確な回答ができる実験や、まだないです。
1:24:26	規制庁2人です。で、それっていうのは、何か待ってれば進むような状況になってるのか、要は何かの考えがあってまた止まっている状態なんだと思うんですけど。
1:24:38	そこのめどっていうのは今立ってるんですかね。
1:24:48	はい。日本原燃の堀内です。悩んでるっていったところ既設の
1:24:56	骨格に徹底する、永井能勢吉江、ベギものを1号館として、
1:25:05	ある部分で設定するアクセスをしてそれを決定するところで、
1:25:11	すったもんだおりました、それで、
1:25:15	ちょっと時間を要しておりました。
1:25:18	なので、そこまとまって、
1:25:22	添付でいるIQです。はい。
1:25:25	すいません。以上です。
1:25:29	規制庁谷です。ちょっとごめんなさい。電波が悪くて、1人づらかったところがあるんですけど、何かとりあえず皆さんで集まって検討してる場所なんですってところだけは聞こえたんですけど。
1:25:39	それは今まですでに集まってケアの話し合っって結論が出てないちゅう話なのか、何か材料を集めて時間かかってたかとかっていうのはどういう状況でしたっけ。
1:25:52	はい。磯野代表はじめにも時間かかってました。そして、現状の部分のは、
1:25:59	遠慮負担の状況の確認を今あわせてしてるところでして、
1:26:03	現在さんに問い合わせを何度もしてそれで情報を吸い上げてるところでしたらそれで、

1:26:09	これに関して、今後どうするかっていうこと。
1:26:15	も入ってかねて、いや違うな。はい。
1:26:20	はい。
1:26:21	とりあえず、そうですね。はい。すいません。
1:26:25	そうですね今、情報発言してそれで、その情報をもとに、どうするってこと、金利決めようとしていましたので情報収集っていう、
1:26:35	段階です。わかりました。以上です。
1:26:38	すいません。一応、ごめんなさいコサクですけど、情報収集って何かっていうのをもうちょっと具体に行ってもらったらいと思うんですけど、先ほど言われてた
1:26:49	水量を少なくするのか、或いは対策を講じるのか、対策、一斉防護の方で対策を講じるのかということのときに、
1:27:02	まずは溢水量を下げるという方向での対応として、1制限で、さらに、1制限にしないでいけるという場所はないかというのを探しているという古藤なのか。
1:27:18	対策の方法でどこにどう対策を講じることができるかという場所を探しているのかと。
1:27:25	いうところなど、ほかにもあるかもしれないですけどそういうのをお話しいただけますか。
1:27:43	白根。はい。日本原燃の堀口です。
1:27:47	今アクセスルート上の中で、
1:27:51	線せえっ製設備として選定を再度見直すそれで本当にどこに、
1:27:59	どこを守るべきなのかそれで特になんてどこに設置しなければいけないのかというところを整理しながら、電力さんの状況を確認している状況でした。
1:28:14	はい、すいませんちょっと待ってください。
1:28:29	大江瀬谷さんと与儀西原でございます。ちょっと収集が絡んで1回ちょっとやってる状況を確認して今の状況がちゃんと答えられるようにさせていただくことについて、1回引き取らせてください。
1:28:45	根井コサクです。今のぐらいは把握してないと。
1:28:50	何ていうんすかね検討してることにならないんじゃないかなと思うんですけど、今の状況からするとまだ入口に立つように勉強してますっていう感じに聞こえて、

1:29:02	ちょっと驚いていますが整理をして、
1:29:07	はい。
1:29:08	状況答えられるようにしてください。はい、すみません日本原電、堀井です了解しました。
1:29:17	はい。規制庁清水です。整理の方、お願いします。
1:29:23	続いて、
1:29:25	所長、佃さん。
1:29:30	上からコメントリストの確認していきたいと思うんですけども、1ページ目は、とりあえず先ほど、
1:29:37	木下S C以外では勝手に私からなんですけど、これ1ページ目です。あと、
1:29:42	清町側から確認ございますでしょうか。
1:29:45	規制庁の田尻です。
1:29:47	ナンバーで言うと4番なんですけど、大人比較されてるところ
1:29:55	何か後ろの方で個別に書いてあるやつとかはあるんですけど、今ここに書かれてるやつで、差異の理由際の妥当性を見直しを行っていますよとかそういう話が書かれてはいるんですけど、
1:30:07	これ4月中旬に001に修正しますよっていう話なんですけど、これ炉と設計の考え方が違うところどうもまだありうるのかっていうところだけは先に聞いておきたくて、
1:30:18	記載振りだったら記載ぶりだけだったらどうでもいいし、どの実績があるものであるっていうんだったら後で別に聞けば終われる話なんですけど、ちょっと考え、違うやつが後でまた出てくるんですよっていうんだったら4月中旬という早めに言って欲しいところなんですけどこっっていうのは清さんはもう進んでるんですけど。
1:30:57	はい。
1:30:58	日本原燃してるだけでございます。おっしゃる通りちょっとここは、今比較できる形になってないそういう形にしますということで書いてございませぬけれども、
1:31:08	当然どの違いで、があるところが今見えてないところで、説明する必要があるものがあれば、ピックアップしていきます。
1:31:20	はい一通り確認をしてと思うんですけど、改めてちゃんと確認いたします。

1:31:26	規制庁の谷です。後ろの方で米田に上がってるやつ以外に、こういったサイバーにもあるんですっていうのをピックアップできたんだったら、別にこれのコメント回答欄に書くでもいいんですけど、把握は先にしていた方がいいかなというふうに思うので、どこかのタイミングで記載いただければと思うんでよろしくをお願いします。
1:31:45	はい。日本原燃塩崎です。承知しましたおっしゃる通り、修正下ったらこの時期でもいいかもしれませんが、
1:31:52	抽出されたのは本当は屋根が使わなきゃいけないと思いますんで、少しよろしいですか。
1:31:59	規制庁清水です。他1ページ目に関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:32:05	コサクです。一番最初のマスキングなんですけど、
1:32:10	これ、
1:32:12	今後出すやつは当然マスキングチェックして出させていただくっていうことなんですけど、これまで出していたものにマスキングのミスがあるっていう。
1:32:22	ところでは、
1:32:25	マスキングすべきところマスキングしてなかったっていうのはないと思っていいんですよ。
1:32:37	はい。日本原燃塩崎でございます。マッキングしすぎはあるけれども、
1:32:43	抜けはないという認識でございます。
1:32:47	はい。補足です。その点では
1:32:50	マスキング、不要なところは開示させていただくということだと思んですけど、まだ審査はそんなに進んでなくてリバイス場が出るんだと思うので、
1:33:02	その際に整理をするということですかね。
1:33:09	はい。嶺井シノザキです。そうですか。わかります。マーケティング事務局とも連携してはい。情報共有して参ります。
1:33:17	はい。補足です。わかりましたよろしくをお願いします。
1:33:23	規制庁志水さんが規制庁側からございますでしょうか。
1:33:28	すければ次のページに移りまして、
1:33:31	盗難ナンバー9で行った確認なんですけど、
1:33:36	主セルの

1:33:37	止水性の話ですね、ここ3月17に提示ってことなんでもう整理されてるのでそこで確認ということだと思んですけども、そこで対応方針で他条文での議論も踏まえて、
1:33:49	説明するっていうことで書かれてて具体的に他条文での何を、どの議論を踏まえてこう整理して17日に示すのかとか、ちょっとそのの、
1:34:01	何ですか、中段階っていうかどういう確認したのかっていうのを説明いただけますでしょうか。
1:34:12	はい、衛藤日本原燃1だけございます。
1:34:15	それと、耐震側での導入をしてるのか、もうちょっと
1:34:21	確認中調整中の事項でございまして、
1:34:24	それで現時点でちょっとこういうふうに言ったところまで言えない状況でございます。対応方針をかけていないという状況でございます。ちょっと3月17に本当に提出は川中も含めて、
1:34:35	早く対応しますけれども、どう精査してください。
1:34:41	はい。規制庁清水です。わかりました。じゃ、他条文での議論を踏まえていうところで先ほどのように耐震側の情報収集とかそういうところをまだ確認中の段階っていうことですね。
1:34:56	はい。
1:34:57	これ、これはもともと止水性。
1:35:01	は、多分考慮されてるけどそれが、
1:35:05	ちゃんと
1:35:07	申請確保できてるかっていうのの、
1:35:10	何かエビデンス示して説明するっていうそういう内容でしたっけすいませんちょっといろいろ忘れてしまって恐縮です。
1:35:26	はい。衛藤。日本原燃篠崎でございます。そもそも、こういったセルの開口部というか、そういったところに対しての耐震性の議論で、持たない話になればそれはその溢水経路として考えなきゃいけないというようなところでのフィードバックが必要かどうかという議論と認識していました。
1:35:45	はい。規制庁鷺見です。であれば耐震性もつかもたないかとかそういうのを、耐震側から収集して、整備するっていうことなんですか。
1:35:55	はい。
1:35:57	うん。

1:35:58	作業をお願いします。
1:36:03	ついて2ページ目で、
1:36:06	これは状況の確認までなんですけどナンバー13のまた、
1:36:13	防護対象評価対象の選定の話で、
1:36:17	これ、
1:36:18	今日の旭課長がちょっと忘れたんですけどどこかで説明。
1:36:22	まだ、今その15日、括弧調整中で作業中って異なってるんですけどこれまだ整理遅れてるっていう説明ところからやった気がするんですけど。
1:36:32	そういったことを話されてましたでしょうか。
1:36:37	はい。日本連盟の篠崎でございます。今日の朝ヒアリングで、
1:36:42	最新の状況として、ちょっと15日のペースが厳しいという話をさ、列挙させていただきたいという話をさせていただきました。
1:36:53	以前、説明させていただいたのですね。
1:36:58	考えられる想定される方なんかをしっかりと洗い出して、
1:37:04	参考に、安全機能って、
1:37:07	設備と紐づけて経営活動を持ち、合格みたいな営業やってるところなんですけれども、
1:37:12	このこういう方針でいくという集まり塊でないのと、それを96に説明する、この前、まだ至っていないという状況でございます、
1:37:25	もうお時間をいただきたいと思ってるんです。
1:37:29	規制庁シミズです。
1:37:31	今ちょっとお話があった方針が決まってないっていうのは、
1:37:36	これまでのヒアリングで実際、本当は評価対象にしないといけないけど、
1:37:43	してなかったところの漏れっていうのはこういうのありますよっていうことで挙げてたと思うんですけども、そういうのをもとに、ちゃんと系統としてこう、
1:37:51	関係する関係部署集まって、
1:37:55	中に安全機能、
1:37:56	担保してるかとか何かそういう確認するって話だったと思うんですけど、方針として何か、
1:38:03	悩んでる状況でしたでしょうか。

1:38:06	はい、宮西です。おっしゃられたようなやり方で、皆さん、利用者全員が共通認識を持てるようなプールを持ちながら作業を進めているところでございますけれども、
1:38:19	やっていく中でいろんな、こういうものがっていったところ、実施しながらやってるところでして、
1:38:24	まだ最終的にその確定に至って、ご説明差し上げるところまで至ってないということでございまして、現時点でその個別、これが問題になっていて進まないんだみたいな状況にはなっていません。
1:38:37	以上です。
1:38:39	はい。規制庁志水です。今一瞬
1:38:45	議論があってとかいう説明があって、お話しされた気がするんですけども
1:38:50	特に、ヒアリングの場で、こういうのは今ちょっと出て悩んでますとかそういう説明はないってということで、
1:38:58	はい。
1:39:00	承知しました。ちなみに直近でこう示そうとしているものというのは、
1:39:05	作業をし終えて、
1:39:09	何か出すっていう何を、直近で示そうとしてるかとかって説明いただけますでしょうか。
1:39:16	はい。日本のシノザキです。以前からもいただいています、D、
1:39:21	誤った方とかですね、やり方としてはなしに、
1:39:34	こういったところをつけました、うちの市長様にご説明さし上げ内容固まった時点で、
1:39:41	こういうことでやっていった法人っていうかね、それを、
1:39:50	規制庁シミズですなんかもう作業されてるからこういう方針でやってるっていうところは何か説明され、これまで説明があった内容かと思ってたんですけども、
1:40:02	ちょっと状況がわからなくなったので、
1:40:06	規制庁の度です。抽出の基本的な考え方は前回とかのヒアリングでも話があったと思うんですけど、
1:40:14	今のお話は統一的な考え方に基づいて各施設さんの方が各担当の方かわからないけど実際にそれぞれか個別の設備について見ていったところで、

1:40:24	その中で、要はちょっと特殊について設備とかがあってその機能喪失高さをどう設定するとか、こいつが除外できるものかっていうふうに個別案件として整理しなければいけないものが出てきているっていうことですかねで、
1:40:38	その出てきてるんだとして、それっていうのは、全員の調査が終わった上で出てきたものをあと整理すればいいだけなのか、まだ調査も終わってないのかというどっちですかね。
1:40:56	日本原燃塩崎でございます。
1:40:58	特にですねセガワに関しての、
1:41:02	に関しては、調査もまだ、何か一通りの調査も、
1:41:09	そういった交流場所を洗い出すといった調査も、終わってないっていう状況でした。規制庁の館です。今、時間かかっているっていうのは、S Aの話ですかねS Aの話だとするとさっきの話があるので、
1:41:21	後でまとめてでもいいんですけど、DBの方はもう終わっていると思えばいいですかね。
1:41:27	はい。井上シノザキです。特にそういうことでTBもまだ最後まで行き着いてないといった状況でございました。
1:41:40	規制庁田尻です。
1:41:43	何かあとは待ってれば出てくる状況でいいんですかね。
1:41:51	はい、衛藤西崎です。そういう状況だと思っています。ちょっと時間がかかりすぎるところもありますので、
1:41:59	朝ヒアリングとかで、事務的石油とこの情報は共有しております。
1:42:05	規制庁の谷です一度抽出漏れがあってやってる作業なので、ここでミスするのもよくないところなんで、焦ってやれとも言わないんですけど、考え方の整理とかで困ったことがあるとか方針について説明する事項が生じたとかであれば、早めに言っていただいた方が当然いいので、
1:42:22	その辺も考慮した上で今後進めていただければと思います。自分からは以上です。
1:42:30	はい。規制庁清水です。同2ページ目のコメントについて、どっか規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:42:43	続いて3ページ目に移ります。
1:42:50	これはちょっとコメント。
1:42:52	江藤3ページ目のNo。

1:42:54	1067には方なんですけども、ここ申請書に示してる影響評価の、
1:43:02	結果というか判定基準とかそこら辺がちょっと記載が不十分だったって いうことで、
1:43:09	明確化し説明するっていうこと書かれてて、これ
1:43:14	今の申請書から変わるところだと思うのでどういう判定基準で示そうと してるかっていうのも、もし整理ついてるのであればこの回答方針のと ころに、
1:43:25	記載するなりしていただきたいのですが、あと今どういふなんか整理し てるかとか、説明いただき、可能でしょうか。
1:43:36	はい、篠崎です。ちょっと対応欲しいところこういうふうにといった方 針は、
1:43:42	チームのときに内容を更新させていただきます。
1:43:46	いただいた、いただきます。お弁当ですけれども、これDBとSAが合 流した後の、
1:43:58	評価判定基準になっているんですけども、単純にそのデービーの後に、 SAの判定基準をくっつけたせいで、一部ABとSAで判定基準に重複 してるところがあると。
1:44:10	いったところで、そういったところは、
1:44:13	実際は引き継ぎというところの表現を削除しているだとか、
1:44:18	作業をやってございます。で、注釈ですね、黒丸と%のところで、それ があると、そんなキーワードがあるので、
1:44:29	そういった表現はなくして、戻りですね、AからCに該当するか何かち よっと
1:44:35	クロマル%の使い分けがわかるような、修正をしていく感じ考えている ところでございます。
1:44:42	ちょっと対応方針みたいな、そういうふうにするよって言ったのを、具 体的に書かせていただこうと思います。17番も同様でございます。以上 です。
1:44:51	はい。規制庁清水です。今説明あったようにヒアリングで確認したこと は認識されて対応されてると、ようでするので対応の方お願いします。
1:45:06	どんな。
1:45:07	どん
1:45:07	ナンバー20番の、

1:45:11	コメントに関してで、
1:45:14	破損形状の話で、ちょっとこの代表例について別紙で説明するって書いてあるんですけど、これこの間のそのヒアリングでも、まずその
1:45:24	没水。
1:45:25	営業の中被水影響なのかとかそういうところから順を追って確認してたと思うんですけども。
1:45:31	代表例に示されるのはいいんですけどその何か考え方っていうのをどういう整理にしたのかっていうのは、今説明できますでしょうか。
1:45:44	はい沸騰日本円じゃないです。すいませんちょっとここで、今口頭で説明してる人が、というか全くまで至ってないので、
1:45:53	別紙をしっかりと提出し進めさせていただこうと思っておりますが、
1:45:57	同じ系統内でも、
1:46:01	ある範囲は、
1:46:03	漏れない、ある範囲では漏れるとかですね、そういった
1:46:08	小さいな溢水量の算定方法を用いてますので、
1:46:12	21番、
1:46:15	失礼しました。23番。
1:46:18	はい。ただそういったところもあわせてになる、なりますけれども、
1:46:23	こういうところについては、
1:46:27	こういうふうな破損想定をしてこういうすみ分けをしてどういう量を算定してるみたいなまず
1:46:32	考え方をですね、代表例と書きましたけどモデルとかイメージみたいのをしっかり示した上で、それを踏まえた後は算定になっていますよということでその結果を、
1:46:43	添付書類9が、山越の方に展開していこうというふうに考えてるところでしたので、また細かくしちゃいます。
1:46:53	はい。規制庁清水です。
1:46:55	わかりましたチーフ中で、代表例っていうよりちゃんと考え方を説明されるっていうことで、
1:47:01	承知しましたその以前ヒアリングでも被水だったら確かにその場所によってかかりか、近くに防護対象があるとかで、
1:47:09	かかり方とかで、破損形状を変えるっていうのは、
1:47:16	意味があるっていうかだと思ってるその没水は、

1:47:21	破損形状、場所に同じ系統でも異なる破損形状あったら、量をどうするのかとか、
1:47:27	区画の溢水量を設置するのかとかいう話もあったのでそこはわかるように考え方の方、
1:47:33	説明をお願いします。
1:47:38	が生じました。議論現地のとときですね。
1:47:42	それはここに示されている3月24日に、
1:47:46	提出され、示せそうな、
1:47:49	あれです。
1:47:51	状況でしょうか。
1:47:53	はい。まだ少し気もありますので、を目指して頑張ります。
1:47:59	は衛藤3ページ目のコメントに関しても、コメントに関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:48:06	規制庁の谷です。22番なんですけど、
1:48:11	炉との安全率の整理について比較して別紙にて説明っていうふうになってるんですけど、これ、考え方はもう示せますか
1:48:19	あと17に資料も出せるということなんで考え方を先に行けるんだったらお願いしたいんですけど。
1:48:32	日本原燃の赤瀬君。
1:48:34	八木委員と草野考えとしましては、
1:48:37	土肥状況表、没水影響評価の方で用いている、
1:48:46	すいません、間、先ほど申し上げましたそれ、
1:48:50	マーキング対象でございます。
1:48:54	はい。何戸、これの説明。
1:48:58	没水ペーパーと蒸気影響評価で、蒸気影響緩和ファンド人数を、合成のような、現状適用していないというものですけれどもこの考えは、
1:49:11	蒸気影響評価は特有の保守性があると考えております。
1:49:18	それが、こういう数字を置いて1杯は、失礼しました。
1:49:23	減衰量を、
1:49:26	安全率を考えない場合でも、そういったところの保守性があるって、その助成を包含する方がしている意見としております。
1:49:36	具体的にその特性というのは
1:49:39	例えば、

1:49:42	はい、喜多構造物といった長期の
1:49:46	エネルギー、日本の状況を漏れたときに、そういった構造物というのを熱、
1:49:52	熱を考慮しないと、そういった大きな保守性を、
1:49:56	を出しておりますので、
1:49:58	そういった部分で、安全率の方はすると。
1:50:02	いうふうに考えております。それを
1:50:05	器用な形で表現したと考えておりました。以上です。
1:50:09	規制庁の田尻です。今のご説明だと、ロット除権に違いがあるわけじゃないけど、僕は結構多めに保守性を見込んでる形になる中で、
1:50:21	その他の条件部分でもこんなにも十分に保守性を見込めた評価になってるし、安全率の話、ところを、相手がなくても説明ができそうですっていう今見積もりってことですかね。
1:50:35	要件なんかもITの通りです。
1:50:38	はい。規制庁の田尻です。保守性は所々あるような気がするんですけどその妥当性っていうのを確認することになると思うのでよろしくお願ひします。
1:50:50	いたしました。
1:50:55	はい。
1:50:55	藤。
1:50:57	ここは3ページ目までに規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:51:03	よろしければ4ページ目に移ってしまして、
1:51:09	江藤ナンバー28番。
1:51:12	ですね。
1:51:16	週末28年。
1:51:19	藤。
1:51:20	屋外の、
1:51:25	過渡変化を考慮した評価の話なんですけど、これ20、
1:51:31	ちょっと屋外の評価に関して、確認なんですけども、
1:51:36	す。
1:51:40	その件って今どういう整理状況でしょうか。
1:51:51	はい、どうぞ日本原燃篠崎でございます。この対応方針に書かせていただいた通りの、我々の設計の考え方、

1:52:02	文献がございまして、それを補足説明資料で説明させていただこうと。
1:52:09	規制庁吉見です。すいませんちょっと
1:52:12	ちゃん、今伝えたのは37番、下の5ページ目の37で、ちょっと飛んでしまってますみません。
1:52:19	局長評価のその要否について検討する過去現在検討中ってということで説明されてて、今補足説明資料で説明しますよってことなんですけども、これは17日に示されるってということであれば今どういう方針になるかとかって、
1:52:35	は説明可能でしょうか。
1:52:40	別所。
1:52:42	私に違うことを説明しました。
1:52:46	1-8番。
1:52:48	改めて、
1:52:52	37
1:52:54	はい。
1:52:55	そうです。
1:52:57	本当ね。うん。
1:53:00	日本原燃志水です。
1:53:02	江藤常務健康調査としましては、発電所の状況と、当社の設計質問の状況を比較しております。
1:53:12	さらに、当社の配置状況と、経営状況等、現場の状況を確認した上で、局所的がですね、そういった
1:53:24	モードが考えられるというところを整理してございます。
1:53:28	以上です。
1:53:32	規制庁清水です。状況確認中ということで、現状、
1:53:37	通し原燃として、局所評価っていうのは必要かどうかっていうのはまだ
1:53:44	判断はまだっていうことですね。
1:53:50	はい。
1:53:51	日本原燃の清水です。
1:53:53	狩野ですね藤。
1:53:56	広域の青島高田と建屋総合建屋の開口部高さを比較しているという状況でございました。で、先ほど述べました。

1:54:06	現在の検討中の状況のところがですね、許可時の修正を持った評価の中に含む方がされるというような、
1:54:16	ところを確認してございます。
1:54:19	予備、
1:54:21	はい、規制庁、4にただけで整理してもらった、しますが、
1:54:27	今局長を、特殊評価は不要じゃないかという、エポジンで整理を進めています。
1:54:34	当てができました。
1:54:36	はい。
1:54:36	はい。すいません、日本イワタニです訂正します局所評価を不要っていうのは我々は思っておりませんで、あくまで、我々は広域水位ですね、
1:54:50	広域水位評価が我々はあくまでせと考えてて、局所は当然発電炉でもやってまして、そこに関しての検討っていうのは、要否っていうの我々はしてみたけれども、
1:55:02	局所っていうところを考えるまでもなく広域水位を局長の推移と同等と見ていいんじゃないかというような補足説明資料をご説明しようと思っておりますちょっと局長不要っていう話はちょっと、
1:55:14	我々は考えてないっていうところは、ご認識いただければなと思います以上です。
1:55:20	はい。規制庁清水です。今の説明で承知しました。
1:55:26	不要、
1:55:27	ってなれば、なぜ見なくていいんだってことになるんですけど、検討した上で今の元でされてる評価に含まれるっていう説明になるのか
1:55:38	示されるってことで、
1:55:40	実証しましたちょっと
1:55:43	この評価についてはまだ詳しいところが見れてないので
1:55:47	説明資料なりで、
1:55:50	説明を、
1:55:52	お願いします。
1:55:55	すいませんコサクです。
1:55:58	羽鳥君、どうぞ。はい、すいません規制庁の田尻です。

1:56:02	3月17日に今一応紙予定という形になっていて、今の説明だと、局所ハッカーの必要性を考えた上で今やってる評価で十分それを、よりも厳しいのか、個数なのかわからないですけど話になってるって形なんですけど。
1:56:17	局長評価に近いものもデータとしてはやってるってことですかね。今の話だと、
1:56:27	あ、すみません局所評価について近いことっていうのは柏崎とか、例えばそれとか等々改善用のFLUENTをまわしたような評価だと思ってるのですけれども、
1:56:39	これについては現状はファクトとしては今は行ってございません。それはなぜかという我々は、再処理の立地的特性を踏まえて、広域水位というところが、
1:56:52	等を考えた考えとけば、教育水位っていうのはそれと同等であるというふうな考え方に基づいて、これまで徹底をしております、そこに関して、議論になると思う。
1:57:07	出まして、そこの我々の考え方をご確認いただいた上で、そういう局所っていうところが、必要になるかどうかというところが議論になってくると思ってございますので、今現状ファクトとしては教育というのは、やってないというのが現状になります以上です。
1:57:23	規制庁土肥です。なんでその広域のやつが妥当なんですよっていう説明を前からする流れにはなってたと思うんですけどもしくは局長やるから流れになったと思うんですけど。
1:57:33	その広域の方、広域でも妥当であるっていう考え方は今説明簡単にできますか。いや17まで待たなくても何か考え方が決まってるんだったらある程度言ってもらった方が話が早いかかと。
1:57:50	日本原燃岩谷です。詳細は補足で説明させていただきますけれども、屋外のですねタンクから開口部までの距離っていうものが一番大きいおっきい、影響が考えられるというものを抽出いたしまして、
1:58:06	そこの距離が直線距離にして大体、確か103社様100メートルですね。で、ただその間にもまだ建物とかが干渉物とか障害物がございまして、実際そこにたどり着くまでには、そういう建物を返して、

1:58:24	流れる必要があってさらに正味の伝播距離っていうのは、130メートルぐらいでしたっけ、130メートルぐらいというところで、なってまして、その距離、それからタンクというのが、
1:58:39	リファレンスプラントとかと比べた時に江藤高低差というものがあって、再処理については高低差がなしというところな状況もありますんで、そういったところを複合的に組み合わせて局所的にというか、
1:58:54	指向性を持って、水が流れるということは、考えにくいんじゃないかなというところを配置情報とかを中心に、ご説明するという方向性で今考えてございます以上です。
1:59:07	規制庁の田尻です。なんで今の説明だと、局所的な評価をしても、1000円から、溢水の影響を受ける開口部とカミデ曲線ところに
1:59:18	遮へい物になるのかわからないですけどものが設置されていたりとかっていう話には聞こえたんですけど、
1:59:25	指向性っていう意味でいうと、た側がどう壊れるかで施工性だっていくらでも持たせることができちゃう気もするので、ちょっとその辺りもどう整理したか含めて確認できればと思うんで、それが結局17に示されるんでしたっけ。
1:59:41	4年でやったりですはい。おっしゃる通りだとございます。思ってた。そのタンクの壊れ方っていうのを、どのようにちょっと保守的に説明するかというところというところとかも社内でちょっと議論とかコメントが出てまして、
1:59:58	ちょっと今そこが不安かもしれないですけども資料の形にはしましてご説明させていただくということでございます。すいません田尻さんの基本的なおっしゃる通りです。
2:00:09	はい。規制庁鳥居ですちょっといろんな要素を確認しなきゃいけない気がするんで、早めに聞くなら聞いてしかもその結果次第でどうするかっていうのを県、検討されるような話も聞こえたので、
2:00:21	当然今の説明資料と減算してるんだと思うんですけど、早めに説明していただいた方がいいかなと思うんでよろしくお願いします。
2:00:36	はい。規制庁清水です。当組合の評価の監視、今の話に関して他規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:00:47	よろしければすいませんちょっとさっき飛んでしまったんですけども、先ほど4ページの、

2:00:54	28、ナンバー28の、
2:00:57	内容ですね、これ屋外の評価に関して水源として何を想定してるかっていうお話だったと思うんですけども、その原燃は保守的に、
2:01:08	地下ピット全量を流出想定してるとあと、
2:01:13	耐震性持ってる冷却塔も破損想定っていうことだったと思うんですけど、
2:01:17	これの設計の考え方を示しますっていうことで、説明考え方としてはどういう説明になるかとかは整理できてますでしょうか。
2:01:44	いや、日本原燃北崎でございます。ちょっとそれが、
2:01:52	きて、
2:01:54	していたところで、永久の考え方っていうふうに考えておりました。
2:02:01	規制庁清水です。ちょうどちょっと電波が悪かったんですので、うまく聞き取れなかったのですが、ここは原燃は保守的にや、
2:02:10	転ますっていうことで、水源量とかを想定されてても、特に
2:02:18	今から評価とかが変わるとかいうことでなければっていうことで早めに、のため確認をしたっていうことだ。
2:02:25	で確認してるので、
2:02:27	今のところ特にちゃんと説明は必要なんですけども、
2:02:33	水量とか溢水量ですね、何か今の方針から変える方向になってるとかそういう状況ではないのでしょうか。
2:02:42	いいですか。
2:02:45	木暮純乃委員です。今はこの辺の考え方というところでございます、変更はございませんでした。
2:02:54	規制庁の館です。ここ、多分もともとの指摘の趣旨は、何でもかんでも保守的に現実会社もう設定するってのもおかしい話なので、
2:03:04	例えば地下ピットの話に関して言うと、こういったところに多少の不確かさがあるので、そこも見積もってこういう想定をしますよっていう、間をちゃんと埋めてくれるって話だったと思うので、
2:03:15	殿全量流出することにしましたというだけじゃなくて、こういった要素が考えられるからこうしましたっていうところを言っていただく必要があるかなってのが趣旨なので、
2:03:25	結果としては、それはたくさんもらってるので、その評価結果に影響与えないかもしれないんですけど、考え方はちゃんと言ってくださいねっ

	ていうところなんですけどそこは大丈夫そうですか。なんかこれ、1回目からもう整理大体してきてるような気はしてるんですけど。
2:03:42	はい。はい。いいですか。会場でございます。
2:03:48	そう。
2:04:00	規制庁の佐治です。すいません。今日、ちょっとそれ、こちらの会議室の電波がすごく悪くて、ちゃんと聞き取れなかったんですけどあの考え方もちゃんと説明しますよ。
2:04:09	だ回答でしたかと単語単語しか聞こえない。
2:04:14	ごめん。そうだっけ。はい。うん。はい。個別に
2:04:21	はい、規制庁谷井ですよろしく申し上げます。
2:04:27	規制庁志水です。4ページ目で、続いて確認なんですけど30ナンバー32のコメントですね。ここで閉じ込め要求の堰の存在を前提として評価、
2:04:40	経路を評価してますよってことで説明されてるんですが、この閉じ込め要求の積ってというのは、溢水防護対策設備としておきたい。評価してる前提で評価してるって言うので溢水防護対策設備として何か登録してる。
2:04:55	期待してるせず、溢水としても期待してる設備になるんでしょうか。
2:05:05	コピー。
2:05:08	至っていて、
2:05:16	一応市民です。
2:05:18	すいません今本、全く引き取れなくてもう一度お願いできますでしょうか。
2:05:31	私、
2:05:33	規制庁谷井ですけど原燃とりあえず音声聞こえますか。
2:05:38	コサクです。本庁の声はちゃんと聞こえるんですけど原燃側の声は、
2:05:44	ほとんど聞こえないですね。
2:05:46	これ減とか、
2:05:49	はい。
2:05:51	全然聞こえますか。
2:05:53	何か発話してます今。
2:06:04	成長のタジリです。何かを話されてるところまではわかるんですけど、
2:06:09	なかなか音が聞こえなかったりすると、一度画面映像図書化とか止めたらいけたりしますか。

2:06:19	はい。
2:06:20	はい。
2:06:25	はい。
2:06:29	規制庁館です。
2:06:31	ちょっともう一度発話してもらっていいですか、ちょっとまだ厳しい状況が続いてて、
2:06:36	こちら日本原燃事務局の赤間ですけれども聞こえてますでしょうか、規制庁タジリのクリアに努めました。これでいければと思います。
2:06:49	規制庁と技術ってすみません、先ほどの回答が聞こえなかったのもう1回発音をお願いできると助かります。
2:06:56	うん。
2:06:57	はい、どうぞ。
2:06:59	議論
2:07:01	も現地のだけです。聞こえますか。はい、聞こえます。
2:07:05	はい。
2:07:08	こちら今、今はですね頭の閉じ込めの時期につきましては、一望技術対策設備としては今していません。
2:07:20	で、先ほどちょっと漏えい検知器のところでもう整理してってところありましたので、ちょっとこちらも同じように整理させていただきたいと思います。
2:07:29	以上です。
2:07:32	はい。規制庁志水です。既設のあれで取り込みを譴責ってことで、
2:07:39	溢水のこの経路の設定とかで期待しているのであれば
2:07:44	その点も考慮して整理の方をお願いします。
2:07:51	令和
2:07:52	等、旧能勢。
2:07:54	で前提としてる、この閉じ込め要求の責務を前提にしてるってということで、このとじ込み奥野関も、水圧に対してとかそういう評価とかも、評価というかそういう確認とかもされる積になるってことでしょうか。
2:08:19	はい。杉日本原燃篠崎です。ちょっと既設のものに対する積極ですので、ちょっと再整理させてください。再整理して説明させていただきます。
2:08:30	はい。

2:08:31	規制庁志水です。
2:08:33	イメージ、イメージというか関はその流入防止として、溢水対策設備として設置するやつ者たちは、
2:08:41	流入防止としてこう期待するって言うてる関たちがいる中この既設の閉じ込め要求の積ってというのがどこまで期待しているのかとかそういったところはちょっと、
2:08:51	排水として期待してるのかっていうところ
2:08:54	確認したいと思いますので、
2:08:56	よろしくお願いします。
2:09:01	はい。日本原燃篠崎です。承知しました。
2:09:05	4 ページ目まで規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:09:13	はい。
2:09:14	どうする。続いて5 ページ目で、
2:09:22	ナンバー35 の床勾配の件は、これ実際の床勾配を確認して、
2:09:29	最大の2分の1でそれが一番厳しいところが確認しますっていうことで前回話し合っこの確認っていうのはとれましたでしょうかそれとも何かやっぱり追加で、
2:09:39	2分の1やってるとかいうのが出てたりとかそういう状況ご説明お願いします。
2:09:50	日本原燃の堀内でございます。コメントいただいた後、社内の方の決議を行いまして今もしております水野一井だけでは担保し切れなところがというところがちょっと散見されてきてございますので、
2:10:04	状況を確認しまして、して説明させていただきますけれども、改めて状況を整理して報告させていただきたいと思います。
2:10:14	はい。
2:10:15	わかりました。なんか、一番、規制庁シミズ最初にこの件確認したときに、補溢水量は他で、
2:10:24	何%上げてそこでの保守性で、
2:10:28	見てるその不揺らぎとかの不確かさはその保守性溢水量の保守性で入ってる部分で見てるとか何かそういった説明もちらっとあった気もするのでちょっと今回、
2:10:39	今の最大2分の1では、

2:10:42	一番厳しいところではないんじゃないかっていうところが確認されたってことなのでちょっと今後どういう説明になるのかっていうのは、早めに
2:10:50	説明いただければと思うので、整理の方お願いします。
2:10:57	はい、承知しました。塩シノザキです。規制庁の谷です。
2:11:02	ちなみにツガネさっきも似たような質問しちゃう。3月17日これも資料提出ってなってるんです。
2:11:08	これも遅れる形。
2:11:14	はい。日本原燃篠崎です。何とか3月17にこれを載せたいということで今準備してます。
2:11:21	なんで、大部分のやつはやっぱ3月17ってことです。助教わかりました。
2:11:29	はい。
2:11:29	規制庁清水です他等5ページ目のコメントに関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:11:36	成長の度です。ちょっと考え方だけ聞いておきたいんです。
2:11:41	番なんですけど、
2:11:45	音をくれとかの話なんですけど、ここに関しては、実用とカーもう比較した上で考え方とか結局根拠を確認する形になるんですけど、
2:11:55	これ今4月中旬っていうふうになってるんですけど、ここに関してはもう根拠とかはもう、用意できてるってことですかねそれとも今集めてると。
2:12:18	はい。日本原燃篠崎でございます。これ長期遮断弁の個別の設計に関わる場所だと思ってございますので、炉との比較というよりは、
2:12:28	ちなみ動作に使うのは、どれだけの時間で減圧を、根拠をもって説明できればいいのかというふうに思っています。実績を説明する。
2:12:39	だけと思ってございます。
2:12:41	規制庁鳥井です。基本的にはメーカーだろうがなんだろうが
2:12:46	仕様があるので、そこがベースになると思ってんですけど、その二つ型ってあるのかないのかっていう議論を、
2:12:54	これ、時間が変わるとその分溢水量が結構大きくずれるところとかあるような気もするので、そこらの数値の妥当性とか根拠は今の話だったり相談だとは思いますが、ちゃんとし、

2:13:06	準備いただければ、
2:13:12	4年でしたっけ、どうしました。
2:13:15	はい。
2:13:17	よろしくお願いします。
2:13:18	規制庁谷です。嫌いなんですけど、画像を1回閉じてていいんですけど またちょっと、やっぱ後付けてからしばらくすると、清が悪くなってき てたんですけど。
2:13:28	何かつけた方が説明しやすいですかね。
2:13:36	んですか、話をされてますでしょうか。はいそうです。
2:13:43	皆さん、事前に医師小倉瀬下氏、とか何か説明したものでもないので、 炉心状態悪いんだったら、共有させていただきたいんですよ。
2:13:54	規制庁館です。後消してください。こういったものとして、
2:13:59	音が適当でなくて、やりづらいので、
2:14:02	はい。お願いします。
2:14:05	はい。表面的なわけです。
2:14:10	藤規制庁清水です。5ページ目まででも下規制庁側から確認ございま すでしょうか。
2:14:18	はい。
2:14:18	6ページ目に移ってしまして、
2:14:21	ナンバー41のコメントですね、ここは蒸気影響評価の空調条件の話で、 発電炉は、
2:14:30	あります。
2:14:32	人の違いがあったところで、
2:14:37	ちょっとそれぞれの記載忘れてしまって申し訳ないんですけども、あ と、ここ今説明されてる内容としては想定破損、
2:14:45	の金は単独での、
2:14:48	ってということから、空調は生きてますっていう、原燃側の説明はそれ で、
2:14:54	頭がここに書かれてはないんですけども、以前のヒアリングでは、その ソフィアさんは今の説明となって地震人の話、地震時においては、原燃 においては蒸気ラインは、
2:15:06	持つようにしてるから、
2:15:09	空調は生きてますっていう。

2:15:11	ことを話されてた気がするんですけども、ところ今地震時の説明特に書かれてないんですけども、
2:15:19	理解としては、
2:15:20	今の私が言ったことで合ってるんでしょうかちょっと合っていない気がするんですけども。
2:15:30	はい日本原燃、磯崎でございます。
2:15:43	保険、
2:15:51	いうことで、麻生さん大丈夫。
2:16:05	はい、規制庁志水です。
2:16:07	ちょっとまた電波悪かったんですけど何となくは聞いておりました、ちなみになんですけどもその時にちょっとろdなんで想定はそのまま、
2:16:17	だけど当時審議それぞれ区長、
2:16:20	機能喪失としてるのかっていうところの説明がちょっと曖昧だった気がするんですけどその炉の方の確認とかは、
2:16:28	今説明とかってできますでしょうか。聾啞なんで、
2:16:32	壊したことにしてるか、して保守的にしてるかとかですか。
2:16:41	関西電力の笹田でございますがここはもともと炉との違いということでコメントいただいておりますので、まず基本的には今、シノザキいいましたように、
2:16:53	再処理でどう考えてるんだということをまずご説明さしていただいて、炉についてもこう考えてますのはちょっと、つけ足してご説明していくのかなと思っております。
2:17:06	はい。規制庁清水です。原燃の方の説明してから、
2:17:12	それとの音の違いを説明されるっていうことで理解します。今原燃側の説明はあったんですが、それ、
2:17:21	前野能登の説明っていうのは今はちょっとまだ整理中ってことでしょうか。
2:17:29	はい、西崎です。整理さして、整理させていただいて説明させていただきます。
2:17:37	成長のタジリです。全部プラント見たわけじゃないんですけど、例えば給電限界とかだったかな

2:17:45	気をつけろ発生する等、ハロン消火が作動しちゃってダンパ閉じるんで、空調系殺したことにしますとかって言ってるのとかもあったりしたので、
2:17:55	一概に大きい当たることによって機能喪失するってことだけを想定してるわけでもどうなさそうな気もするので、それが元のところに適用されるのか否か
2:18:06	原燃の場合、取り込む機能との関係で、各設備自体を止める運用してる可能性があるんで、ロアこうやってるけど自分たちのところにはそういったことにはならないんですよっていう説明もあり得ると思うんですけど。
2:18:19	先ほどうちの調べた上で対応されるということだったと思うんですけど、そこはどういう考え方でやってる
2:18:27	いただければと思います。
2:18:31	はい。江藤評議員の篠田です。そうしましたら、整理して回答させていただきます。
2:18:37	規制庁清水です。ちなみに本件対応スケジュールバーになってるんですけども 00
2:18:44	干す備考欄なり、適宜
2:18:49	何かしら資料として残していただければと思うので、説明をお願いします。
2:18:56	篠崎です。今説明差し上げます。内容は厳しいと思いますので、別紙という形で、説明できたら準備します。
2:19:08	はい。規制庁塩見です。ちなみに確認なんですけど、今そのコメントリストに神戸市っていう形でつけてる情報は、最終的には補足説明資料に入る情報、
2:19:19	になるっていう、
2:19:20	ことでよろしい、補足説明資料なりに入る情報ってことでよろしいでしょうか。
2:19:27	ありがとうございます。
2:19:29	説明の時に、治療範囲、
2:19:44	このコメント対応審議をしっかりとるポンプでございます。
2:19:55	単純に、

2:20:07	資料反映ということで、この結果、特化していくということを考えていました。
2:20:14	以上です。
2:20:15	はい。規制庁吉見です承知しました。
2:20:18	或いは、資料範囲ってところで最終的な資料に反映されつつ、別紙。
2:20:23	ごめん。
2:20:25	このリストだけじゃ
2:20:27	説明できないのは数字になって別紙付けて、別紙提出ってところに入ってるということで理解して、
2:20:33	あと、別紙提出だけになってるやつは最終的に、
2:20:38	別紙で終わってしまうようにも読めなくはないんですけども、
2:20:43	例えば3、
2:20:45	5 ページ目のNo.34 の、
2:20:48	漏えい検知器の話とかですかね。
2:20:51	これ今別紙で提出して何か、
2:20:55	資料に反映が入ってないのですが基本的に、
2:20:59	ここの説明は先に聞くってことだったので何かしら、
2:21:03	残す資料に残す形で対応いただければいいと思うのでよろしくお願ひします。
2:21:13	はい日本原燃篠田でございます。それをちゃんと全数、それをちゃんと説明しなきゃいけないというところで、
2:21:21	また相談の調整事項あると思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
2:21:27	はい。
2:21:28	大下江藤規制庁シミズほか、あと残り六、七、
2:21:32	8 ページに関しては規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:21:42	よろしければ、ちょっと薬品の関係で、藤薬品は 23 ページからになるんですけども、ちょっと、
2:21:49	役員の方は比較的対応方針に方針というところが書かれてるので、
2:21:55	この
2:21:55	示される資料でも詳細確認しますってことなんですけども、特にちょっと 23 ページの、

2:22:03	とNo.6 の、
2:22:04	コメントについてちょっと確認しておきたいのですが、地震起因による化学薬品漏えいに関してで、この間実際薬品が漏えい想定する箇所はどこだっていう話をしたときに、
2:22:18	想定破損はいろいろ何か、
2:22:22	地震起因は、
2:22:24	ここだけといったような話も、
2:22:27	あったような気もするんですけど、今ここで前処理建屋及び精製建屋のセル内ってということが書かれてて実際、このセル内ってというのは、地震で、
2:22:38	漏えいが想定される箇所に入るってということなんでしょうか。
2:22:46	はい。
2:22:48	40 シノザキでございます。
2:22:51	すいません頭で説明すべきでした。以前ご説明差し上げた時には、薬品漏えい評価に関連するところで漏れるのは、1 般教どうこう、
2:23:04	そこで薬品防護版っていうわけですが、
2:23:07	平時の観点ですすねそこだけですと、一方、想定破損については、ターミナル公園配管の衛藤ターミナルエンド部、
2:23:18	は、溢水評価ガイドに水影響評価ガイドに基づきますと、そこは想定破損を想定するというふうになってございますので、
2:23:28	そういったところは網羅しますと、ただ、それは、薬品影響評価には影響しないところでございますという説明を差し上げました。じゃあどこで壊れてそれが本当に
2:23:42	特に関とかですすね、そういったところに期待しないでも、
2:23:45	評価の影響を及ぼさないのかってというのはしっかり説明することといったコメントをいただいております。
2:23:51	それで基本的にちょっと説明が漏れていたのが、今おっしゃってたところの6番ということで、地震起因で、てないで、薬品が漏えいする箇所がございます。
2:24:02	こちらの世界なので、評価の結果NGになって補強できないというところにつきましては、基本、出さないように評価補強しますよといったところに対応できない範囲になりますので、
2:24:13	ここはどうしても薬品庫で想定をしなきゃいけない場所になります。

2:24:18	ただその漏えいによって、その中にあるんですが、薬品漏えい評価をやって影響ないといったところをしっかりと説明して参りたいと思っています。
2:24:28	これ前回説明が足りないところでした。以上です。
2:24:33	規制庁清水です。今ちょっと最後お話があったとか説明あったところで確認で、今セル内、すいませんと1般教どうこう以外の、
2:24:45	想定するところは
2:24:48	評価対象じゃないっていうか薬品。
2:24:52	統合対象設備がないということだ。
2:24:56	ていような説明があった気がしてて、それで今セル内は
2:25:02	耐震の方の通せる内で漏えいした時に機器への影響が、薬品の影響がないことを確認してますよっていう説明があったのは、その水漏れた時のそのセル内に薬品防護対象設備はないけど、他の
2:25:18	見ない波及的影響とかで見ないといけない設備への影響がないことは確認してますっていう、そういう説明でしょうか。
2:25:32	はい。
2:25:34	今、
2:25:37	農協で、
2:25:47	その辺もあると。
2:25:58	いようなご説明となります。以上です。
2:26:01	はい。規制庁清水です。すいませんちょっと勘違いしました評価対象外っていうのは薬品の影響を受けない材料のや。
2:26:11	その他、環境薬品防護対象設備だから、
2:26:15	評価対象外っていう話っていうのを理解しました。
2:26:20	ちなみにさせないでの漏えい。
2:26:23	想定するその化学薬品薬品漏えい元っていうのは、
2:26:30	どういうものでしょうか。
2:26:33	いろいろ
2:26:34	布田とか、
2:26:49	いただきますけれども、配管等で耐震上で持たないものという形になってございます。以上です。
2:27:00	規制庁シミズ配管ということで、承知しました。
2:27:05	あとはここまでで規制庁わから確認ございますでしょうか。

2:27:13	よろしければ、その全体を通してほか規制庁側から確認。
2:27:17	明日でしょうか。
2:27:23	規制庁志水です。それでは元から振り替えいい。
2:27:28	お願いします。あと、
2:27:30	ちょっとスケジュール、何となくその17日に示されるって書いてあるけど、一部厳しいのもあるっていう説明も幾つかあったので、
2:27:41	ちょっとそこら辺スケジュールとしてどう示すつもりなのかとかも
2:27:44	まさに、
2:27:45	いやとか、何とかいろいろあると思うんですけども、説明いただけると幸いですお願いします。
2:27:55	はい。日本原燃篠田家でございます。
2:27:58	今日まずコメント対応方針で、今回、別紙細かいところを写真からいただきます。
2:28:09	別紙、
2:28:10	4ですね。
2:28:16	はい基本方針、対策の方法してあげていたものであげなかったものの、漏えい検知器と液位計について運用させていただきました。
2:28:27	こちらにつきましては、ちょっと評価上、
2:28:33	伊勢
2:28:35	評価書ですね、既設の通常運転に使いますIP系。
2:28:41	これも現地からの対応で可能ということでご説明差し上げたところ、
2:28:46	これはSA対策設備とするのかどうかといった話があったけども、
2:28:52	ちょっとあたし短絡的にしていただいて設立しているというふうにする方向で考えまして、お答えしましたけれども、
2:28:59	これにつきましては、そもそも何を言って、その評価というか、この漏えい検知器、
2:29:07	に、溢水対策として何を期待するのかというところをもう少ししっかり整理した上で、
2:29:14	対策設備等を検討するといったところを、再整理して説明させていただきたいと思います。
2:29:23	はい。あとは、ウィル、
2:29:27	別紙3のところでございます。

2:29:30	はい。基本的には、共存して説明差し上げた内容につきまして考え方に 関わる場所については、しっかり、書類にパクで結果は、
2:29:42	補足説明資料といった開き分けを、
2:29:45	して参ります。
2:29:48	はい。衛藤。
2:29:50	その上で、表、保守、
2:29:55	話。
2:30:01	はい条件のところ。
2:30:06	あるところはお指摘あるところは、
2:30:12	現実的な数字を使ってますみたいな、そういう説明もありますので、そ の辺をしっかりと整理すると、また保守的というときには、
2:30:20	なるべくケーススタディ、感度解析なんかをやって、どれくらい保守性 があるのかといったところもあわせて説明する必要があるというふう に言われてございまお指摘受けましたので、そういった示し方につい ても、
2:30:33	整理していきます。
2:30:36	はい。あと、別紙5、
2:30:38	堰防水扉の使い分けとかですね
2:30:42	もうちょっとつまりわかりやすい書き方があるのではといったお指摘 いただきましたので、そこを整理させていただきます。
2:30:49	整理して記載させていただきます。あと水密ハッチの、
2:30:53	圧壊ですね。
2:30:56	こちらについては、
2:31:00	要求だけではなくて、構造とか、そういったものも考慮して、
2:31:05	水密扉の内訳で使うのか、その一つDOSIRIS発注して、ちゃんと 対策設備として挙げるのかというところは、再検討といったをしてい ただいてます。
2:31:14	あと別紙6で蓋のは、プールふたの話でございます。
2:31:19	構造の説明が今の植田でないということで、構造図なんかを添付してど ういったものかといったことがわかるような、
2:31:27	資料の方に修正させていただきます。
2:31:32	はい。あとは、
2:31:36	ずれとですね。

2:31:39	浮き上がりか浮き上がりに対して、
2:31:42	の説明をもう少し強化させていただくのど、
2:31:46	ずれの評価にNASTRANを使ってございますけども、これを、
2:31:52	先行例で、滑り使ってる実績があるかどうかといっても確認した上で、
2:31:58	このコードだと、使う妥当性についても別途説明させていただきます。
2:32:04	はい。あとはコメント処理コメントに対する対応方針の方につきまして、
2:32:13	これからお話しするところで追加でやるべきところについては、またこの対応方針の方に反映させていただきたいと思っておりますが、
2:32:22	SA関係ですね、ちょっとなかったのど、やっぱり
2:32:29	衛藤。
2:32:31	をやるのど、何か受注7で示して、何を引き渡すのどといったところ。
2:32:37	検討も進めて参りますし、その後、工程の方針というのは、この対応方針にも適宜反映させていただきます。
2:32:45	はい。あとは
2:32:47	単純に今の共通00の、
2:32:51	この作り方がまずくて、
2:32:53	ちょっと直接比較できるような構成になってないよということで直しますという、ナンバー4番でございますけれども、
2:33:00	資料出すのはいいんですけども、直した結果、との差異みたいなところで、あらかじめ確認すべき、早めに早く、確認するポイントがあるか、上がるかもしれないのど、
2:33:13	そういったものを早めにサーベイして、抽出することといったお話をさせていただきました。ご指摘いただきました。
2:33:20	はい。あとは、
2:33:28	評価対象設備の選定とかですね、そういったところはちょっと時間かかってございますけど、適宜状況は共有させていただきますして、
2:33:36	もし早めにご相談させていただく事項がございましたら、
2:33:42	配布させていただいて、お示しさせていただきます。
2:33:48	いるか。
2:33:53	はい。あとはいっぱいあったのど、雪害の目的ですね、閉じ込めの条文完全にこちらの方の漏えい検知器と一緒にすけれども、

2:34:05	評価上期待しているところに対して、この設備の水没た溢水着手として扱うかどうかといったところの、について再整理して説明させていただきます。
2:34:19	あと、転貸同士でその設計条件によってそういう評価に影響する項目があるんだったら早めに的説明しなさいという、
2:34:29	はい、いただきました。
2:34:35	はい。衛藤。
2:34:37	振り返りF A Xは以上になります。
2:34:43	清水です。
2:34:45	1年のため確認なんですけど先ほどS AのヒアリングI C E Aの話をした時にそこに説明するとかいった話は、ちょっとまだ整理、
2:34:55	いかがでしょうか。
2:34:58	日本原電の瀬川です。配管の全周破断についてですけれども今日お出しした十時17の方で、
2:35:07	記載の深さがいいかという議論は、引き続きあるにせよですね一応言及はしてまして、1例申し上げますと、
2:35:17	36条の大きな方針としては配管の全周破断に対して、必要な機能を損なわない設計にしましょうねというのが上流の、バクツとした方針としてあってですね。
2:35:30	その行使の具体展開として、具体的な耐食性を有する材料とすること、あと、腐食性気体の影響が及ばない場所に設置すること、具体的でセル外ってことになりますけれども、
2:35:44	そういう対応をすることで、機能を損なわない設計にしますと、いうようなところを表現してございました。
2:35:51	はい。で、繰り返しになりますが、記載の深さですね、もっと具体化して書くべき、評価につなげないんであれば、もっと具体化して書くべきかなというふうにちょっと見てて思ってますので、
2:36:04	そこら辺はちょっと明日の十時17のヒアリングで、説明させていただければと思います。以上です。
2:36:12	はい。
2:36:13	状況を理解しました。明日のヒアリングでも、
2:36:19	全体を通して規制庁側から確認ございますでしょうか。

2:36:25	コサクですけど今の話はした、話すってということなので、それでTBとの関係を、
2:36:36	クリアにさせていただくんだと思いますけど。
2:36:39	今言われた記載程度ってということだとすると、方針をもう少し具体的にというのがあるんですけど、それ以上に、DBとの関係での整理をどういうふうにしたんだという事実関係を
2:36:56	明確にさせていただく必要があって、
2:37:00	それがその十時17を先行してやっているポイントだと思うんですけど、そこは整理できてる状態なんですか。
2:37:16	はい。日本原燃の瀬川ですちょっとせ、整理をし、
2:37:22	小野瀬、何ていうんでしょう、こういう考え方だという本当にその上流の考え方っていうのが、明確に述べられるかっていうとちょっと今時点で述べられるようにはなっていないのが実態ですね
2:37:33	結果してこういうふうに整理しましたという結果論を、
2:37:38	ご説明するのがちょっと今精一杯な状態です。はい。実態としては以上です。
2:37:44	はい。補足です。
2:37:47	どう、どうやって
2:37:50	適切性を説明していけるかと、というようなことは明日具体的に話をしていければいいのかなと思いますので、
2:38:01	よろしくお願いします。
2:38:06	はい、承知いたしました。
2:38:09	はい、規制庁シミズほか全体を通して規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:38:16	はい。
2:38:17	藤原燃側の椅子医薬品に関してはよろしいでしょうか。
2:38:25	はい、神原です。はい。
2:38:28	試作品環境問題ありません。ありがとうございました。はい。それではこの後耐震が残ってますので休憩を挟んで、再開したいと思います。
2:38:41	あと20分再開で原燃側より、大丈夫でしょうか。
2:38:47	はい、高浜です。16時20分再開ですね。はい、了解いたしました。よろしく願いいたします。はい。それ板野金選手
0:00:01	はい。規制庁の竹田です。それではヒアリングを再開いたします。

0:00:05	ここから耐震のヒアリングになりまして、まず最初に地盤モデルのですねパラメータスタディの検討状況について説明をいただきたいと思います。と原燃の方から説明よろしいでしょうか。
0:00:18	はい。趣旨をさせていただいて。はい。規制庁の長谷川ですけど。
0:00:25	予定していた議題とちょっと違うんだけれども、担当の方から、この間、ヒアリングした時と、何か表層の地盤の
0:00:38	花Cについて、まだ、
0:00:43	何だっけ、考察が十分でないので、次の審査会合では、説明を除きたいみたいな話があったと聞いてるんだけど、
0:00:56	それについて、
0:00:58	ちょっと説明してもらいます。
0:01:08	はい。日本原燃松本です。
0:01:11	視察というか順番といたしまして、まず鷹架層岩盤の感度解析と考察を先に進めている状況でございまして、
0:01:23	それをかけて、表層地盤の方を実施しているところでございます。
0:01:30	建屋全般に広げて参りますので、競争時バーン、
0:01:38	続いての影響、感度解析影響について、3月末、
0:01:44	2、原価を、解析が出て参りますので、その辺全体を見て、
0:01:52	考察を加えたいなというふうに考えております。
0:01:56	また
0:01:59	前回のヒアリングで、
0:02:02	平均値を用いたりとか、地盤の表層地盤の数字を用いたり、深度依存のを、というふうな、
0:02:12	管路解析を行っておりますけども、
0:02:15	日本原燃として表カーに用いる物性値について、追加解析を含めて実施しております。
0:02:25	その辺の追加解析の結果も含めてご説明した方が、
0:02:29	いいかと思ひまして
0:02:31	次回3月の会合では、
0:02:36	表層地盤についてはその次ということでお願いしている次第でございます。以上です。
0:02:43	規制庁の長谷川ですけど。
0:02:46	今の話だと、

0:02:48	随分、この間とは変わってきていて、
0:02:54	ここはだから、13 だけ。
0:02:58	エリアを分割してるから、まずは鷹架層の話とかをしたいっていうことは、13 の鷹架層のデータが今度は出てくる。
0:03:09	ということなの。いやこの間の話では四つか五つのエリアを、
0:03:17	と、とりあえずここまでできましたということで、今後こんなふうな形で、全領域に関して、
0:03:27	検討を進めて、
0:03:34	それを見て全体的にどうするかを考えていきたいみたいな、そんな話だったと思うんだけど、
0:03:43	それがそういうふうな話になったのか、今回は結局は四つ五つぐらいのエリアに関して鷹架層とか、
0:03:53	途中の A 棟、
0:03:55	頑張る領域というか
0:04:00	何だけ表層以外の部分の話で、
0:04:03	す。さらにほんのちょっとしか出てこなくて、
0:04:08	ていう。
0:04:09	嘘と、そういう、どういうす。
0:04:13	いう感じになるんですか。なんかそこがよくわかんないんだ。
0:04:23	だからこの後 4 月とか 5 月とか、結局、どういうふうにしていくっていう全体の流れの中で、
0:04:31	どうするのかっていうのを、
0:04:34	ちゃんと考えて交差 II っていうのが、もともと今回考察何かあるんですかっていう。
0:04:47	うん。だから何を議論したいのかっていうのが 3 月の審査会合では、そもそも何を議論したかったんですかっていうところも、
0:04:58	ちょっとよくわかんなくなっちゃったんだけど、
0:05:01	はい、すみません日本原燃松本です。
0:05:05	以前ヒアリングの際に、感度解析によって地盤の物性値の影響がこうなるというところを、3 月の
0:05:17	会合で説明させていただくということで説明
0:05:22	内容を説明させていただきました。それで、
0:05:25	代表を、

0:05:28	うん。
0:05:29	いや、東側、西側と中央部の二つのグループにつきましては、
0:05:36	ありますか。岩盤も表層も、感度解析の結果は、
0:05:43	豪州中にはすべて出てくる予定になっております。
0:05:47	そういうことで、ちょっと先ほど大戸話は変わりますが前回のヒアリングの内容を、からですね、そのような感じで、
0:05:58	2番の物性値による影響評価というのを、
0:06:03	表層の地盤であったり
0:06:06	直下の岩盤の物性値非線形山系、
0:06:13	あと減衰ですね、の状況について説明させていただいて、4月には、
0:06:23	表層も、がんも含めた
0:06:26	評価として
0:06:30	どういうふうな数字をとっていくかというところを考察も含めて説明させていただきたいというふうに考えております以上です。
0:06:39	規制庁の長谷川ですけど。
0:06:41	全然よくわかんなかったんだけど、最初の説明と今の説明、僕の質問に答えるようにしゃべっていただきたいなと思うんだけど。
0:07:12	すいません原燃の方聞こえてますでしょうか。ちょっとこちら音声の接続はよく、
0:07:17	ネットワークの調子悪いんですけど、
0:07:20	あ、すいません日本原燃です。本件はスズキ超えております。すいません少々お待ちください。
0:07:29	今起こった。
0:07:36	これさ、すごく入って、
0:07:38	何かここは合ってるよねとかってないっていう、日本原燃の今進めていると。
0:07:46	はい。残りをやって。はい。ちゃんと日本原燃の緒方でございます。全体の説明の流れと今回どこまでというところの話につきましてちょっとお話をさせていただきます。
0:07:57	今回につきましてまずどこまでまず今回お示しできるかという観点では、各建屋につきまして、岩盤図につきましてまず地区とした上で、その感度を分析してあげてちょっとそれですけど、

0:08:11	規制庁のハセガワです各建屋とかまた言葉使っちゃうと、建屋幾つあるんですか。
0:08:17	もうそこがね、甲斐ワーとしてもう違っちゃってるんです。
0:08:24	各建屋ごとにやることにしたの。
0:08:26	13 エリアじゃない。
0:08:30	日本原燃の、
0:08:33	はい。
0:08:34	日本原燃の尾形でございます失礼いたしました。実際敷地内には 13 グループございますけれども、今回の検討といたしましては、その中から代表的な 4 グループを抽出して、まずは形全国で検討を進めまして、そのうちその各グループの中の 1 建屋につきましてその感度解析結果というものをお示しするというものがまず
0:08:53	ファーストステップだと思ってございます。ちょっと待って。
0:08:56	田谷って何。
0:08:58	建屋のその何とかって、
0:09:02	はい。すいません説明が、前回の説明ではその話は別になかったと思うんだけど、
0:09:09	はい。
0:09:10	各グループごとに示しますだけでございます。うん。
0:09:14	各 4 グループ、
0:09:17	の中で 4 グループはいいんだけど、13 グループのうちまず 4 グループがしか対象になりませんっていうのはいいんだけど、それでそそのうちの、
0:09:28	1 個が建物側の応答解析まで出すの。
0:09:33	ていうそういうことなんだろう。
0:09:35	うん。いえ、申し訳ございません。日本原燃大橋です。そちらにつきましては、地盤応答までということになって、入力地震動の算定結果のパラメータスタディまでということになります。何かちゃんと言葉をさ、一つ一つちゃんと選ぶというか、
0:09:51	してもらわないと。
0:09:53	わからないんで、
0:09:57	その先、森木 4 グループね。
0:10:01	ブログの入力地震動の算定まではするっていう、

0:10:11	はい。日本原燃尾鷲ですその通りその認識でございます。
0:10:19	続けてください。
0:10:24	はい。日本原燃の大橋でございます。はい。先ほど申し上げました通り、4グループにつきまして今回、入力地震動の感度解析というものを実施いたします。その感度解析の進め方なのですが、前回の審査会合でいただいたコメントといたしまして、各因子を、
0:10:42	キョウケン具合がわかるようにというところでございますので、表層と地盤岩盤それぞれで、どういう印象をちゃんと振ってみましょうかというところを考えていきまして、まずはやはり岩盤のところ、影響をまず見てみるというところ、岩盤のところ、抽出された因子について影響を見ているというところ。
0:11:00	その結果が先ほどの4グループについて出てくるというところでございます。これにつきまして影響検討はしますか。
0:11:09	規制庁の長谷川です。岩盤ってどこ。
0:11:13	はい。日本原燃のオガセです。いわゆる基礎底面よりも下の鷹架層と言われている場所の話を考えているところで、解放基盤から基礎底面レベルまでの深さです。
0:11:29	今何か二つのこと言わなかった。
0:11:32	はい。
0:11:37	今二つ入ってたの。
0:11:50	日本原燃のオガセです。もしかしたらすみません月井鳥居が悪かったかもしれません。解放基盤から基礎底面レベルまでの岩盤という一つの要素に着目することになります。うん。
0:12:02	はい。
0:12:04	いえですよ。はい。
0:12:06	はい。そのあとで、今回岩盤で考える因子に着目した感度解析を実施いたしまして、この影響度合いというものが大きい小さい出てくるというものになります。
0:12:17	そういう影響検討の度合いを影響の度合いなんかを見た上で、これは設計としてどっちを反映すべきか、ないし、もしくは敷地として、最もらしい値というのはどれかというような考察を、

0:12:28	加えた上で、我々として設計上を地盤モデルとしてどういうものを考慮すべきかというところをまず岩盤のところに着目して考察まで加えたいというふうに考えてございます。
0:12:39	で、そこまでがワンセットでございまして、あとそれと同じ検討を、表層地盤につきましても同様に、因習を抽出してパラメータスタディを実施して、そのきき具合、影響度合いに応じまして、敷地としてどういった値を、
0:12:53	与えることが最も出しているのかというようなところの御説明考察を加えていくというそういった順番になるというふうに考えてございます。こういったときに、今じゃなくて、そこで、そこでそれを
0:13:08	今月の審査会合で今言ったところまでやる。
0:13:17	はい。日本原燃の大橋でございまして。今考えているところを申し上げますと、そのうち、そういった全体像があっているのはね、
0:13:28	何て言うのかな。
0:13:30	今月どこまで説明するのってそれが、この間の話と随分違いますよねって今聞いているだけでも随分違ってるんだけれども、
0:13:45	今月だけど今月の末、説明の範囲だけ言ってもらえればいいんだけど、
0:13:54	はい、日本原燃のオガセでございまして今月の説明といたしましては、岩盤部分の因子を、に着目したパラメータスタディの結果までだと思っているところでございます。すごかった。じゃあ、結局最初の説明ももうおかしくて、
0:14:08	入力地震動の算定なんかは別にしないわけだよね。
0:14:14	で、この間説明をするつもりがなかった考察をして、どれを採用したらいいかっていうところまで、
0:14:24	説明を課されるっていう、そういうふうに変った。
0:14:28	ていうことですか。
0:14:35	はい。日本原燃のオガセでございましてすいませんそういった弾部分の因子に着目した考察までも、まずはすいません行かずに、パラメーターがちょっと待って、オオハシさっきの説明と今違うじゃん。
0:14:48	さっき考察を加えた上で、
0:14:53	何を採用したらいいかっていうことを説明するみたいな説明だったよ。
0:14:59	そう聞こえたけど、

0:15:04	はい。日本原燃の大橋でございます。先ほど私申し上げたところにつきましては今回のこの地盤に対する影響分析というところの全体像として、そういったところまで当然フォーカスを入れてやるというところで、
0:15:20	うん。
0:15:21	だからさ、質問2だから最初からまた違った質問に答えてるから、まず今回やるとこだけでも、
0:15:28	ね、3月の審査会合でやるだけの部分だけ説明してくれたらいいのよ。余計なことを説明しないで金もう1回やって、
0:15:39	はい。日本原燃のオガセでございます。3月の審査会合でご説明したい内容についてご説明いたします。3月の審査会合では、前回、2月21の審査会合についてちょっとどうでもいいからさ。
0:15:52	はいわかりました。余計なことは説明しなくていいからね。わかりづらくなっちゃうから。
0:15:58	はい。
0:15:59	はい、ご意見ありません。こちらにつきましては、岩盤部分のパラメータスタディの結果までをお示しするつもりでございます。
0:16:09	嘘それだと今度また、少なくなっちゃって情報。
0:16:14	パラメータスタディのじゃないよう説明して、
0:16:22	はい、日本原燃の勝でございますパラメータサジうん。
0:16:30	全然わかってない、こういう会話なん。
0:16:35	ピンク部数中損益率、日本原燃の浜です。簡潔に説明しますと、岩盤のパラメータスタディとして、地盤の物性地点形成減衰定数に着目した、そのパラメータを変動させた上での応答への影響、地震、
0:16:50	地盤応答への影響の結果をお示しします。
0:16:57	それは、
0:16:58	説明今説明なかったけど、四つのエリア、
0:17:05	日本原燃の長谷さんのおっしゃる通りの認識でございます。それで我々に、何を議論するの。
0:17:26	菅。
0:17:27	理解してもらってという話か。
0:17:29	はい。はい。日本原燃のオガセでございます。こちらでご理解いただきたい点といたしましては、今回岩盤部分の音信着目したものといたしま

	して、その地盤応答に与える影響が小さいというところをご確認いただきたいと考えてございます。
0:17:49	いや、
0:17:50	何か説明しようとする四つのエリアに関してだけの話ね。
0:17:57	それに対して合ってるよねとか合ってないよねとかって言って悪いのは、
0:18:02	そういう話の日本で
0:18:06	はい。日本原燃のオガセでございます。こちらにつきましてはあくまでこの4エリアにつきましてはの段階でいえることとしてというところをきちんとおっしゃっていただいた上で、その現段階において以下の傾向が確認可能であるということ。
0:18:19	また他の建屋につきましても、お金はごめんね。
0:18:23	それは原燃の説明であって我々と議論したいことは何ですかって聞いている。
0:18:37	別の言い方をするとね。
0:18:40	前回の話では、全部で13エリアあるんだけど、今現時点ではね。当間家4エリア、
0:18:51	に対して、今こんなふうパラメータスタディをして進めていますと。
0:18:57	結果の考察あともう全体が出てこないと何とも言えないところはあるけれども、こういうパラメータスタディをやって、こんなふうに出力をして、
0:19:09	全体を考察して最終的に現状の地盤モデルの妥当性とかそういうものを説明をさせてもらいたい。
0:19:20	要するに、
0:19:23	四つを例示として示してこのやり方で進めて、最終的に議論に持っていきたいけれども、
0:19:35	そういう形でいいかどうかぐらいの
0:19:41	議論をするのかなあと。
0:19:44	いやそれは他こういうパラメーターが足りないでしょとか、こういう考察も今後ちゃんと付け加えてねとかって、何かそんなね、僕はなCぐらい。
0:19:55	かなと思ってたんだけど、
0:19:58	そういうことをちゃんと考えて、今回

0:20:06	話をしています。
0:20:11	はい。日本原燃のオガセでございます。まさしく今管理官がおっしゃった通りのところまでの私たちの説明をしたいというところでございます。すいません。すいません資料と変わってました。だから、今日ね、
0:20:24	ちょっと聞いたのは、表層が抜けちゃってるから、全体の話ってできないよねって。
0:20:33	はい。日本原燃オガセですおっしゃる通りで全体の話はできないことになります。だからやる意味がなくなったよね。
0:20:40	だからどこに意味があるんですかってそういう聞き方になって、
0:20:49	だから、ある部分が欠如したことによって、前た言いに何を議論したいのかが、薄まってるんだけど、
0:21:06	元に何か考えがあるんだったら別に。
0:21:11	そうなんだろうけど、
0:21:24	はい。日本原燃の大橋でございます。おっしゃる通り全体像につきましてはお示しできないというところで、それは実態でございますけれども、3月の会合ではまず現段階での進捗状況といえますか、そういったところにつきまして、ご説明できればというふうに思っていたところでございます。家田ってすでにこないださ我々にした出力結果見したじゃん。
0:21:45	外にもちゃんと出てるじゃないですか。
0:21:49	だからもうやってないとかって言えない。
0:21:52	別にその善し悪しをなんか、今議論しようっていうことでは決してなかったと思うんで、
0:22:03	前回示された。
0:22:05	データっていうのは一体何だったの。
0:22:33	全然詰まってないんで。はい、すいません日本原燃松本です。
0:22:38	おっしゃるように前回、ヒアリングで、表層地盤の感度解析ご説明さしていただいております。
0:22:48	それである時は先ほど大庭さんが言った、4グループのうち、3グループ分ということで、お示しをし、示しましたけども、
0:23:01	4グループ分も会合までには、
0:23:05	もう1グループ分も感度解析っていうのは
0:23:11	解析として結果が出て参ります。

0:23:14	ただ
0:23:17	それに対する
0:23:20	当然のことながら、おっしゃってるのは、
0:23:24	今のところできておりませんので、感度解析の
0:23:28	結果という形でお示しすることは可能であります。以上です。
0:23:37	いや。以上じゃ困るんだけどさ、原燃だからな、何したいんだかが明確にならないんで、何か都合の悪いデータが後に置いとこうとか。
0:23:48	いやだから、今回だけだから何かやった考察までするつもりだったんですか。
0:24:01	はい。日本原燃の尾方でございます考察につきましても、やはり先ほど神がおっしゃったように全体がそろわないとまだやれないというところがありましたので、3月段階ではあくまで感度解析の結果までというところが、はい。実態としての、
0:24:14	はい。目標点でございました。
0:24:17	でも松本さんの説明と違ってよ。
0:24:21	食い違ってると、一体原燃の中で何か言わされてるのがよくわからない。
0:24:27	今までマツモト等は
0:24:30	感度解析、こういうふうなパラメーターを送ることによって影響がありますというところまでは、代表、4グループでお示しできますけども、
0:24:42	後者曾我分析についてはまだ至ってないと先ほど説明させていただきました。
0:24:49	だから別に後がちょっと言ってることは、相違はないというふうに私は考えております。
0:25:03	何議論したいか最後に言ってもらえます。
0:25:23	はい。日本原燃という話になりますと、いや説明したいかじゃなくて議論したいか。
0:25:31	はい。
0:25:32	議論したいかと言いますと、現段階におきまして、因子を抽出してパラメータスタディを実施しました。その結果につきましては、まず4グループまでというところになっておりまして、全体をまだ網羅できているわけではございません。また岩盤部分の因子に着目した検討までというところではございまして、

0:25:50	表層部分についての西井に対する解析権解析を提示していません。ただそういったところにつきましても今後他のず、もしくは、共同地盤の検討を進めていって、その上で、表層の岩盤も両方の考察をもって、その
0:26:06	1として、滑り物性値の与え方、そういったものを、今後きちんと考察をして参りますというそういったところにつきましてその方向性につきまして議論をさせていただきたいと考えているところでございます。以上です。
0:26:17	規制庁の長谷川ですけど。
0:26:20	それは原燃が説明したい内容で我々じゃフーンつって終わりなんだね。
0:26:37	これ着た分多分ね。
0:26:39	ほぼほぼ議論ないんだよね。
0:26:48	じゃあ全部整ってからにしてねって言って終わっちゃうけど、
0:26:53	原燃にとって得るものは一つもない。
0:27:09	まず、
0:27:12	そそういうこと。
0:27:13	結局原燃はこの1ヶ月ないし2ヶ月ずっと続けても、今このぐらいしか進んでないけど、
0:27:21	大丈夫っていうそういう話だけすれば、
0:27:26	どんなこの先どんな感じで13、
0:27:30	だから、13分の4すら出てきてないよね、13-4の。
0:27:35	さあ、2分の1だよ。
0:27:52	いや、いいけれども現年そこまでしかできないっていうのであれば別にそれでいいですけども、随分この間の話と違っててから、
0:28:03	自分たちで考えてくださいねと。
0:28:06	いうこれまで、
0:28:15	何か我々もちょっと違う話なのかなとは思ってたけれども、
0:28:21	原燃がそうやって言うんでしたらそういうことで、だから、そういう意味では、
0:28:26	原燃の今進捗状況だけ聞いて分って言って、当間終わる感じ。
0:28:32	でよろしい。
0:28:34	そういう、そういうことになると思うんだけど、
0:28:47	原燃の趣旨と合ってますかって。
0:28:55	全体のある部分が欠けてしまったから、

0:28:59	少なくともこんな感じで、残りすべて進めるんだとか、何かこうこう足りるとか足りないとか、全体見ないと我々だって何も言えないっていうことなんですよ。
0:29:33	聞こえてます。
0:29:36	はい。日本原燃はせず聞こえてございます。
0:29:39	あとちょっとすいませんやはり全体像が見えないと。
0:29:42	審査会合での議論もできないというところではい認識はしてございます。そいの話を踏まえまして、表層部分につきましての感度解析。
0:29:52	のところにつきましても、すいませんちょっと当然全グループというふうにはならないところでございますが、
0:29:59	お出しできるところお出しして
0:30:02	いや4グループですかね、4グループのところまではお出しして全体的な議論、少なくとも全グループではないにしろ、全部の因子をちゃんと出した上での議論ができるようにちょっと、
0:30:13	はい。進めたいと考えております。以上です。
0:30:18	話変わっちゃったんだけど、大丈夫ですか松本さん。
0:30:25	はい
0:30:27	なんて言うんですか、別に日本原燃として出し渋り言いはしておりませんので、いやだってさ、最初の説明だとき準備がちゃんとまだ整ってないって説明からさ。
0:30:39	入って、それすいません。
0:30:43	考察まではできてませんということで、感度解析は用意できております。はい。用意できでき、できます。はい。
0:30:53	私の話だけで変わんなくてもいいんですよ。
0:30:57	この間と、
0:30:59	何か違うから、
0:31:02	どうなのって、いや間に合っていないんだったら別に。
0:31:05	そんなに焦る必要もないし、
0:31:10	そこが管理されても言ってないし、
0:31:15	はいはい。日本原燃としての判断であり、表層の感度を解析の結果もお示しさせていただきます。
0:31:29	まとめて、

0:31:34	この話をまとめると、今月の審査会合では、何が説明されることになって、何を議論すればいいのかっていうのを、
0:31:44	原燃がちゃんとまとめて言っただけです。
0:31:57	県から根井、日本原燃のオガセでございます。本日の本日今月の審査会合におきましての説明事項といたしましては、安藤さんの分析のうち、敷地内のグループにつきまして岩盤部分、あとは加えて表層部分につきまして各因子に対するパラメーターしたり、
0:32:15	を実施いたしまして、その結果、応答へのつき具合というところを確認した結果についてお示しいたします。で、それにつきましては今後考察をした上で敷地内で当社としてどういった値を、それぞれ岩盤一つをそれぞれで、
0:32:30	設定するのが妥当であるか最もらしいかというところの考察が、今後必要になりますので、そういったところにつきまして今後の取り組みとして、しっかり実施していくというところ、そういった説明、方向性についてご説明をさせていただきたいと考えてございます。以上です。
0:32:45	松元さんはそれでEですか。
0:32:49	はい松元です。はい。今の大庭首藤を内容で、はい。
0:32:54	いいです。はい。ありがとうございます。
0:32:57	だってこれ、ちょっとこの間の花、
0:33:01	説明とは変わったけれども、
0:33:07	大丈夫ですか。
0:33:11	はい。大丈夫です。マツモトです。はい。大丈夫です。徳がちょっと思ってたのと違ってたということで、いいですけども、
0:33:22	議論はないってことですよね。
0:33:26	相変わらず、
0:33:28	今の説明だと多分議論はあんまりない。ない。
0:33:33	ふうんって言って、
0:33:38	はいマツモトです
0:33:40	前回 13 グループ把握できません。今のところ、日本原燃として
0:33:47	解析もできて私講座等もできてないんでおっしゃるような結果になるかと思えます以上です。
0:33:57	いや僕は別に考察も何も求めてなくて、結局今回は少なくとも、

0:34:06	こういうパラメーターの因子を振ってこういうことをやってそれを残り10 幾つ、2 展開して、それを全体的に見通した中でっていうのが多分今後の話で、
0:34:18	そうすると今回の3月では、少なくともやった4グループのやり方、
0:34:24	がどうかと。
0:34:26	何か過不足はないかとか、もっと別の見方とかで考察するときにはこういう点に留意しろってして欲しいとか、なんかそういうことを議論するんじゃないかと思ってたんだけど、
0:34:41	議論のちょっと観点が奥と違ってたんだけど、
0:34:46	それはそれで、そういうことなんですねっていう。
0:34:57	すいません日本原燃松本です。
0:35:01	ちょっと管理官がおっしゃられた話もあるので、あれは例として、今後
0:35:07	どういうふうな形で考察していくかというのも、少し
0:35:13	最後に説明させていただきたいと思います。
0:35:15	非常に、
0:35:19	何でもいいんですけどもね。
0:35:23	議ちゃんと元メインは、前た飯野三藤Cいを立てて、ここで何を議論してどうするとか、そういうちゃんと
0:35:35	説明のシナリオっていうか段取りとか全体像をちゃんと理解してやっとう。
0:35:42	るんですかっていうのは結構疑問ですよ。
0:35:48	ちょこっと今日話をしただけで随分方針がコロコロコロコロ変わっていくと。
0:35:53	だから何か一貫した考えがしっかり根づいた中でやってなくて、ふわふわふわふわしてるんじゃないかと。
0:36:04	で、これがいわゆるコミュニケーションエラーと、これまでずっと行ってきたんだけどそもそも原燃の中でそういうことがきちりできていない。
0:36:14	前回から1週間ぐらいで、何か話がコロコロ変わってしまうというのはいかなもんかなとは思いますがね。
0:36:25	失礼しろ原燃の会合の場だから、好きにしていれば、
0:36:31	いいですけども、
0:36:33	こっからもうこれ以上あれなんですけども浜崎さんとか何かあります。

0:36:40	はい。規制庁野崎です今の一連の話を聞いてて
0:36:45	先週ですか、説明があった、表層の家、解析結果表層厚パラメーター解析をしたっていう。
0:36:56	解析結果に何か不備があったとか、
0:36:59	そういう状態ではないんですよね。要は、
0:37:03	さっきもちょっと言葉があった日英、
0:37:11	前年出身。
0:37:17	状態ではない。ただ、今回は見合わせたかったっていう趣旨だったというふうに言って止めておけばいいですか。
0:37:26	はい、日本原燃のオガセでございますハバサキさんおっしゃっていたところの通りでございます特に解析自体に何か不備があったとかそういう話ではございません。あくまで、
0:37:36	それらをお出しするのはやはり考察等をもってもしくは追加の検討とやっているとところもでございますので、それらとあわせてというところで我々考えていたところございました。以上です。
0:37:46	この検討だろう。
0:37:49	あんだからさ。
0:37:53	はい、規制庁浜崎です理解しました。
0:37:56	先ほど来管理官との会話の中でもですね、木崎です理解しました中でもですね、やはり結果、今回の位置付けの話がごちゃごちゃになってるといふふうに印象を受けます。
0:38:09	ですからまず最初に、上流の段階で進めていきますという説明あった上で、解析結果の説明等に入っていくと、残された課題はこうですと。
0:38:20	いう形で、きちんとその会合資料の中でまとめてもらわないと、また同じような道が生じるんですね、そこら辺資料作成の方で、よろしくお願ひします。
0:38:30	はい、小橋でございます。今のご指摘いただきまして、この中ではほぼやっていく全体像っていうことがきちんと見えるように市の方、いたします。
0:38:41	以上です。
0:38:45	規制庁箱崎です私の方からは以上です。
0:38:51	変えてとか、あとその他規制庁側から何かございますでしょうか。
0:39:02	どうよろしいでしょうか。

0:39:06	それでは、
0:39:10	地盤モデルの検討について、
0:39:13	の議論については、これで以上とさせていただきます。
0:39:18	それでは次の議題に進みたいと思います。
0:39:22	耐震建物 01 の藤堂に関するところが、途中だったと思いますので、
0:39:30	そこから確認はしていけば、規制庁カミデ 01 のドウドウからっていうよりは、なんせ 31 でしたっけあれ、あれでやっちゃうと思ってますけど。
0:39:43	はい。
0:39:43	わかりました。
0:39:45	それじゃあ私、建物を 31 から確認していければと思います。
0:39:52	大変建物 31 について
0:39:55	原燃の方から説明をお願いいたします。
0:39:59	日本原燃の宮本でございます。耐震建物 01 を受けて、銅像についてです ね、31 でき工認からの変更点について、
0:40:11	まとめております。以前にちょっと補足資料いろいろ出させていた いでるんですけど、この資料もいろんなところに、補足資料をばたつか せてまして、
0:40:22	やっぱり関心地盤ゼロ違って順番パラメータの話と、
0:40:28	新しい建物硫酸については、液状化の評価対象施設だったり、改良地 盤、
0:40:34	ら乗っけたりとか、あと耐震建物 35 では議場か影響評価といったと ころの 35 までを行ってたりとかっていうところで、基本 31 の中心にある んですけど、
0:40:46	それらの資料をちょっと横目で見ながらですね、ちょっとご説明の方 を差し上げたいと思います。以上です。
0:40:59	はい。規制庁の竹田です。
0:41:02	ちょっとまず概要に関するところから確認をしますけれど、この資料と 耐震建物 01 っていうのはどういう関係になるのでしょうか。
0:41:16	日本原燃の宮本でございます。耐震建物 01D、延べ 15 ページ D 期既 設工認からの変更点の整理といったところで、

0:41:27	午前中もちょっとコメントいただいたんですけど、改造所見に関する池戸といったところで、もうちょっと地盤改良はCがどんどん変更なってるんですけど、
0:41:40	取り出してるんですけど、そこから耐震建物 31 に飛んでいくといったような関係性になっております。
0:41:51	規制庁の竹田です。
0:41:55	ということは何か建物 31 でまとめている内容でかなり限定的な内容なのかなと思うんですけど。
0:42:07	もう少し新規性基準での対応を踏まえて
0:42:11	順々に変わってきたところっていうのを網羅的に洗い出していくのがこの資料での役割だと思っていたんですけど、
0:42:21	今の説明だと、そんなに何かかなり、
0:42:24	局所的な話を掘り下げたものだと。
0:42:28	いう説明に感じるんですけどいかがでしょうか。
0:42:32	すいません、言葉足らずです。今竹田さんおっしゃってたように、01 で、今ちょっと地盤改良の話だけしましたけど、構造物の非線形化の話だとか、
0:42:44	そういった話も変えたりしてるんで、そこら辺も網羅的に実施してこそ、資料がこれだっていうような形で、表の方はまとめておったんで、これはちょっと耐震建物 01 の午前中のヒアリングにもありました通り、
0:42:58	本当に網羅的に私立できるかっていった観点から、
0:43:03	ちょっとこの補足資料だけで足りるかってところは、ちょっと限定的にちょっとしゃべってしまいまして申し訳ございません。
0:43:16	規制庁の竹川です。
0:43:18	それでは原燃としてはもうこれは変更点は網羅的に 31 の方で書き出しているという認識なわけですね。
0:43:30	日本原燃としてはそう思っておりますミヤモトです。
0:43:33	規制庁カミデです
0:43:36	ちょっと竹田さんも宮本さんも午前中の話をあんまり踏まえてない話をしてるような感じがして、やったはい、どうぞ。
0:43:47	午前中は

0:43:50	何だろう、単純に許容限界とかみたいなどころだけじゃなくてそもそも S s 変わってますよね。あとは前、
0:44:01	A クラスで見てたから弾性設計だったものがあの図 d まで見る、設計になってませんかとか、そういう観点で、どういうところがありますかねってというのは、
0:44:12	解消、高所から見ていきましょうという話をしたのだから、今の時点で、耐震建物 31 にすべてが出ているっていう認識にはならなくて、
0:44:24	結局、01 を踏まえて
0:44:27	0 上流からまた整理しますということでしかないんだと思いますので、
0:44:33	そのときに 31 号も存在、31 の存在が必要かどうか、それも検討になっっていて、01 でまず、
0:44:43	全体紹介をすると、整理をしたのだから、まずはそっちを変えてみて 31 が必要かどうか、こういう詳述の資料が必要かどうかっていうのも考えますっていうことだったと。
0:44:58	思ってますけど、両方を。
0:45:00	認識は合ってますか。
0:45:03	日本原燃の矢田です。亀井さんのおっしゃってる通りでもって、01 を開いてみて、
0:45:10	あまりにも、
0:45:12	ちょっと、
0:45:13	資料プランナー杉
0:45:17	秋田李から聞かしていくと、31 が必要なくなってくるんで、そういうのも踏まえてですね、01 のところ、31 をまずは議論させていただければと思います。
0:45:30	規制庁の竹田です。はい。今お 2 人でおっしゃってもらった通り、耐震建物 01 の中で網羅的に諸元とかに限らず、全部書き出していくということになっていたのをそれを踏まえてどこの 31、どういう位置付けでどこまで変えていく。
0:45:45	つまりかというところで、確認をちゃんとしようと思っておりましてので、
0:45:50	進め方としては建物 01 からまず進めて、網羅的に書き出してくださいね、その上で、31 をどうするか。
0:46:01	検討するという、そういった流れでよろしいでしょうか。

0:46:07	日本原燃の兵頭です。
0:46:09	よろしくお願いします。
0:46:12	はい、わかりました。そんな感じでとりあえず建物 31 の検討 01 と合わせて進めていくということで、了解しました。
0:46:25	野草の議論を踏まえてそこから先、話をちょっとこの紙でどこまでするかというのはあるんですけど、
0:46:35	概要に関するところとかで、その他規制庁側から何かございますでしょうか。
0:46:44	規制庁カミデですけど、概要でいうと 3 ページ 4 ページに、
0:46:50	基本方針の抜粋出てますけどこれって、
0:46:55	何か、
0:46:56	耐震のさらに土木系だけのオリジナルフォーマットみたいになっていて、よくわからないんですけど
0:47:05	特に必要な、
0:47:07	ことではないんだ、必要ではないですから、カーの治療もちゃんと併せて概要で書くべきことは何なのかっていうところを、
0:47:17	整理してください。おそらく
0:47:22	第 1 回の時の、
0:47:25	道道の、
0:47:28	道道っていうかを受土木構造物というとは何ぞやみたいな、補足資料を作ってもらったんで、そんな感じ
0:47:37	の考えを引きずってるんだと思いますけど、その時は、基本方針の言葉としてこういうものが出てくるからそれについて説明しますと。
0:47:48	いう目的が、
0:47:50	条例にあったので、1 歩通そういう 1 ポツでもよかったんですけど、今回はそういうの関係ないですから、適時的、適切な記載にしてもらえれば、
0:48:04	日本原燃湊承知いたしました。ちょっと第 1 回、方針を引き継ぎ過ぎてたんで、第 2 回で、どういう境界とかいいかっていったところ辺りを、ちょっとまた今上出さん、メールを踏まえて、
0:48:17	修正したいと思います。
0:48:21	はい。規制庁上出です。で、別に引き継いじゃ駄目ってわけじゃないんですけど、引き継ぐ範囲が狭過ぎて、他 2 位でもう建物も原燃として、

0:48:33	補足説明をこう書くべしと整理をしているんだからその考え方をちゃんと踏襲してくださいということです。よろしくお願いします。
0:48:46	承知しました。
0:48:49	規制庁算です。私からはとりあえず以上。
0:48:58	はい。規制庁竹田ですその他、1個その概要関係で何かございますでしょうか。
0:49:04	規制庁の岸野です。1個だけね。
0:49:07	資料の8ページを見ますと、今回対象の労働の一覧表が載っているんですけども、
0:49:13	この中にMOXの道路は特に含まれてないですけどこれは、
0:49:18	この
0:49:20	単なる漏れということでは理解しておけばいいですか。今後も苦痛の道路も含めてこのこの資料がいけるかどうかというものはあるんですけど、今後の道道の説明によっては僕の道道も含めて、
0:49:33	全体を説明していくということかなと理解していましたがその理解でよかったですでしょうか。
0:49:39	日本原燃の宮本です。これ今ちょっと社内でも議論になっておまして、これちょっと再処理だけをちょっと出して書いてしまったんですけど、MOXも入れてる形でまとめたいと思います。
0:49:53	続きますはい、わかりました。
0:49:56	はい。よろしくお願いします。以上です。
0:50:02	うん。
0:50:03	規制庁竹川です。に続いてですけど2本通産ポツ、この辺も記載がどうなるか、資料自体がどうなるかというところあるんですけど、
0:50:14	2ポツ3ポツについても、特に私から言わな、
0:50:22	規制、規制庁側からこの範囲で確認項目ございますでしょうか。
0:50:34	はい。規制庁浜崎です。今回、7ページでですね、
0:50:39	設計法を従来の共用の場が限界状態設計法に変更するという趣旨の説明があります。
0:50:48	これ要求機能等の対応で限界状態の、どう反映させるかというような、
0:50:56	面もあるんですけども、
0:50:57	その要求機能としては今C機能、遮へい機能、閉じ込め機能ってありますけども、各機能等、限界状態で設定する。

0:51:08	赤字係数といいますかですね許容限界、その考え方っていうのは、この31の資料の中に、今後説明が拡充されるんですかそれとも、
0:51:21	他のところで説明があるんでしょうか。
0:51:24	日本原電の宮本です。これはちょっと別資料を今考えてまして、今、
0:51:30	共通事項32っていったところで、ハバサキさんが今おっしゃってくれたよう要求事項から、どういう評価に展開していくかっていった具体的な数値を入れた資料をですね、
0:51:43	また来週作ってですね、小出ししようと思っております。
0:51:48	規制庁浜崎です。共通32の方で、その説明があるということですか。そうだよ。もう、それを来週出させていただきます。
0:52:00	わかりました。規制庁上井です。多分、
0:52:04	こちらが聞いていることとミヤモトさんの回答違うんじゃないかなって感じがしますが、32の内容って、どんな内容ですか何か安全係数が、これでいけますみたいなそんな話なんじゃないですか。
0:52:17	その話も日本原燃の話も含まれているんですけど、要求機能ってこういう遮へい機能だったり閉じ込め機能だったり、支持機能ってのを要求してて、第1回の時に耐震建物20で出させた資料を、
0:52:32	具体的に展開していくような資料を考えておりました。
0:52:37	日本原燃石原です。多分かみ合ってなくてですね、岡崎さんおっしゃったように
0:52:44	設計法かれたというのであればその妥当性を説明するっていうことが多分大前提。
0:52:51	この連携法が正しいということの説明は機能との関係で説明するというじゃないと、この中で何を説明したいんですか。
0:53:00	全部結局預けてるわけじゃないかということにもなるので、ちょっと提示させてください。どの補足でどういう形が出るかということも含めて、
0:53:10	排気筒浜崎です今石原さんの方でわかりやすく説明していただいた。
0:53:16	ちょっと私の疑問です。特に遮へい機能を要する。
0:53:22	どうぞ屋外重要土木構造物っていうのはあまり先行でもですね、
0:53:26	実績ないかなというふうに思ってますんで、そういった意味も踏まえて限界状態設計法で、どう考えていくんだというところの説明、それが必要かというふうに思ってます。

0:53:39	と理解していただけますでしょうか。
0:53:42	日本原燃の鳥飼いたしました。
0:53:46	すいません。規制庁カミデです。ちなみに8ページ見ると、閉じ込め機能にも丸がついてるんですけど、どうでいう閉じ込め機能ってどんな
0:53:56	感じで、担保するんですか、どういう設計になってますか。
0:54:03	日本原燃の大竹です。閉じ込め機能の要求機能を満足するために支持機能と同様の許容限界として
0:54:14	までは限界層間変形角または終局曲率でせん断についてはせん断耐力を許容限界として確認することで評価しようということ考えております。
0:54:29	規制庁菅です。Sクラスだったら、基準地震動S _s ですよ。そういう設計上の
0:54:39	外力っていうか、設計上のインプットに対して、どうどうどういう状態であれば、閉じ込め機能が担保できると考えているのかと。
0:54:53	いう質問なんですけど、答えていただけます。
0:54:58	日本原燃車でございます今まさしくそこが足りてないので、労働各労働に対してどういったものが内容物としてあって、それに対して、何ですかね、
0:55:11	形状としての閉じ込めなのか、換気と関係して閉じ込めなのか、配管みたいなやつ溶接構造で閉じ込めなのかどういったものを前提とした上で、
0:55:22	この道路としての閉じ込め機能を担保したいのかというところを整理をして、説明をさせます。はい。
0:55:29	はい。規制庁神ですそんなところですけど。
0:55:33	でも、はい。今言われた配管で渡せてますっていうのは藤堂としては、ただし時期の手しかなくて、
0:55:41	結局動的な閉じ込め、建屋であったりするだったりと同じようなものですと結局関係で必要な分だけ引っ張ればいいですっていうだけな気がしたんですけどそれも、
0:55:52	調べてみないとわかんない状況ですか。
0:56:11	日本原燃瀬谷でございます。
0:56:14	分離とガラスの間とこれら肺機能配管が入ってるっていうことでいくと、何か

0:56:20	何ですかね、牧師型の配管が入ってる構造物がただ並んでるだけ、それがペア側で、
0:56:28	決めて利益とかで関係に繋がって引っ張ってるような状態閉じ込めだと思うんで、じゃあこの労働性を閉じ込めて何ってというのは、ちょっと整理をした上で説明させていただきます構造物を立てればいいのか。
0:56:41	ここに対して一定の閉じ込め性を求めるのか、そこの整理が必要かと思えますので、事実関係設計構造を整理した上で説明させていただきます。
0:56:53	はい。規制庁深見です。で、その話は先ほど深山さんは、どこの志賀川路ですけどちゃんと整理をしてです。
0:57:03	示していくみたいな感じだったと思うんですけど、
0:57:07	そこの機能維持については、第1回気をつけてたつもりで、耐震建物30という補足説明資料を作り、最初に移設後はMOX施設に、
0:57:19	は、第1回に限らずですね、全体としてどんな機能を持ってるんだと、その機能をどうやって担保するんだっていう整理したはずなんです。で、
0:57:29	なので今の段階で整理ができていないって言われること自体非常に信じられないという思いですから
0:57:38	とは言ってもですね、1ポツ、介護処理っていう1ポツの時にですね、この耐震建物30のその機能の話しなきゃいけないなと思ってましたから、その辺とあわせて、説明できるように、よろしく願いしますまたヒアリングセット設置してきて、
0:57:56	以上です。ちょっとデータちょうどう出ししてもらって、
0:58:02	3月の会合の段取りさ、いいですかちょっと規制庁幅だけちょっと関連するかもしれませんさっきの閉じ込め機能の話等もあんな。
0:58:12	も繋がるといいますか、同じ観点で、いわゆるこういう地中構造物っていうのは、地下水が今地表面にしてるわけですから、当然止水性を求められるわけですけども今回止水性C機能に関しては
0:58:28	機能が要求機能に上がってないと、で、
0:58:31	これ前野ミヤモトさんの期待や取水機能が不要ですという答えがあったんですけども、なぜ止水機能が不要なのか、
0:58:42	それは、水が入ってもいいのか、或いはだとは言っていないのかとかですね、そこら辺の説明も、るべきというふうに考えますけれども、

0:58:54	その点、今回答えますか、現状です。支店長。
0:59:00	稲毛のところちょっと上流側の整理とも関係する話なんで、ちょっと社内で相談させてください。ちょっと止水機能は、もともと持ってなかったっていうのは事実なんですけど。
0:59:12	この辺がちょっと、貯水機能だとか、そういったような観点でちょっと上流で多分そういう、ちょっと社内で相談させてください。浅井造成、医長浜崎です。先ほど閉じ込めの話等も含めてなんですけど、
0:59:26	貯水って今言われたんですが、貯水どう頭に入って、関係するんですか。ごめんなさい。被水没水じゃなくて浸水です。
0:59:37	はい、規制庁山崎です。はいよろしく申し上げます。以上です。
0:59:43	磯それは藤浜崎を通して言ったんだよ。
0:59:46	グラフ、グラフの店。規制庁の竹田です。規制庁側からございますでしょうか。かなりある考察をしたいがためのもの。
0:59:57	ていうのは、二つ同時に存在しちゃったから、
1:00:01	わかりにくかった。
1:00:03	だから、データの出し方は規制庁の竹田です。ちょっと大変建物 01 で関連するところなんですけれど、とても 01 の 44 の表でですね、
1:00:18	そう。
1:00:21	ここで表の
1:00:25	事業のところですかね、関連する検討項目に対して、それぞれ関連する補足説明資料が記載されていると思うんですけれど。
1:00:40	最近大変建物 32 も、この中で要求値、機能に対しての耐震設計方針だとかが記載されていると思うんですけれども、この資料は、耐震基準地震動 S_s に対する耐震評価だとかその辺には関連するものと思っ ていいんでしょうか。
1:00:58	はい。
1:01:01	日本レベルミヤモトです。あの関係、おっしゃる通り関係しますそうだよね。
1:01:06	昨日神関係者、
1:01:08	この間、規制庁の竹尾もありました。ちょっと四宮さんの観点ではあるんですけれど、この建物 32 が、考慮事項ということで、益子でちょっと書かれているだけで、実際にここの中で何が説明されるのかもちょっとよくわからないので、関連するのであれば、

1:01:26	この表のですねも教育評価、耐震評価のところに書いてもらうでもいいのかなと思ってるんですけど、いかがでしょうか。
1:01:36	四つで、
1:01:38	一応大体終わりましたと。
1:01:41	で、この残りを進めて、
1:01:44	北井です。日本原燃の宮本です。耐震評価のところに、
1:01:50	持ってくようにします。
1:01:54	本当。
1:01:57	審査会のところに置くようします。
1:02:05	若干お知らせすることが聞こえづらかったんですけど、いただくということで了解しましたふうにして残り進めていくんですけど、全体の結果、
1:02:16	それでこの表の中で材料非線形解析というのがあるんですけども、これについても、その部材係数をどう設定するかだとか、その目標値の決め方だとかそういった詳細もここ、
1:02:32	他社でも 30 日あるんでしょうか。
1:02:36	場所場所によっては多少影響を見渡しおっしゃる通り、その辺の安全系材料解析のやり方が、大理石解析のやり方があったわけですね、安全係数の具体的な数値を示してますんで、
1:02:48	この 32 で、
1:02:51	それすべて入っております。
1:02:58	何をします。
1:03:01	私からは、建物参事関係は以上になります。
1:03:05	すいません。タケダからは、耐震建物 31 関係は以上になります。
1:03:11	その他規制庁から確認ございますでしょうか。
1:03:14	一応これ、
1:03:17	しない。
1:03:21	それなりに考えたい。
1:03:23	はい。規制庁竹田です。規制庁が特になければ下の方から振り返りをお願いします。
1:03:30	日本原燃のミヤモトで、まず耐震河成もの 01 と 31 の関係をまず一応整理してほんとに 31 が必要かどうかも含めて、

1:03:42	検討の方を進めております。それで、要求事項からの限界状態設計法に どういふふうに変更したかといったような整理の仕方をと、共通事項の 3、
1:03:58	32 で説明するかまた別の補足で説明するか等については、もう一度、社 内でちょっと整理さしてもらって、資料を作るのか、それともこっちに 取り組むのかといったところを検討させていただきます。
1:04:12	簡単ではございますが以上です。
1:04:17	11 ページのタケダです。ありがとうございます。今の説明につきまして コメントございますでしょうか。そんなに悪くないと。
1:04:27	ボリュームがあつて、大坂です。よろしいでしょうか。それでは次の資 料を確認するたいと思います。それと次の資料はすいません現在どちら へと、それから進めましょう。鳥山です。
1:04:41	じゃあこれ持ってきてみたいになっちゃうよ。ですねせ、
1:04:48	一番の指示値新規番 01 だったりとか、13 についてはですね、ちょうど 一部触れてる程度なんで、まずは、どうどう L E R F、
1:05:02	関係するところだけちょっと説明さしてもらって、35 の説明をしてい く。
1:05:09	言ったのがいいのかなあとっております。
1:05:14	今井さんは全員イトウ規制庁タケダイトウじゃあえっと 01 と 13 を簡単 に触れて、3537 に入るといふレベル形ということですか。
1:05:24	全体はそういう操作してもらえぱと思います。ちょっとこちらからなん ですけど、耐震建物 13 とか、01 って言ったのはですねまた別途です ね、ちょっと私ヒアリングが必要と思つてます。というのは、
1:05:39	労働以外にも、屋外構築物だったり、サブドレインだったり、ちょっと いろいろな設備があるんで、まずは簡単に触れる程度で、3537 に進めさ せてもらえればと思います。
1:05:53	ね。
1:05:56	設計がない規制庁だけです。わかりました。それでは、順番に説明お願 いします。
1:06:04	すいません時間的には大丈夫でしょうか。
1:06:08	だからやっぱり気をつけなきゃいけないし、時間は大丈夫です。はい。
1:06:14	わかりました。では続けてください。
1:06:17	担当部技術的にやってもらえればいけれども、

1:06:23	この耐震地盤の
1:06:28	101 関係で道道に關係するところといたしまして、
1:06:36	22 ページ、これ、労働、龍ヶ永戸。
1:06:42	いう計画曲線と液状化試験をやったところの、加瀬曲線がどうなっているかといったところが、
1:06:53	を示されております。
1:06:55	あ、ごめんなさい 23 ページの一番右上ですね。
1:06:58	それとあわせて、
1:07:03	六ヶ所層關係の粒度、粒径加積曲線の液状化試験の試験位置等、道路との關係がどうなっているかといったところを、資料が 26 ページに示されてないです。
1:07:19	それで、これも第 1 回からの続きになるんですけど、
1:07:23	34 ページに、上本資材の液状化試験の強度の關係と、
1:07:33	労働回りの近傍の地盤の R L 値との關係がどうなってるかといったところが 34 ページ目に記されております。
1:07:45	合わせて、
1:07:50	6 ヶ所の關係については 36 ページに記してございまして、基本的には液状化試験値がですね、
1:07:57	報告的な傾向を示し、示してまして、竜巻基礎で説明した時と同様にですね、同じ基準化のパラメーターを設定して、
1:08:08	解析の行う。
1:08:10	いったところで、ちょっと簡単ですけどここは触れさせていただきました。
1:08:24	はい。規制庁竹田です。はい。説明アセットの維持、以上ですね。はい。ありがとうございます。
1:08:31	藤大真地盤 01 のところで、規制庁側から確認はございますでしょうか。
1:08:41	はい。規制庁上出ですけど、今の話ってどうどうの話が、
1:08:47	一番ゼロイチにも、データを追加したりして M a a S っていうだけですか。
1:08:57	その通りでございます。道路の周辺は、粒径加積極性のアンケートがどうなってるかとかですね、たとか表を追加して、
1:09:08	こういうような評価をしておりますっていったところの説明です。

1:09:12	はい、規制庁価ベースで、
1:09:14	それで、何でわざわざこうヒアリングの議題に入ってくるのかもよくわからなくて、1番01の時にやればいいんじゃないのって感じもしますのでその辺は、
1:09:28	議題事務的に調整する時でもいいし酒井でもいいですけど、話してくれればって感じです。ちなみに13もそんな感じだったらもう、は、
1:09:38	本当にこの何ページぐらいにデータが増えてますぐらいの紹介で結構なんですけど私としては、
1:09:47	はい、わかりました。上沢主事さんもそのような説明で改良地盤の道路の改良地盤が、ここ何ページ示してますよっていったところの説明だけをささせていただきます。
1:09:58	全体のやっぱヒアリングっていったところは、これやっぱそれぞれでやった方がいいと思いますんで、
1:10:06	よろしくお願いします。
1:10:09	はい。規制庁深見です。時間もあれですし、13も、特に前、前段の説明がないですから規制庁側で01でも、
1:10:20	13でも、ちょっと聞きたいことがあれば聞いてもらえればと思います。私の方から特にはないです。
1:10:28	規制庁の鬼頭です。
1:10:30	まず01につきましては、
1:10:33	今回新たに追加された六ヶ所創造性モデルの液状化の試験データですとか、或いは後段の旧原子力の話については確認したことがありますけれども、それは別ということですので、
1:10:44	また別の機会にコメントを確認をさせていただければと思っています。
1:10:49	もう一つの13方なのですけれども、
1:10:54	ちょっと資料、
1:10:56	記載内容についての確認だけさせていただきたいなど。
1:11:02	うん。
1:11:03	ています。
1:11:05	56ページを見せていただか見ていただきたいんですけども、
1:11:19	こちらの、
1:11:21	規制庁聞こえてますでしょうか。
1:11:26	日本原燃宮里聞こえてますよ。

1:11:28	はいしません。
1:11:29	56 ページの表にですね、液状化評価対象施設というものがあって、例えば一番上に建物出入り管理たテーマと対象に該当するというのが列、一番右端の列に、
1:11:42	あると。これはこの資料の前の方のページで見ますと波及的影響を評価する施設ですよってというような位置付けでもあるんですけども、こちらはですねこちら再処理の第 2 項申請に含まれる施設かなと思ってはいるんですけども、
1:12:00	代行申請も計算書の哲て景況評価の中で、
1:12:07	この出入り管理建屋って含まれているのかなというところでちょっと私が見落としだったら申し訳ないんですけども、これはどこに含まれているのかっていう辺りを教えていただけますでしょうか。
1:12:34	設備キシノもし音声に
1:12:36	今やったら、いただけますか。
1:12:41	乳井西原でございます。音声は聞こえております。
1:12:44	少々お待ちください。
1:12:48	規制庁岸野です。確認に時間を要するようでしたら、またわかってから教えていただければ結構ですので、
1:12:56	次に進めていただいてもと思います。私からこの資料に関して確認したいことは以上になります。
1:13:07	耐震地盤 01 棟建物 13 につきましてその他、今日確認していただきたいことありましたらお願いします。
1:13:23	よろしいでしょうか。
1:13:28	はい。質疑、それからキシノからのコメントにつきましてはまた、
1:13:33	確認がとれ次第回答いただければと思います。
1:13:38	それでは、耐震建物の 3537 に進みたいと思います。
1:13:44	それでは下の方から説明をお願いいたします。
1:13:48	こちらから X35 から、
1:13:52	はい。すみません日本原燃の村田でございます。ではまた耐震建物 35 令和 5 年 1 月 31 にお出しさせていただいた資料でございます、こちら建物構築物全体の液状化評価対象施設の基本的な考え方ですとか、
1:14:07	そういったものにつきましては先ほど田井審査でも 13 の方で、第 1 回申請でも触れていたんですけども、その代替申請の中で、市藤堂

1:14:16	構築物周辺の改良地盤が広範囲に分布する場合には液状化対象の方、液状化の考慮不要とするとか、その判断基準の考え方とか、
1:14:27	そういったところにつきまして、次回労働の申請会議で具体をお示しますということで、ご説明させていただいておりました。その内容につきまして、この耐震建物 35 のですね、
1:14:45	あ、すみません、8 ページのところですね、改良地盤、広範囲に囲まれていることの判断基準ということで、J R の解析モデルの考え方とかですねそういったところをもとに、
1:14:57	こんぐらいのはこれ以上の幅があれば十分な改良地盤が労働のところに、その側方の液状化対象層の液状化の影響とかが及ばないと判断してそういったものは除外しますと。
1:15:08	そういったもの等を記載をしております。
1:15:11	概要につきましては以上でございます。
1:15:15	はい。規制庁武田です。そういったこの資料につきまして、確認あればお願いいたします。
1:15:23	規制庁カミデです。まずよくわからないのが、
1:15:28	今 35 説明してもらって、液状化の時の評価断面みたいな感じですよ。で、37 は液状化じゃないんだけど、
1:15:40	断面の評価断面の話をしていて、業者の関係がよくわからないんですけど、その辺、どういう関係なのかで、なぜこう資料分けたのか、知恵を分けた観点っていう、何なの。
1:15:54	みたいなところを説明してもらえます。
1:15:58	はい。日本原燃の村田でございます。はい。すみません。耐震建物 37 日の方で、断面選定の考え方についてというところで、こちらの感じの資料につきましては、道道が長大な構造物ということとブロックごとにある、
1:16:14	一定間隔で、ブロック分けされていると、やはりそもそもこのドウドウの設計を担保するのにどういった断面で設計しておけば出そうかということで、こちらについては液状カーとか液状化するしないっていうところを、関係なくどうぞ耐震にとってどういう断面を設定
1:16:30	すればいいかということの基本的な考え方をまとめた資料になってございます。

1:16:35	で、3事象がベースとあととしてあった上で、そういった考えに基づいてその設定してる断面1個1個見てた時に、この35に示しておりますように、
1:16:47	こういった断面は側方に液状化対象層が分布するんで液状化の対象とします。
1:16:51	あるためについてはその区間不踏まえて、十分な改良とか建物とかそういったものがあるんで対象外としますっていうところを整理しているものでございまして、ちょっとそこら辺のリンクってところが、ちょっと現状わかりづらいところに、
1:17:07	なってますので、ちょっと今後その辺りですね当然その断面選定するにあたってそういった埋戻し度があるないとかそういったところも考えてそこは液状化にも絡んできますので、
1:17:19	ちょっとその紙資料の関連性とかですねそういったところはちょっとわかるような、
1:17:24	記載をちょっと検討させていただきたいと思います。
1:17:27	以上です。
1:17:30	規制庁カミデです。
1:17:35	あれですかね。
1:17:37	37ってというのは、
1:17:39	液状化だろうが全応力だろうが、
1:17:42	藤堂として見るべき断面ってというのは網羅的に37拾い上げてますと。
1:17:49	例えば断面が、1から10まで10個必要だと。
1:17:54	なったときに、35の液状化そのうちじゃあどれを液状化やるんだっていうのは、ナンバー1から10のうち、1と123だけでいいんです。
1:18:06	4以降はやなくていいんだと。
1:18:08	いう整理をするのが35っていうことでいいですか。
1:18:14	日本原燃の村田でございます。今上出さんがおっしゃっていただいた整理の認識でございます。以上です。
1:18:20	はい、須江町カミデです。念のために確認しますが、35に行ったときに、37では見ていなかった新しい断面ナンバー11が出てきたとか中にも、
1:18:32	やった方がいいんじゃないかみたいな話には絶対ならないっていうことでいいですか。

1:18:40	2番目のムラタでございます。そこの部分ですね基本的にその断面選定の考え方、37の方で液状化するしない関係ないところで、そういう断面を切るかっていうところについては、
1:18:54	主には構造断面形状、ナイフの寸法であったり、そういったところを、すみません、規制庁、今野、今の質問は、イエスカノーかだけで答えられるように聞いたつもりなんです。
1:19:08	37で拾い上げた断面達。
1:19:11	んよりも、新しいものが35で出てきたりするのかな、しないのか、その辺は、結論的にはどっちです。
1:19:19	はい。日本原燃の村田でございます。基本的についていう形であれですけど設定してる断面については、各道路交流断面形状のたをを設定するリスクはいいと、イエス
1:19:31	断面としては、イコールになってます。はい。
1:19:36	はい。規制庁亀井です。わかりましたそれを新人等、
1:19:41	多分段階があって30ステップ1、日程37ステップ2が35ということなのであれば、わざわざ資料二つに分ける必要もないんですよ。リンクを。
1:19:55	つける必要もなく、断面全体のための考え方として1本足でよくて、全応力でもう浄化でも、ドウドウの構造としてっていうか、ものとして評価する。
1:20:10	すべき項目をまず33のパートとして最初に言ってそのあと、実際、液状化の時はさらにため絞れるんだからそれは、
1:20:21	こういうことすっていう形でまず資料を構成した方が
1:20:26	わかりやすいと思うんですけどいかがですか。
1:20:30	日本原燃の村田でございます。はい。今、上出さんからご指摘いただいた通りだと思いました認識を改めまして当間、今後ですねこの資料今35と37というところで分かれてますけども、労働の
1:20:45	段、設計を担保するにあたってどういう断面を設計するかっていうところを一つの資料の中で、説明して断面によっては液状化を考慮するしないとかそういったところもわかる、一つの資料の中で、一連の流れで、
1:20:58	説明できるように、ちょっと資料構成含めてちょっと再検討したいと思います。

1:21:04	やはり成長紙ですよろしく申し上げます。それで、午前中やった建物0一井で、変更点として、まず網羅的にどう拾い上げるかっていうところとも関係してくるんですけど、そこの3ポツからこの
1:21:20	3735 統合版に預けると。
1:21:25	いう感じなんだと思うんですね。で、
1:21:28	もうちょっと整理をして欲しいのが、さっき話をしていた建物31とかにも、
1:21:37	建物31-8ページだと、今回の土木構造物っていうのは、こんなもんですって一覧表があって機能が、こんな感じであります。その次の9ページには配置図が載っていてっていうので、これはこれで
1:21:55	何だろう、今回の登場人物の説明としては
1:22:02	説明された方がわかりやすいんですけど、一方で35とか37もおんなじような感じなんですよ。どうの設計のあらましっていうのを説明するものになっているんで、
1:22:15	この辺もう
1:22:19	なるべくしてですね、まずこの資料見ておけば、堂々ってどんな評価しているのかっていうのが大体頭から
1:22:28	あそこまで大枠見られるようなものになっていると我々も見やすいシァター等の人もって感じだと。
1:22:39	思うんですけど、なるべくそういう方向で検討いただけないかなと思ってんですけど、いかがですかね。日本原燃の宮本です。おっしゃる通りですね。
1:22:50	313537一連がこれ見ればわかるよといった、考え方でまとめた方が、
1:23:01	いいと思いますんで、その方向で、
1:23:04	合体したいと思います。
1:23:07	はい、規制庁パミスよろしく申し上げます。順番として先に合体するのがそれぞれで、ある程度中身を固めて合体するのがいいのかっていうのは、そちらの作業、
1:23:18	条件があるのかなっていう気がしますんで、先に合体するとは言いませんけど目指す方向性としては、それでの共通で認識を持てればと。
1:23:28	した、
1:23:30	そうですね。私の方からは以上です。
1:23:39	規制庁の千野です。

1:23:41	のやりとりに関連して、
1:23:44	から、いいたいんですけど、例えばの 37 の方まずは液状化非液状化も関係なしに、全体に必要そうなところを、
1:23:54	網羅的にピックアップして、
1:23:57	そのあとで 35 の方で、さらに液状化の検討が必要そうなところを、37 で選んだものの中から、さらに絞り込んだっていう、
1:24:08	説明と理解しましたけどまずその理解は合ってます。
1:24:13	日本原燃の村田でございますそのご理解で結構でございます。
1:24:18	規制庁の岸野です。はい。そうします等、
1:24:22	流れとしては理解するものの、まずう液状化の関係なしに選ぶ 37 の項で、
1:24:30	後段で選ぶ、液状化の検討断面も睨んだ断面選定ができていない場合、
1:24:37	本来液状化に着目したときにはこの断面をやんなきゃいけないのにならぬのが 37 の段階で、もう
1:24:45	弾き飛ばされてしまうと、いうこともあり得るのかなあと思ったんですけども。
1:24:51	具体的にはこの 35 の資料の 7 ページにフロー図があって、上から二つ目に、周辺状況の整理という項目はあるんですけど、
1:25:01	具体的にそこでそういったことを選んだ選定をしていますということならまあわからなくもないんですけどもそうとも読めないですし、
1:25:09	この 37 の検討の中で液状化も睨んだ、後段のことも睨んだ選定がされているかどうかっていうのはどうなんでしょう。
1:25:20	日本原燃の村田でございます。そちらにつきましてははですな一応その差は市岡の 37 の中で、各ブロックごとに、周りの地盤状況とか、あるところで選んでまして、例えば
1:25:34	メイドとか改良地盤とかがあればあるほど道路の耐震にとってはいい方向に働くので、そういった周辺の状況をかながみて 30 名選んでるんですけども、ちょっと遅い、確かにそのあとでその 35 とか見た時っていうところの、
1:25:47	もありますので、先ほどの上出さんからのご指摘もありました通り、この 35 と 37 につきましては、ちょっと一連の流れの中で説明できるように、ちょっとフローも含めて、

1:26:00	そういった要は取りこぼしがないような、網羅的にとれるような形で、ちょっと説明内容をちょっと再度整理させていただきたいと思います。以上です。
1:26:10	清町の岸田です。はい、わかりました。まさにその辺りがですねちょっと気になる場所なので、資料の整理の際に、そこら辺がきちんと説明できるようにしていただければと思っています。で、
1:26:24	当初この二本立てになってるのを見たときに、
1:26:30	片やですね、37の方では構造的な特徴とか構造にばかり着目しているような選定のように見えて、
1:26:40	35の液状化の方では、
1:26:44	周辺地盤、それも地盤改良体の規模だけに着目しているように見えてですね、それぞれ着目点が違うってのは、
1:26:54	どうなんだろうというところもあったんですけども今のお話ですと、非液状化液状化に共通する項目はまず前段でちゃんと網羅して、さらに液状化に関連する部分を抽出。
1:27:06	してということのようですので、その関連ですとか、その非液状化と液状化で結果的に差異が出ることがない、非液状化の中に液状化包絡されているということも、
1:27:19	わかるような形でですね、ご説明いただけるものだろうと理解しましたのでそのような形で整理を進めていただければと思います。よろしいでしょうか。
1:27:32	はい。日本原燃の村田でございます。ご指摘承知いたしました。
1:27:37	院長の岸野です。はい。続きましてその35で着目している行動についてなんですけれども、
1:27:44	これも
1:27:47	構造に限った話ですね、液状化も含めてその断面選定する上で、着目する観点が、
1:27:56	本当に網羅され、必要なものが網羅されているのかという観点でも、今後ちゃんと説明をしていただきたいと思いますと思っています。
1:28:04	まず、藤堂の構造についてはですね、資料の377ページなんかを見ますと、
1:28:13	構造形式や構造寸法、
1:28:16	これだけありますけれども、

1:28:18	構造をもっと詳細に見ていくならば、部材厚さですとか鉄筋比ですとか、壁の面積率ですとか弱軸強軸といったいろんな項目、観点があるかと思います。
1:28:31	うん。
1:28:32	あと構造だけ、構造以外で言ったらですね例えば、この周辺状況の整理という言葉もあるんですけど、
1:28:42	競争度って労働の場合は、六ヶ所層だったり増勢オールドだったりという区間も、
1:28:48	入って、
1:28:49	来るかと思います。土葬が変わってくるころ、或いは東と中央のエリアに跨ってくるエリアの境界ですとか、
1:28:57	地盤改良体がある部分ない部分、その境界部分ですとかそういった、
1:29:02	地盤剛性が急変するような部分もあるかと思うんですけども、
1:29:07	資料を読む限りですね 30 と 37 を読む限り、そういったところまでいろんな項目、もちろんすべてが必要ではなくって、必要かどうか吟味した上で、
1:29:18	今書かれているような項目で選定したということがまるでわからないんですけども、
1:29:23	そういったことはもうすでに検討されているのか。
1:29:26	トップ抜け落ちがあったというところなのかその辺りいかがなのでしょううか。
1:29:34	はい日本原燃の村田でございます。この 37 で今お示ししている、断面選定の選定するときに、着目するところとして今選んでるところの仕様というところが、
1:29:46	また正直、ちょっと先行炉さんの資料とカーともいう※に見るとちょっと着目事象として、ちょっと網羅的にできてないかなってところは現状ちょっと思いましたので、
1:29:59	ここにつきましては、ちょっと今後その 3530 名なあですですねちょっと液化化全応力含めた断面選定の考え方をお示しするときに、どうどの解析モデルであったり設計にあたって、
1:30:11	考慮するときに、部材厚とかこういった飲酒、飲酒というか要素がありますよと。で、これの違いどういったところに着目すれば、道路の設計

	として、これ、この断面を見ておけばいいんだっていうところが選べるかっていうところを、
1:30:28	もうちょっとその着目事象をちょっとテーブルに乗せ、いろいろテーブルに乗せた上で、これについて、
1:30:35	着目して断面を選んでいきますっていうところをちょっと整理して、お示ししたいと思います。
1:30:41	以上です。
1:30:43	長キノです。はい、わかりました。
1:30:45	おっしゃる通りで、ろう発電なんかをちょっと横目で見ると、いろんなこと書いてあるんですけども、
1:30:55	当然ながら、発電の方がいろんな土木構造物を扱っているに比べると、
1:31:03	うちの場合はひょっとしたら割と構造が単純なドウドウなのかもしれないけど、そういった形で、単純に炉と同じにする必要もないのだろうなと思いつつも、
1:31:15	衛藤では、再処理では何を選ぶのかっていうあたりはですね、どう、実用炉も読みながら
1:31:22	再処理の特徴も踏まえて、
1:31:26	必要と思われる項目としてこれを絞り込みましたっていう辺りの説明があれば理解はしやすいのかなと思いますので、そこら辺念頭に置いてですね今後ご説明をいただければと思いますが。
1:31:38	趣旨の方はご理解いただけますでしょうか。
1:31:42	はい。日本原燃の浦田でございませう最終絞り、理解いたしました。先行の全国発電炉の方につきましては屋外重要土木構造物といっても、いろんな種類の構造がある中で、再処理施設につきましては、
1:31:56	労働調剤構造物なので、場所によって形状とか地盤状況が違うところはあるんですけど、本地中構造物っていう同様の特徴を持っていますので、例えば道路につきましては全線ですね岩盤直接、またはM MRを介して、
1:32:12	支持してたりですねそういった指示条件とかですね窓であれば杭基礎のものであったり、そういったものもあるんで、そういった観点での先生とかも入ってくるんですけど、その再処理の堂々としてどういうし、

1:32:25	費用に着目していけばいい、いいかというところを、再処理の労働の特徴を踏まえた、選定の考え方というところを、ご説明したいと思います。以上です。
1:32:37	規制庁の木嶋です。はい。よろしくお願いします。
1:32:39	続きましてですね、この
1:32:43	まず 35 年行きよっ狩野資料の方に、
1:32:47	ついてなんですけれども、
1:32:49	これもう、
1:32:51	細部にはちょっと入りませんが、断面選定のパン買いぱぱーとしてですね。
1:32:58	周辺の地盤改良体等の状況に応じて、グループ A B C 分かれていると、分けて分けられると。
1:33:06	いうご説明があると。
1:33:09	そのうち、
1:33:10	地盤改良体の幅に着目して、グループ
1:33:21	によってはですね、検討不要とするというような整理をされている箇所があります。資料でいくと 8 ページになろうかと思えますけれども、
1:33:31	その根拠として、
1:33:34	じゃくうのを記載。
1:33:38	もう本当に、
1:33:40	地盤改良改良地盤が土蔵幅の 2 倍以上分布していれば、
1:33:46	液状化が道道の応答に与える影響はないっていうふうに、
1:33:52	しているんですけれども、
1:33:54	これは J E A G のこの解析モデル領域の設定の目安について、その背景、それが定められた I K ですか、
1:34:06	その、
1:34:07	液状化が影響を与える。はい。
1:34:10	に適用できるかどうかといったことについて確認した上での、
1:34:14	御説明ということで、
1:34:16	理解しておけばよろしいんですか。
1:34:24	日本原燃の宮元でございます。これ逆に解析モデル領域の考え方ということで、2.5 日以上取りなさいっていうところ。

1:34:36	川田です。はい。それは承知の上で聞いているんですけども、その範囲が液状化の影響範囲の考え方に適用できるかどうかというのを確認していますかという、
1:34:55	あ、すみません。液状化という観点では、確認しておりません。すみません。
1:35:01	施設のうちにスパム
1:35:05	規制庁も来てます。これについては液状化の影響範囲に適用した先行実績等があるかないかというのを確認してないということでもいいですか。
1:35:16	先行実績ではありません。
1:35:19	日本原燃の宮本です。
1:35:22	規制庁の岸野です。はい。そう言った、事業者が事案の
1:35:29	規定の背景の確認もせず、その適用性も確認せず、
1:35:34	先行でも実績のないものを適用させようと今しているわけで、
1:35:40	そうしますと、当然それが正しいことを、解析とか実験とか、今後、その仮説が正しいことを立証する必要があるのではないかと考えていますけれども、
1:35:51	事業者はそういう考え終わり、もちろんです。
1:36:04	日本原燃の宮元です。
1:36:08	私はちょっとそこまで考えてなかったんですけど、解析結果等から、そのちょっと説明性をですね、ちょっと言っていこうかなっていうことは考えておりました。
1:36:22	市長の岸野です。はい。もともと考えていなかったものを今ちょっと思いつきでこうしようかなんて言われたように聞こえましたけれども、
1:36:32	まずですね需要。
1:36:33	のこの規定が、
1:36:35	そのまま適用できるかどうかということについては、
1:36:39	ちょっと考え直した方がいいのではないかなというふうに聞いてて思いました。で、
1:36:43	一方で、じゃあどれぐらいの幅だったらいいのかっていうのは、もう最初に、
1:36:49	敷地の中の藤堂。

1:36:51	に関して、限定して言えばこういう条件下でこれぐらいだったらいけそうだっていうのがひょっとしたらいえるのかも、そのあたりをですね、今後ご説明されるのかなと。
1:37:02	聞いてて思ったんですけども。
1:37:06	一応、あれですかね、
1:37:09	解析的な何かからということで例えばバランスだとかもして、今後根拠を示していくような考えは終わりということで理解しておけばよろしいんでしょうか。
1:37:19	日本エリアです。今パラスタもたくさんやっておりますでそれでちょっと説明をしていこうかなということで、今回ちょっと結果の説明がなかなかできないので、お示ししてないんですけど、そういったところで説明していこうと思っておりました。
1:37:34	既設のビジネスはい。ただ、それは結果の説明ではなくって、断面選定の根拠となる説明になるのかなと思いますので、その範疇つまり1発の範疇の中として、
1:37:45	そういったデータをお持ちなのでしたらそれを説明いただいて構わないと思いますけど、それは可能でしょうか。
1:37:53	日本原燃水越パラスタの結果とか、やっておりますんで、
1:38:00	へんの結果を出して、次回、いろいろちょっとし学校もあるかも修正ありますけど、出させていたきたいと思います。
1:38:12	規制庁の岸野です。
1:38:14	わかりました。その辺りは今後ちょっと整理されて、もう一度考え方を整理し直して示されるということで理解をいたしました。
1:38:25	すいません。規制庁上出です。
1:38:28	今、宮本さん言われてたプラスターの、
1:38:32	パラメーターを送るってことだと思うんですけど、何のパラメーターを振ることを、をイメージされてました。
1:38:39	今の地盤改良の幅をどのぐらいの幅にしたら、今うちの元の動的剪断しろってほとんど決まってるんですけど、
1:38:51	天願書記の李のところですか。
1:38:53	ほとんど変わらないよっていう結果を示そうとしました規制庁カミデです。それであれば、大体わかりました。
1:39:02	はい。

1:39:03	なので、食う尺は、断面選定のために行っていることではないので、それを持ってきて
1:39:15	モデルの断面の考え方を語るのは不相当と。
1:39:20	企画をちゃんと使ってないってことで、よくないですから、
1:39:27	とはいっても別に幾つでもいいというか幾つにするかは現、事業者としてちゃんと妥当性を確認していればよくてということでそういうパラスタ-改良 10%幅。
1:39:40	ウォ-を送ってみてどれぐらい影響あるかと、いうのを事業者として確認した結果が説明されると、いうことだと思いますので、よろしく願いします。
1:39:51	新沼と承知いたしました。規制庁ハバサキですが、開示、改良地盤幅ですか
1:39:59	これ今問題にしてるのは、粘性境界までの距離の話なんですけども、
1:40:04	開場時間幅は燃焼境界までの距離と等しい話をされてるんですか。
1:40:11	日本原燃の宮本です。その通りでございます。
1:40:14	はい、わかりましたじゃそのパスの結果を、また説明してください。
1:40:19	以上です。
1:40:25	規制庁の岸野です。よろしく願いします。
1:40:29	他にもちょっと全体ざっと見て幾つかちょっとあらかじめ、
1:40:34	お伝えして今後の説明の準備につなげていただきたいことがありますので、阿藤光世と言わせていただきます。
1:40:42	まず、これは液状化の 35mm 液状化の 37 に向けて、
1:40:50	言ってることなんですけれども、
1:40:54	中に解説手術 S クラス機器というものがあるかと思うんですけれども、それについて一言も触れられていなくて、
1:41:02	断面制定において特に何も考え、考慮に入れてないのかなというふうに見受けられましたけれども、
1:41:09	例えば、実際にその機器の設計にどの程度影響するかっていうところはあるかと思いますが、
1:41:17	例えば地盤揺動がですね、硬い条件でだと、機器の応答にも影響する可能性もあるかなと思いますので、
1:41:27	います。

1:41:30	戦闘ではですね、それがどの程度影響するかによるんでしょうけれども、
1:41:34	機器を間接支持している区間ですとか、機器の種別、
1:41:39	耐震設計の内容からしてそういった応答に影響はしそうなもの等も考慮して駄目を設定するとか、或いはモデル化において周辺地盤が硬くなるようなモデル化を配慮するとか、
1:41:51	そういったことも考えとしてあり得るのではないかなと思うんですが、その辺りは何かお考えになっているんでしょうか。
1:42:00	網本江の村田でございます。今ご指摘の観点は、そのドウドウの耐震だけじゃなく中の設備を支持してるんで、その応答というところ、
1:42:11	だと思います。この今 3537 でお示ししてる従後道路っていうところにつきましては、Sクラスの機器配管系の間接支持ということで、HEMSとかで、
1:42:22	着色してるところがその支持してる区間っていうところでそこで断面を切ってるというところではあるんですけど、先ほどのこの断面の線、選定の考え方、どういう仕様に着目するかっていう考えるときに、
1:42:35	もうちょっと毅然設計の影響と言ったらあれかもしれないですけど、そこFISへの影響という観点も考慮した選定の考え方についても、ちょっとまとめ、
1:42:48	ちょっと内容をちょっと精査して、ちょっと検討したいと思います。基本的にはその各道道ほぼ同じ岩盤のレベル2までの岩盤に乗っていて、周りの地盤状況も見られたところであれば、
1:43:01	基本的には同じような揺れ方っていうところでは考えておりますが、ちょっとそれでそういった観点で見たときに、抜け漏れがないか、先ほどの他の仕様のところもそうですけどもちょっとそこを再整理してご説明したいと思います。
1:43:15	以上です。
1:43:17	土谷です。はい。よろしく申し上げます。
1:43:20	規則の同じMMRということ以外にもですね、周辺の近接している建物の影響が出るとか、或いはそれは配管管ってあんまり効いてこないのかもしれないんですけども、乗っかってる機器によっては、影響するかもとかそういった観点もあるのかなと思います。
1:43:40	そういったことも踏まえてですね、混合ご説明をいただければと思い、

1:43:47	よろしくお願いします。
1:43:49	はい。2本目の村田でございます。承知いたしました。
1:43:52	あ、規制庁深見です。今の話は藤堂のあらましとして、まず、どんなものが中に入ってるかっていうのはちょっと説明いただいた方がいいのかなって感じですね。
1:44:07	耐震建物 37-6 ページなんか妥当道道の話しかないですけど、中に何がどういふものが入ってるかって、実際は
1:44:20	配管とかあと第1社ぐらいですよ。高レベル廃液が、
1:44:26	もうあればあとはもう固体の状態の加速値だったりとか、なのでそのようなものですよ。例えば動的機器なんかは特になし、
1:44:38	というようなこともわかるようにしといた方がいいし、6ページなんかだとこの、いろんな構造あるみたいですけどこの仕切りが一体どういう役割してるのかっていうのもよくわからず、
1:44:50	あとは施工目地ティなんですかとか、このジョイントってどんな感じになってると。
1:44:55	建屋との取り合いってどうなってるの、みたいなところは最初に紹介してもらった方が今みたいな議論をする時にもこちらとそちらで何か、そちらは
1:45:08	事業者はどんなものがあるっていうイメージが、
1:45:11	ありつつ話をしてると思うんですけどこちらは何かあるのかよくわかってないような状態で話をした時もありますから、その辺り前段として、こんなものですよっていうのを紹介し、
1:45:24	できるような資料を付けてもらえればと思います。大丈夫ですかね。
1:45:29	はい。日本原燃の村田でございます労働の中にどういったものがあるかっていうところにつきましてはこの断面選定とかに限らず先ほどの雇用機能の関連とか、そういうところとカーのところでも話が、
1:45:41	あったと思います。その辺りのちょっとこの、
1:45:44	資料単独の中で説明するというようなその全体の道道ってどういうもので、中にどういふものがあるって、どういふ機能があるってどういふ設計してって一連の流れの中で、
1:45:56	ちょっと冒頭で説明して認識をした上で、具体的にこうやってせえと断面とか考えていますっていうところのご説明する形がいいかなと思いますのでちょっとその明時の仕方含めてちょっと再検討して、

1:46:09	ちょっと、いずれかの形でその内容がわかるようにお示ししたいと思います。
1:46:13	以上です。
1:46:15	はい。規制庁亀井です。よろしくお願いします。
1:46:18	場合によっては共通 12 なのかって感じもしますし、その辺りは関係者の方と頭の整理してもらえればと思います。
1:46:29	よろしくお願いします。私から以上です。
1:46:36	規制庁の岸野です。はい。続きましてですね、
1:46:41	これも 35 と 37 に共通することなのですけども、
1:46:46	解析ケースの選定や考え方っていうのは、この中で説明が全くないのですけれども、これはまた別に説明が、
1:46:57	あるのでしょうか。
1:46:59	労働党は、当然ながら、ご承知の通り周辺地盤との相互作用で決まると思っています、
1:47:07	地盤物性のばらつきを適切に考慮した設計を行っているっていうことは確認されないといけないと思うんですが、
1:47:13	この資料、これらの資料及び申請書も含めてですね、具体的にどういう物性ばらつきケース。
1:47:20	物性ばらつきを考慮した解析ケースを設定したのかというのが、ないように思いますけれども、これについては、今後どっかで説明するのか。
1:47:31	もうすでに申請書の中で説明済みということなのか、このあたりをまず確認させていただいていいですか。
1:47:38	はい。日本原燃の村田でございます。先ほど、今のご指摘の解析ケース選定の考え方っていうところにつきましては、ちょっと今回の 3537 というところがちょっとどの設計の一部に着目した資料というところになっているので、
1:47:52	ちょっとそこが見えるような形になってないっていうところは、ちょっと今後の再パッケージとかも含めてちょっと記載場所とかを検討したいと思います。今の考え、今の衛藤助教の江藤館野の 01 とか、
1:48:06	議論とかを踏まえてちょっとどこに何を示すかっていうところを再整理をさせていただきたいんですけども、ちょっと今日時点で、最初思ってたところとしては、先ほど、要求機能とかの説明をしますって言った耐震建物 32 って道路の、

1:48:20	耐震設計に係る共通事項のところ、要求機能とか安全係数の考え方を述べた上で、どういう解析ケースを選んで、ばらつきどういうふうに考慮していくかっていうのを、
1:48:30	概要を説明して、実際にそのばらつき県とかそういったところの内容につきましては、ばらつきのところですね、
1:48:39	この資料番号が
1:48:42	ちょっと、
1:48:43	耐震建物 34 っていうですね道路のばらつきに関する検討というのをちょっと後程お出ししようと考えてましたので、その中で詳細を、
1:48:53	説明することで考えておりました。現状としては以上になります。
1:48:59	はい、わかりました。詳細は別途説明があるということで理解しましたけれども、一応申請書のほうでも、ほぼ何をやってるのかわからないところだったんですが、
1:49:10	一応これは液状化も非液状化の周辺地盤の地盤物性のばらつきを考慮して、
1:49:17	±はσとかの物性値で解析を進めて、その中で一番厳しいものを設計に持ち込んでいると。
1:49:26	そういう理解でよろしいんですか。
1:49:30	日本原燃の村田でございます。ちょっと具体ちょっと詳細な中身につきましてはちょっと耐震建物 34 とかでちょっとご説明をさしていただいた方がいいと思うんですけどちょっと澤有井というところ、浅利というか現状の、
1:49:45	どういう内容でやってるかって言いますと、道道へのこの断面選定とかの考え方に基づいて、50 断面とか数十断面結構な相当数の断面数もあって、
1:49:58	あとはその道路っていうところが断面数とかはちょっと形状とかの違いはあれど、基本的にそう契約構造物で同様の特徴前からの地盤の影響とかを受けるっていうところで、その道路の中でも厳しい断面厳しくない断面とか部分的にございますので、
1:50:15	そういった断面で曝気各地盤種別ごとにですね、ちょっとばらつきを見ていったときに、労働への設計の影響があるか人達ごんだけ、ちょっと厳しい場合になることがあるかっていうところをちょっと見た上で、

1:50:27	それをちょっと不確かさ係数みたいな形で、各他の代表で解析してない道路の調査の時にもそれをちょっと係数として考慮するような形で、
1:50:38	ばらつきを考慮しても問題ないという評価で申請上はちょっとさしていただいております。実情としては非常に、
1:50:46	施設の基準ですね、ちょっとイメージしていたものと違うなと思っていて、各同断面について2次元FEM解析で、振るわけですけども
1:50:57	周辺地盤に与える物性値を、平均値、或いはプラスワンシグマ或いはワンシグマそれぞれケースを設けて、それぞれの地震応答解析をやっていて、
1:51:08	おそらくそれワ全SSについてやってさらにその中で厳しいものについて、ごめんなさい、平均値についてはぜひですね、
1:51:18	発電所なんかの例で見るとそうで、て衛藤別府です。
1:51:25	すべて厳しいものについて、Ssを幾つか選定してそのプラスマイナスは25のばらつきで、ここで、
1:51:36	結果すべてこれ、一番厳しくなっていたんですけども、そうじゃなくて、何かばらつきの感度解析的なものを、何かやってそれを係数、
1:51:48	表現してやってそれを、
1:51:54	実は平均値的な物性のものに与えて、Bのやり方をとられている、そういう理解。
1:52:00	かと思ったんですけど日本原燃の村田でございます。ですねちょっとすいません先ほど言葉がちょっと不十分な部分もあったかもしれないですけど、ご指摘の、日本原燃村田でございます。
1:52:11	ですけど、各断面、松浦明のものに対して、それぞれ各S全般に対して基本計器を決定して、それを確立する、して実施してます。
1:52:24	で、ばらつきを考慮した解析につきましてはその中で、どうどの数値断面とかある中で、周りの地盤状況の違いとかも考慮して、代表断面を選定して、それに対して±ワンシグマ
1:52:36	設計の中で、それに対して、ばらつきを設定したケースで解析をまわして、道路の照査上ですね、せん断照査というところが厳しい側になるので、
1:52:48	ばらつきを考慮したときに、どんだけちょっと評価として厳しい方向になり得るかというところを、この厳しい側になるので、考慮した時にど

	れだけちょっとスパンの係数みたいな形、安全係数という形で設定しまして、
1:53:01	衛藤、それ以外の代表断面にしてないところためにつきましては、ハバサキの経営等をし、その耐震照査をするときに、
1:53:12	照査値を、せん断耐力において発生せん断力が何ぼかっていうところで所蔵するんですけど、その発生せん断力に要は上振れ幅の対処をするケース。
1:53:25	不確かさケースというのを考慮して、それでも照査値が1を下回るよねっていうところを確認しているっていう、そういうやり方をやってるっていうことでちょっとここら辺の代表断面、どういうふうにやってるかとか、
1:53:38	ちょっとどういうやり方をやってるかっていうところは、まず耐震建物、32なのか34なのかちょっと今後のパッケージの話もあるんですけどその中でちょっとご説明をさせていただきたいなど。
1:53:51	はい。資料がない中であまり議論をしてもいいところはもちろんありますので、それただ、別途資料での説明を待ちたいと思いますけれども、
1:54:00	代表断面だけ物性のばらつきを振ってそれ以外のものは代表断面で獲られた計数的なものをかけて、いわば影響評価に留めているっていうのはちょっと、
1:54:11	ほかのところでやられた実績があるのかなあなんていうことを思って聞いておりましたが、これは既設工事のやり方がそうだったということなんですか。
1:54:21	日本原燃の村田でございます。江藤真木通行人とかちょっと数年前の、当時の先行サイトというかある発電所とかではちょっと一部そういったやり方をされてるのも見て、
1:54:35	ちょっとそういう検討を始めてそのままきいているところがあるんですけどちょっとその、
1:54:41	最近の発電炉先行炉っていう最初の認可実績っていうところ、
1:54:46	とはちょっとそごがあるとは認識してまして、ちょっとまずは田井衛藤。
1:54:51	耐震建物34とかのご説明の中で、この代表断面の考え方とかをまずはちょっとご説明することで考えてました。
1:55:03	別のキシノです。はい、わかりました。

1:55:07	そうですね。まず、まずはその詳細というか具体的中身をですね、確認をさせていただいてから、
1:55:16	ということかと思えますけれども、他と間違ふカタノというのは最近の漏斗が違ふということは認識されているということですので、
1:55:26	そのうちがいいよということで認識されてるということですので、再処理の特徴を踏まえてるものなのかどうかその妥当性も含めてですね、この説明で必要な必要十分な条件なってるっていうことも、
1:55:38	ちゃんと説明できるように準備の方をしていただきたいと思います。
1:55:42	あわせてですね、検討に用いた基準地震動の説明というのも
1:55:49	結構向き厳しいですね、30名の方には会員にも書いてなくて、35の液量かは、一部税全般使いますと言いながら、グループBには代表かで、
1:56:01	いうところもあって、
1:56:06	思ってもですね、どうもそうなのかなっていうところもありますので、検討に用い、今言われたばらつきケースと組み合わせるの基準地震動の考え方をですね、
1:56:16	しっかりとその原燃がそれが正しいと言ったことがあればその妥当性を説明できるように準備の方をしていただきたいと思います、よろしいでしょうか。
1:56:26	はい。日本野村でございます。承知いたしました。衛藤香田のご説明の中で、
1:56:33	次、検討対象の地震は、全般木材評価の方とか、その代表者の考え方っていうところもあわせて、ご説明するように、資料内容を作成したいと思います。
1:56:43	以上です。
1:56:46	区長の区長です。はい。よろしく申し上げます。
1:56:48	代田伊井。
1:56:51	お伝えしたような気がしますけれどもちょっと全体を受けることなんです、3537に共通することとして、全体的に資料の説明をちょっと感想されるんではないかなという印象を設けています。
1:57:03	代表設備で代表できるってことの説明も必要だよということで午前中、指摘があったかと思えますけれども、
1:57:13	今回この代表設備に特化した説明、

1:57:16	ただで見てもですね必要な情報が網羅できるとちょっと思えず、幾つか例示で今までいろいろと質問させていただいたことになりますけれども、
1:57:25	1 発評価条件及び判断基準でしたっけ。
1:57:30	これ、適切性を確認する上で、必要な情報はまだまだ不足してるように思いますので、
1:57:36	発電の債権が外れるとか横目で見ていると思いますけれども、
1:57:40	とにもかかわらず、発令に比べて非常に説明が乏しいというところもありますので、
1:57:47	先ほど言いましたようになんぼナンボ発電と一緒に出て、
1:57:52	ので、この発電と比較した上で再処理の特徴ですとか発電炉との差異を踏まえて、再処理はこの説明だけで良い一方で、発電所にはない、この説明必要といった整理をした上、きちんと必要な情報は記載していただきたいと思いますので、
1:58:07	それも念頭に置いてですね、今後の資料の準備の方をお願いしたいと思います。
1:58:12	ちょっと早口で言いましたけれども理解いただけましたでしょうか。
1:58:17	日本原燃の岩田情報量が少ないということで、
1:58:24	この発電所の審査の集計もちょっと見てるんですけど、私もちょっとそう。
1:58:29	今日のヒアリング感じましたんで、発電の今、
1:58:34	やってる発電所の条件関係を見ながらです、条件とか判断基準を見ながらですね、我々の最終としての特徴として、同じものは同じ
1:58:47	ことをやる特徴を踏まえて、得意なところはこういうところだったところの説明をですね、さしていただければと思い、資料の方に反映させていただければと思います。
1:58:59	続きます。よろしくお願いします。私から以上になります。
1:59:06	はい。その他規制庁側から確認はございますでしょうか。
1:59:12	よろしいでしょうか、それでは原燃の方から振り返りをお願いします。
1:59:19	はい日本原燃の村田でございます。耐震建物 3537 あわせてというところでちょっと振り替えをさせていただきます。で、ちょっとこの 3530 名に限らずっていうところあるんですけどまず最初に労働の説明事項として、先ほどの 31 とか、

1:59:36	の関連もありますけど、堂々ってどういうものなのか、中にどういう設備があるものなのかという設計してるのかっていうところを明確にした上で、この 3537 で断面選定と液状化、
1:59:49	桐島委員のちょっと資料分かれているところも、一連の考え方が説明できるように、資料全体を再パッケージして、ご説明したいと思います。その中で、個別の液状化のところにつきましては、
2:00:02	広範囲の基準をジャグ基づいてっていうところだけでちょっとやっていてるっていうところについて、パラストの結果といったところの定量的な評価内容も、
2:00:14	ちょっと説明できるように、ちょっとこういった内容を今後追記していきたいと思います。あとちょっと 3537 以外のちょっと今後、
2:00:23	後々説明させていただく内容のその解説ケースの考え方であったり代表はとかもそういったところの考え方につきましても、当初、その申請した、こういう考えでやりましたと、こういうので、
2:00:35	妥当と思ってますってところの根拠を含めてちょっと説明できるように、資料を作成して、お話したいと思います。以上になります。
2:00:46	はい。規制庁武田ですありがとうございます。
2:00:49	もう今の説明で何かコメントはございますでしょうか。
2:00:55	藤規制庁カミデですけど、スケジュール感みたいなところは何か説明ありますか。
2:01:09	日本原燃の宮本でございます。資料のもう 1 回ちょっと精査していくのにちょっと今日のコメント、かなり時間かなってちょっと思ってるんで、
2:01:20	3 月末ぐらいを目標にですね、ちょっと頑張りたいなと思います。
2:01:30	はい。規制庁上出です。
2:01:34	何ていうか、
2:01:37	今朝の話をする等、
2:01:40	介護書の 1 ポツとして、耐震のところは 4 月に話をしたいですと、いうところを踏まえて今どうどうわあ、割と
2:01:54	わかるかもしれないですけど、直す方向性が見えたのかとは言いつつも、結局は、耐震建物 01 をどうするかに大分寄ってくるんの
2:02:05	01 の特定修正のタイミングと、この

2:02:10	関連度ドウドウの変更という治療タイミングをちゃんと考えて欲しいし、
2:02:19	それについては、藤堂だけじゃなくて建物側もどう進めていくのか、機電をどう進めていくのか、今のスケジュールでオンスケで、
2:02:30	行けるルートであれば全然問題ないんですけど、その辺も今日の午前午後のヒアリングを踏まえてどう進めていくかっていうのはまた朝のヒアリングとかで進め方確認できればと思いますから
2:02:45	今日、指導として、コメントは受けているとは思いますが、
2:02:50	何、何ていうかこちらの見るし、目線としては綺麗も建物も同じですから、その辺展開していただいて行動を今後どう進めるかというところ話を聞ければと思いますのでよろしくをお願いします。
2:03:06	日本原燃の宮です。今日ちょっと労働側の人間しか出ないですけど建物が綺麗なちょっと耐震建物 01 に関係する関係者で、スケジュールの方ちょっと協議してあった。
2:03:16	にどうしてかっていったところを話さしていただきたいと思います。
2:03:22	はい。規制庁神ですスケジュールを今日いるっていうよりはどんな話をしたかっていうところですね、午後の中身の話だと、こういうところをやんなきゃいけないという宿題も、
2:03:35	幹事の話とかは共有してもらって、考えてもらうと思いますのでよろしくをお願いします。
2:03:41	荻野谷津。承知いたしました。
2:03:47	はい。その他規制庁側から何かございますでしょうか。
2:03:54	陶芸の方から何かございますでしょうか。
2:04:00	はい。日本原燃事務局です。
2:04:03	はい。前面側特にございません。ありがとうございました。
2:04:07	はい。それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
2:04:14	ありがとうございました。